

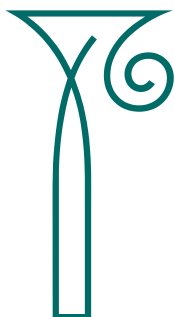
東京都庭園美術館

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

2025

ANNUAL REPORT

年報



ごあいさつ

2025年度の展覧会は、前年度より継続の「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」からスタートし、続く「建物公開2025 時を紡ぐ館」では旧朝香宮邸の誕生から現在に至るまで、90年あまりに渡る建物の変遷をご紹介しました。

建物公開展の開催を機に園路を整備し、これまで庭園のみご鑑賞の方はアクセスできなかった新館ロビーへの入館を可能としました。新館のミュージアムショップやカフェもご利用いただけるようになり、利便性と回遊性が大幅に向上しました。

また、2025年度は当館にとって特別な一年となりました。1925年4月から11月にかけて、パリで現代装飾美術・産業美術国際博覧会（通称 アール・デコ博覧会）が開催され、当時滞欧中であった朝香宮鳩彦王・允子妃夫妻も同年7月9日に日本の皇族として博覧会を公式視察しました。この博覧会と夫妻との邂逅が、現在、東京都庭園美術館としてみなさまに親しまれている重要文化財・旧朝香宮邸が誕生する契機となったと言われています。

「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」は、博覧会開催100周年を記念した当館オリジナルの展覧会として企画されました。フランスを代表するハイジュエリーメゾンのひとつヴァン クリーフ&アーベルが、博覧会の宝飾部門でグランプリを受賞した事実を起点に、同社の「パトリモニー コレクション」を中心とする名品の数々を通して博覧会開催100周年を祝いました。

旧朝香宮邸が誕生した時代、日本でも大衆文化が全盛期を迎え、モボ・モガと呼ばれる当時最新のファッションに身を包んだ人々が街を闊歩していました。これをヒントに開催した夏のイベント「夜会」では、ジャズのミニコンサートやダンスレッスンをはじめ、現代版モボ・モガを体感いただく機会とし、たいへん好評を博しました。

当館が掲げるスローガン「誰にでも開かれた美術館」の実現に向け、アクセシビリティのさらなる強化にも努めました。フラットデーほかさまざまな取り組みを通して鑑賞機会の充実を図り、誰もが安心して訪れ、楽しめる美術館を目指しました。

ここに一年間の活動の成果をまとめた年報を上梓しましたことをご報告させていただくとともに、本年報を通してみなさまに当館の活動をご理解いただく一助としつつ、さらなる充実へと繋げる契機となるよう励んで参ります。

2026年4月
東京都庭園美術館

目次

基本方針	3
2025年度の東京都庭園美術館	4

各事業報告

建物・庭園公開事業	1 建物公開2025 時を紡ぐ館	5
	2 正門横スペース(旧門衛所)コラボレーション展示	17
	3 庭園公開	21
企画展示事業	1 戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見	28
	2 永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ	31
ラーニングプログラム	1 普及事業	45
	2 学校連携事業(スクールプログラム)	46
	3 旧朝香宮邸資料公開室(ウェルカムルーム)の運営	48
	4 アクセスプログラム	48
	5 建物&庭園プログラム2025	52
アクセシビリティ向上への取り組み	54	
地域連携	61	
東京都庭園美術館コンサート	65	
庭園能	66	
美術資料の活用	67	
文化財の保護・活用	77	
広報事業	78	
紀要の発行	80	
美術館維持管理	81	
収益事業	1 ミュージアムショップの運営	82
	2 カフェ・レストランの運営	83
	3 ユニークベニュー事業	84
	4 その他収益事業	84

2025年度の実績

入館者数、広報・宣伝、収益事業収入	85
-------------------	----

資料

組織図	86
展覧会実績一覧	87
施設配置図	91

基本方針

歴史的建造物としての建物の特性を活かしながら、特色ある展覧会の開催や庭園の活用、教育普及活動などに取り組み、文化的な都市空間の形成と、あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現を目指します。

- 1 歴史的建造物である本館の保存とその公開
- 2 装飾芸術に基づく新たな価値を
今日の社会に活かす展覧会・各種事業の実施
- 3 「歴史的建造物」、「装飾芸術」、「庭園」を
三本柱とする文化的都市空間の形成
- 4 あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現

東京都庭園美術館は、本館が1933年に建築されたアール・デコ様式の歴史的建造物であることから、1983年の設立以来、その「保存」と「活用」を運営方針としてきました。

保存の面では、開館を期に本館の修復作業に着手し、また毎年、アール・デコ様式の調査研究を兼ねた「建物公開展」を開催してきました。その成果のひとつとして、本館は2015年に、国の重要文化財「旧朝香宮邸」に指定されています。

活用の面では、アール・デコという言葉が、「装飾芸術」（建築、デザイン、工芸、家具、美術等に表れる装飾性）を意味するフランス語に由来することから、これまで国内外の美術作品を、主として装飾芸術の観点から取り上げる展覧会を企画してきました。

2014年の新館改築を機に、館の運営方針には、「新たな価値の創造」が加えられました。これによって庭園美術館の展覧会事業には、今日の視点で装飾芸術を創造する芸術家の作品を展示することが加わりました。

このほかに東京の文化の魅力の創造と発信に寄与するために、装飾芸術の価値を今日の社会に活かすという視点から、庭園の活用事業をはじめとして、さまざまな教育普及事業にも取り組んでいきます。

2025年度の東京都庭園美術館

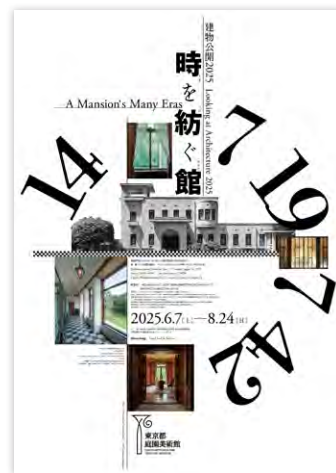
5月8日	外部評価委員会を開催
8月15日	サマーナイトミュージアム開催(8/22,29,9/5,12,19,26)
8月13日	東京都庭園美術館ウェルカムゾーン及び東屋等整備に係る検討委員会を開催(8/28,12/18)
10月1日	開館記念日/「都民の日」に伴う庭園及び展覧会無料公開
10月14日	第1回自衛消防訓練実施
11月6日	第1回美術資料収蔵委員会開催
11月21日	秋(紅葉)の夜間開館(11/22,28,29,12/5,6)
1月14日	第2回美術資料収蔵委員会開催
2月24日	第2回自衛消防訓練実施
3月1日	Welcome Youth 2025(4/5まで 入場者数180人)
3月20日	春(桜)の夜間開館(3/21,27,28)

各事業報告 / 建物・庭園公開事業

1 建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

会期	2025年6月7日(土)～8月24日(日)[68日間]
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバークL.P.、 Van Cleef & Arpels
担当	斉藤音夢、早川典子、吉田奈緒子
観覧料	一般1,000円／ 大学生(専修・各種専門学校含む)800円／ 高校生500円／65歳以上500円／ 中学生以下無料
出品点数	約100点
広報印刷物	ポスター(B1、B2)チラシ(A4)
デザイン	シルシ 上田英司
来館者数	67,741人(1日平均996人)



本展は旧朝香宮邸における建築空間の機能の変遷をテーマとし、邸宅・政務の場・迎賓館・催事施設・美術館と歩んできた稀有な歴史を、ゆかりの作品や写真・映像資料を通して紐解いた。これまで触れられる機会の少なかった朝香宮邸以後の歩みについて、本展を機に調査・研究を深化させることができた。

展示構成においては、当館の多岐にわたるコレクションと、その層の厚さを広く発信することに注力した。現代作家の収蔵品活用として、過去一度のみの公開にとどまっていた3作家の作品をテーマに沿って選定・展示し、コレクションの多様性を改めて提示できた。また、開館以来初となる第二浴室と化粧室を一般公開し、竣工当時の壁紙やタイルなど、時を越えて受け継がれてきた様子を伝えた。建物の保存と活用の観点では、室内装飾のハンズオン模型やAR・3Dコンテンツを提供し、来館者とのインタラクティブな鑑賞体験を実現した。関連事業として実施した文化財デジタルアーカイブに係るシンポジウムでは、手話通訳、文字表示支援、ヒアリンググループに加えて、当館初の試みであるグラフィックレコーディングを導入し、リアルタイムで議論を可視化することで、情報保障のさらなる拡充を図った。

さらに、地域連携の一環として、港区立郷土歴史館における本展のサテライト展示を実施した。同時代の建築空間を共有する両館の相互来館を促したことで、地域文化交流の拠点としての役割を果たせた。

This exhibition's subject was the changes in the functions of the interior spaces in the Former Residence of Prince Asaka. It unraveled its remarkable history—as an imperial residence, the residence of the foreign minister and prime minister, the state guest house, an event site, and now an art museum—through related works of art, photographs, and videos. This exhibition inspired deeper research on the residence's history after it ceased to be the home of Prince Asaka, a subject little touched on until now. The exhibits consist of works from our museum's diverse collection, with an emphasis on broadening understanding of its depth. To utilize works by contemporary artists in our collection, we selected, in accord with our theme, works by three artists whose work had been shown only once in the past. In addition, the second bathroom and powder room—which were made publicly accessible for the first time since the museum opened—were presented to convey the timeless legacy of elements such as the original wallpaper and tiles from when the residence was completed.

Considering the issue of preserving and utilizing the building, we provided hands-on models of elements of the interior decoration, plus augmented reality and 3D content, to create an interactive viewing experience. At our symposium on digital archives of cultural resources, a related project, we provided sign language interpreting, displayed text, introduced a hearing loop system, and also providing graphic recording, in our museum's first experiment with its use. These innovations were aimed at making the discussion visible in real time and further upgrading data security. We also carried out a satellite display of this exhibition at the Minato City Local History Museum, as part of our commitment to local cooperation. Encouraging visitors to both museums, sharing architectural spaces from the same period, we carried our role as a hub of local cultural exchanges.

建物公開2025 時を紡ぐ館 Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

展示構成:

- 第1章 朝香宮邸建設前夜
 - 第2章 朝香宮邸時代
 - 第3章 外相・首相公邸時代
 - 第4章 白金迎賓館・白金プリンス迎賓館時代
 - 第5章 いま、美術館として
- サテライト展示「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」

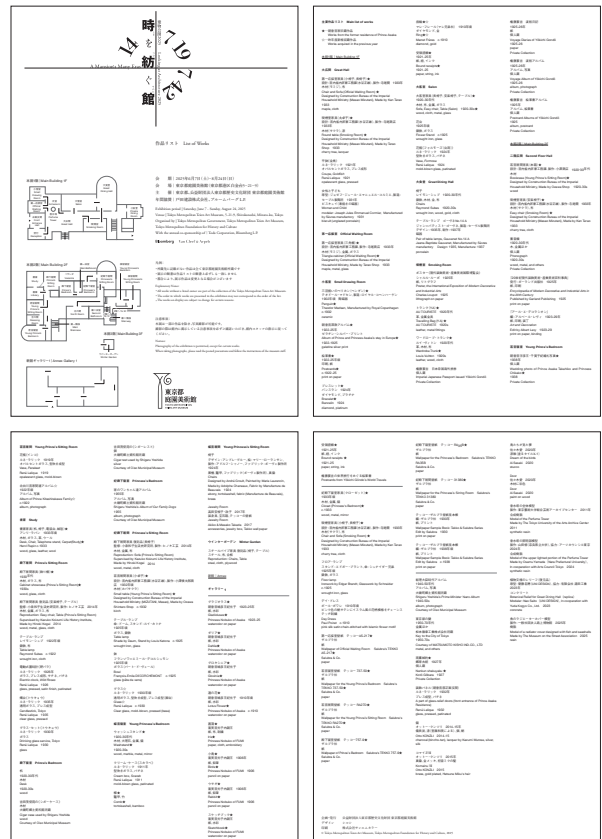
Exhibition composition:

- Chapter 1 Prelude to Construction
 - Chapter 2 Family Residence of Prince Asaka
 - Chapter 3 Residence of the Foreign Minister and Prime Minister
 - Chapter 4 The Shirokane Guest House Era
 - Chapter 5 A New Role as a Museum
- Satellite Exhibition
Intersecting Architectures- Former Institute of Public Health x Former Residence of Prince Asaka

その他印刷物等

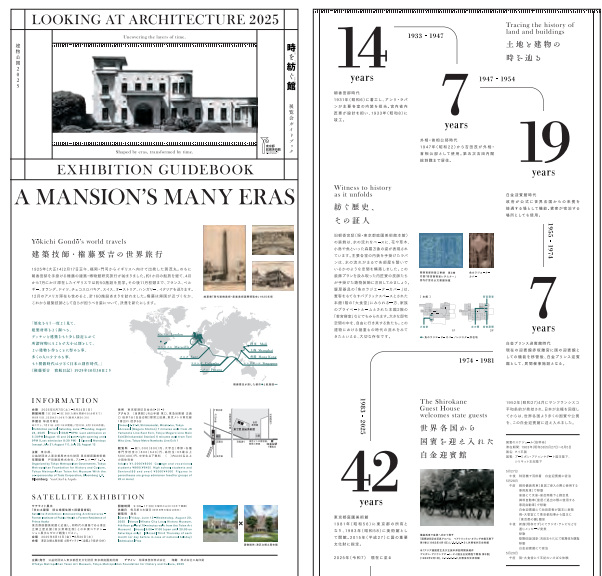
作品リスト

判型・ページ数 B4二つ折り／仕上げりサイズB5(4ページ)
 企画・編集 斉藤音夢
 デザイン シルシ 上田英司



展覧会ガイドブック

判型・ページ数 419×210mm 蛇腹巻き三つ折り／仕上げりサイズA5(6ページ)
 企画・編集 斉藤音夢
 デザイン 相澤事務所



建物公開2025 時を紡ぐ館

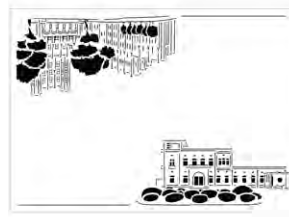
Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

ポストカード

判型 Y100×T148mm

企画・編集・デザイン

港区立郷土歴史館



香水塔AR葉カード

判型 W50×H140mm

企画・編集 アーツカウンシル東京

デザイン 右近茜



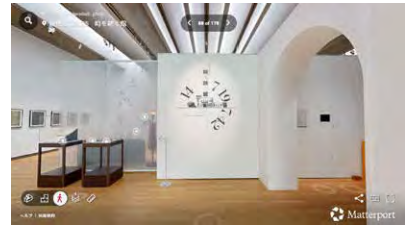
360° パノラマビューの公開

展覧会会場の3VDR空間及び作家解説、作品解説、キャプションを掲載

撮影・制作 合同会社ワンダーストック

URL <https://my.matterport.com/show/?m=amcZVwstxLF>

公開期間 2025年9月30日～当面の間



グラフィックレコーディングの公開

展覧会関連シンポジウムにおける議論の視覚的アーカイブ

タイトル 「シンポジウム『歴史的建造物をまもる・つなぐ・いかす
ー3D Digital Archive Project』におけるグラフィックレコーディング」

企画 東京都庭園美術館

制作 清水淳子

URL www.teien-art-museum.ne.jp/wp-content/uploads/2025/08/GR_0721.pdf

公開期間 2025年8月15日～当面の間



建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

ショート動画

タイトル 「建物公開2025 時を紡ぐ館 会場ムービー」
 企画 東京都庭園美術館
 編集・制作 黒目写真館
 URL www.youtube.com/shorts/FSTk6q9poTo
 公開期間 2025年6月27日～当面の間



主要関連記事

東京都「東京デイリーニュース特別版」2025年6月27日(東京都公式YouTubeにて当面の間公開: www.youtube.com/watch?v=EuYtbja1xOw)

日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」2025年7月12日

テレビ東京、BSテレビ東京「新美の巨人たち」2025年7月19日(テレビ東京)、7月26日(BSテレビ東京)

NHK「日曜美術館アートシーン」2025年7月20日(再放送:2025年7月27日)

NHK Eテレ「ねこのめ美じゅつかん」2025年7月24日(再放送:2025年7月26日、8月16日)

相互来館特典ポストカードの配布

サテライト展示会場の港区立郷土歴史館と当館の相互来館特典ポストカードの配布

港区立郷土歴史館における配布数 668枚

当館における配布数 635枚

割引

SOMPO美術館との相互割引

展覧会観覧料が通常価格より100円引き

SOMPO美術館から当館への来館者数 64人

当館からSOMPO美術館への来館者数 75人

※近隣施設との相互割引は、地域連携(P.61)を参照

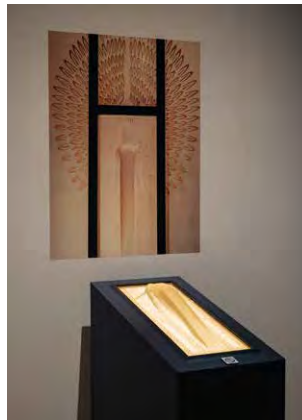


建物公開2025 時を紡ぐ館
Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

会場風景



建物公開2025 時を紡ぐ館
Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras



撮影:黒目写真館

建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

関連事業

サテライト展示「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」

同時代の建築である港区立郷土歴史館(旧公衆衛生院)とのコラボレーション展示を実施した。国の教育研究機関として建てられた旧公衆衛生院と、皇族の住まいとして建てられた旧朝香宮邸は、現在では郷土歴史館、美術館という新たな機能を有している。本展では、両館に共通してみられる建築意匠や仕様素材、伝統技法などの「交わる点」に着目した。今日まで、土地や時代の変遷に寄り添いながら共に白金台の地にて歩んできた両建築を比較・検証する機会となった。

会期 2025年6月13日(金)～8月20日(水)[67日間]
 会場 港区立郷土歴史館 4階ギャラリー(当館より徒歩10分)
 来館者数 3,716人
 観覧料 無料



正面外観(旧公衆衛生院)
 画像提供: 港区立郷土歴史館



正面外観(旧朝香宮邸)



中央ホールの大大理石(旧公衆衛生院)
 画像提供: 港区立郷土歴史館



正面玄関の大大理石(旧朝香宮邸)



外観のスクラッチタイル(旧公衆衛生院)
 画像提供: 港区立郷土歴史館



北の間のスクラッチタイル
 (旧朝香宮邸)

ワークショップ「モザイクタイルアートを作ってみよう」

夏の建物公開展の開催に合わせ、本館各室に使われている素材である「タイル」に焦点を当て、触るとひんやり冷たいタイルを用いた、自分だけのモザイクタイルアート作りワークショップを開催した。妃殿下居間のバルコニータイルや、北の間の床に敷かれたタイルなど、館内の様々な建築意匠や展示作品をインスピレーションに、色や形、質感を豊富に揃えたタイルから選び、自由に創作した。

日時 2025年7月27日(日)
 ①10:30-12:30 ②14:30-16:30
 会場 新館ギャラリー2
 講師 齊藤音夢、増田万里奈、西願麻以
 定員 各回10組
 参加者数 ①7組12人 ②8組13人
 参加費 1組500円(入館料別途)
 申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

たてものの文様 切り紙ワークショップ「行灯を作ろう」

サテライト展示「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」の関連イベントとして、当館と港区立郷土歴史館にある装飾や文様を切り紙にし、行灯に仕立てるワークショップを開催した。制作後の行灯作品は、2025年8月23日(土)に港区立郷土歴史館で開催した「夏の行灯ナイト2025」でお披露目展示をした。

日時	2025年8月9日(土) ①午前の回 10:30-13:00 ②午後の回 14:30-17:00
会場	新館ギャラリー2
講師	下中菜穂(造形作家、もんさり、伝統的切り紙、 歳時風俗研究)
定員	各回20名
参加者数	①8組14人 ②11組17人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

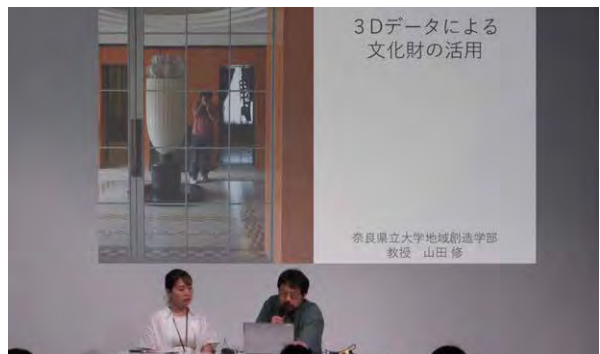


「夏の行灯ナイト2025」の展示風景(旧公衆衛生院 旧講堂)

シンポジウム「歴史的建造物をまもる・つなぐ・いかすー3D Digital Archive Project」

歴史的建造物の利活用に向けた、実物とデジタルの融合について、3D デジタルアーカイブ事業の事例紹介や、登壇者によるディスカッションを通して、多様な文化財活用の未来について参加者とともに考える場として実施されたシンポジウム。情報保障の観点から、手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループを提供し、さらにリアルタイムで行われる議論をイラストや文字を用いて可視化する「グラフィックレコーディング」という手法も取り入れ、新たな視覚情報の発信を実現した。

日時	7月21日(月・祝)14:00-16:00
会場	新館ギャラリー2
主催	東京都庭園美術館、江戸東京たてもの園、 アーツカウンシル東京
企画・運営	アーツカウンシル東京
登壇者	山田修(奈良県立大学 地域創造研究センター長・教授) 瀬賀未久(株式会社gluon ディレクター) 早川典子(東京都庭園美術館 学芸員) 斉藤音夢(東京都庭園美術館 学芸員) 持主実(江戸東京たてもの園 専門技術員) 生田真菜(江戸東京たてもの園 学芸員) 小林愛恵(アーツカウンシル東京 学芸員)
参加者数	49人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

ガーデンコンサート

庭園の賑わい事業であるガーデンコンサートを実施。夏の展覧会に合わせて、「野ばら」や「夏の思い出」などの曲目を選定したほか、アイルランドの伝統楽器・アイリッシュハープについてのミニレクチャーも織り交ぜて演奏会を行った。奏者は東欧諸国ユニセフ国際大会に文化使節として出席した経験から国際的にも活躍し、現在は全国各地で演奏会や講演会を実施しながら、若手の後進育成にも励む。

日時 2025年6月21日(土)14:00-15:00
会場 芝庭
演奏 永山友美子(アイリッシュハープ奏者、
埼玉純真短期大学客員教授)
参加者数 450人
参加費 無料(入場料別途)



その他、教育普及事業として以下の関連プログラムを実施した。(p.46、p.50参照)

- ・先生のための特別研修会(2025年8月22日(金))
- ・さわ会一さわっておしゃべり鑑賞会(2025年6月28日(土))

建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

主要作品リスト *展示場所、作品名作者・制作者、年代、素材の順に記載
★：朝香宮家旧蔵作品／☆：昨年度新規収蔵作品

作品リスト

本館1階|Main Building 1F

大広間 Great Hall

第一応接室家具(小椅子、長椅子)★

設計：宮内省内匠寮工務課(水谷正雄)、製作：寺尾側
1933年

木材(モミジ)、布

Chair and Sofa (Official Waiting Room) ★

Designed by Construction Bureau of the Imperial Household Ministry (Masao Mizutani),

Made by Kan Terao 1933

maple, cloth

喫煙室家具(丸卓子)★

設計：宮内省内匠寮工務課(水谷正雄)、製作：寺尾商店
1933年

木材(サクラ)、漆

Round table (Smoking Room) ★

Designed by Construction Bureau of the Imperial Household Ministry (Masao Mizutani),

Made by Terao Shop 1933

cherry tree, lacquer

平鉢(金魚)

ルネ・ラリック 1921年

オパールセントガラス、プレス成形

Coupe, Goldfish

René Lalique 1921

opalescent glass, pressed

女性と子ども

原型：ジョゼフ・ジュール・エマニュエル・コルミエ、

製造：セーブル製陶所 1931年

ビスキュイ(素焼きの磁器)

Woman and Child

modeler: Joseph Jules Emmanuel Cormier,

Manufactured by Sèvres manufactory 1931

biscuit (unglazed porcelain)

第一応接室 Official Waiting Room

第一応接室家具(三角棚)★

設計：宮内省内匠寮工務課、製作：寺尾商店 1933年

木材(モミジ)、金属、ガラス

Triangle cabinet (Official Waiting Room)★

Designed by Construction Bureau of the Imperial Household Ministry, Made by Terao Shop 1933

maple, metal, glass

小客室 Small Drawing Room

三羽揃いのペリカン(ペンギン)★

テオドル・マドセン、製造：ロイヤル・コペンハーゲン
1902年頃 陶磁器

Penguin★

Theodor Madsen, Manufactured by Royal Copenhagen
c.1902

ceramic

朝香宮滞欧アルバム★

1922-25年

ゼラチン・シルバー・プリント

Album of Prince and Princess Asaka's stay in Europe★

1922-1925

gelatine silver print

絵葉書★

1922-25年頃

印刷、紙

Postcards★

c.1922-25

print on paper

ブレスレット★

バンスラン 1924年

ダイヤモンド、プラチナ

Bracelet★

Bancelin 1924

diamond, platinum

指輪★☆

マレ・フレール(マレ兄弟社) 1910年頃

ダイヤモンド、金

Ring★☆

Marret Frères c.1910

diamond, gold

受領證綴★

1921-25年

紙、紐、インク

Bound receipts★

1921-25

paper, string, ink

大客室 Salon

大客室家具(長椅子、安楽椅子、テーブル)★

1920-30年代

木材、布、金属、ガラス

Sofa, Easy chair, Table (Salon) 1920-30s★

wood, cloth, metal, glass

花台

1925年頃

鍛鉄、ガラス

Flower Stand c.1925

wrought iron, glass

花瓶(フォルモーズ(台湾))

ルネ・ラリック 1924年

型吹きガラス、パチネ

Vase, Formosa

René Lalique 1924

mold-blown glass, patinated

大食堂 Great Dining Hall

椅子

レイモン・シュブ 1920-30年代

鍛鉄、木材、金、布

Chairs

Raymond Subes 1920-30s

wrought iron, wood, gold, cloth

テーブル・ランプ ゴーヴネNo.14 A

ジャン＝バティスト・ゴーヴネ、製造：セーヴル製陶所

デザイン：1935年、制作：1937年

磁器

Pair of table lamps, Gauvenet No.14 A

Jeane-Baptiste Gauvenet, Manufactured by Sèvres

manufactory Design: 1935, Manufacture: 1937

porcelain

喫煙室 Smoking Room

ポスター(現代装飾美術・産業美術国際博覧会)

シャルル・ルーボ 1925年

紙、リトグラフ

Poster, the International Exposition of Modern

Decorative and Industrial Arts

Charles Loupot 1925

lithograph on paper

トランク(Y.A)★

AU TOURISTE 1920年代

革、金属金具

Travelling Bag (Y.A) ★

AU TOURISTE 1920s

leather, metal fittings

ワードローブ・トランク★

ルイ・ヴィトン 1920年代

革、木材、布

Wardrobe Trunk★

Louis Vuitton 1920s

leather, wood, cloth

権藤要吉 日本帝国海外旅券

個人蔵

Imperial Japanese Passport issued Yōkichi Gondō

Private Collection

権藤要吉 渡航日記

1925-26年

紙

個人蔵

Voyage Diaries of Yōkichi Gondō

1925-26

paper

Private Collection

権藤要吉 渡航アルバム

1925-26年

アルバム、写真

個人蔵

Voyage Album of Yōkichi Gondō

1925-26

album, photograph

Private Collection

権藤要吉 絵葉書アルバム

1925年

アルバム、絵葉書

個人蔵

Postcard Albums of Yōkichi Gondō

1925

album, postcard

Private Collection

本館2階|Main Building 2F

二階広間 Second Floor Hall

若宮居間家具(本箱)★

設計：宮内省内匠寮工務課、製作：小澤商店 1920-30年代

木材

Bookcase (Young Prince's Sitting Room)★

Designed by Construction Bureau of the Imperial

Household Ministry, Made by Ozawa Shop

1920-30s

wood

喫煙室家具(安楽椅子)★

設計：宮内省内匠寮工務課(水谷正雄)、製作：寺尾側
1933年

木材(サクラ)、布

Easy chair (Smoking Room) ★

Designed by Construction Bureau of the Imperial

Household Ministry (Masao Mizutani),

Made by Kan Terao 1933

cherry tree, cloth

蓄音機

1920-30年代

木、金属ほか

個人蔵

Phonograph

1920-30s

wood, metal, and others

Private Collection

『20世紀現代装飾美術・産業美術百科事典』

発行：ガールランド出版社 1925年

紙、印刷

Encyclopedia of Modern Decorative and

Industrial Arts in the 20th Century

Published by Garland Publishing 1925

print on paper

建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

『アール・エ・デコラシオン』

編:アルベール・レヴィ 1923-29年
紙、印刷、装丁
Art and Decoration
Edit by Albert Levy 1923-29
print on paper, binding

グラス・セット《トウキョウ》

ルネ・ラリック 1930年
ガラス
Drinking glass service, Tokyo
René Lalique 1930
glass

グラス☆

ルネ・ラリック 1930年頃
透明ガラス、型吹き成型、プレス成型(脚台)
Glass☆
René Lalique c.1930
Clear glass, mold-blown, pressed (base)

若宮寝室 Young Prince's Bedroom

朝香宮孚彦王・千賀子妃婚礼写真★

1938年
個人蔵
Wedding photo of Prince Asaka Takahiko and
Princess Chikako★
1938
Private Collection

殿下寝室 Prince's Bedroom

机
1920-30年代
木材
Desk
1920-30s
wood

姫宮寝室 Young Princess's Bedroom

ウォッシュスタンド★

1920-30年代
木材、大理石、金属、鏡
Washstand★
1920-30s
wood, marble, metal, mirror

若宮居間 Young Prince's Sitting Room

花瓶《インコ》

ルネ・ラリック 1919年
オパールセントガラス、型吹き成型
Vase, Parakeet
René Lalique 1919
opallescent glass, mold-blown

吉田茂使用の《シガーケース》

木材
大磯町郷土資料館所蔵
Cigar case used by Shigeru Yoshida
wood
Courtesy of Oiso Municipal Museum

クリーム・ケース《スカラベ》

ルネ・ラリック 1911年
型吹きガラス、パチネ
Cream box, Scarab
René Lalique 1911
mold-blown glass, patinated

北白川宮家関連アルバム☆

1922年頃
アルバム、写真
Album of Prince Kitashirakawa Family☆
c.1922
album, photograph

吉田茂使用の《シガールレスト》

銀
大磯町郷土資料館所蔵
Cigar rest used by Shigeru Yoshida
silver
Courtesy of Oiso Municipal Museum

櫛★

鼈甲、竹
Comb★
tortoiseshell, bamboo

姫宮居間 Young Princess's Sitting Room

椅子

デザイン:アンドレ・グルー、絵:マリー・ローランサン、
製作:アドルフ・シャノー、ファブリック:ポーヴェ製作所
1924年
黒檀、鼈甲、ファブリック(ポーヴェ製作所)、真鍮
Chairs
Designed by André Groult, Painted by Marie
Laurencin, Made by Adolphe Chaneaux, Fabric by
Manufacture de Beauvais 1924
ebony, tortoiseshell, fabric (Manufacture de
Beauvais), brass

書齋 Study

書齋家具(机、椅子、電話台、絨毯)★

アンリ・ラパン 1933年頃
木材、ガラス、革、ウール
Desk, Chair, Telephone stand, Carpet(Study)★
Henri Rapin c.1933
wood, glass, leather, wool

妃殿下寝室 Princess's Bedroom

家のワンちゃん達アルバム

1955年
アルバム、写真
大磯町郷土資料館所蔵
Shigeru Yoshida's Album of Our Family Dogs
1955
album, photograph
Courtesy of Oiso Municipal Museum

Jewelry Room

高田安規子・政子 2017年
装身具、宝石箱、テッコーの壁紙
Jewelry Room
Akiko & Masako Takada 2017
accessories, jewelry box, Tekko wall paper

殿下居間 Prince's Sitting Room

殿下居間家具(飾り棚)★

1930年代
木材、ガラス、布
Cabinet showcase (Prince's Sitting Room)★
1930s
wood, glass, cloth

妃殿下居間 Princess's Sitting Room

殿下居間家具 復刻品(長椅子)

監修:小泉和子生活史研究所、製作:ヒノキ工芸 2014年
木材、金属、布
Reproduction: Sofa (Prince's Sitting Room)
Supervised by Kazuko Koizumi Life History Institute,
Made by Hinoki Kogei 2014
wood, metal, cloth

ウインターガーデン Winter Garden

スチールパイプ家具 復刻品(椅子、テーブル)

スチール、布、合板
Reproduction: Chairs, Table
steel, cloth, plywood

殿下居間家具 復刻品(安楽椅子、テーブル)

監修:小泉和子生活史研究所、製作:ヒノキ工芸 2014年
木材、金属、ガラス、布
Reproduction: Easy chair, Table (Prince's Sitting Room)
Supervised by Kazuko Koizumi Life History Institute,
Made by Hinoki Kogei 2014
wood, metal, glass, cloth

若宮居間家具(小卓子)★

設計:宮内省内匠寮工務課(水谷正雄)、製作:小澤慎太
郎商店 1932年頃
木材(カバサクラ)
Small table (Young Prince's Sitting Room) ★
Designed by Construction Bureau of the Imperial
Household Ministry (MIZUTANI, Masao),
Made by Ozawa Shintaro Shop c.1932
birch

新館 Annex

ギャラリー1

グラジオラス★

朝香宮鳩彦王妃允子 1923-25年
紙、水彩
Gladioluses★
Princess Nobuko of Asaka 1923-25
watercolor on paper

テーブル・ランプ

レイモン・シュブ 1922年頃
鍛鉄、布
Table lamp
Raymond Subes c.1922
wrought iron, cloth

テーブル・ランプ

傘:ドーム、スタンド:ルイ・カトナ
1925年頃
ガラス、鍛鉄
Table lamp
Shade by Daum, Stand by Louis Katona c.1925
wrought iron, glass

ダリア★

朝香宮鳩彦王妃允子
紙、水彩
Dahlia★
Princess Nobuko of Asaka
watercolor on paper

電動式置時計《野バラ》

ルネ・ラリック 1926年
ガラス、プレス成型、サチネ、パチネ
Electric clock, Wild Roses
René Lalique 1926
glass, pressed, satin finish, patinated

鉢

フランソワ・エミール・デコルジュモン
1925年頃
ガラス(バート・ド・ヴェール)
Bowl
François-Emile DÉCORCHEMONT c.1925
glass (pâte de verre)

グロキシニア★

朝香宮鳩彦王妃允子
紙、水彩
Gloxinia★
Princess Nobuko of Asaka
watercolor on paper

燭台《トウキョウ》

ルネ・ラリック 1935年
透明ガラス、プレス成型
Candlestick, Tokyo
René Lalique 1935
clear glass, pressed

建物公開2025 時を紡ぐ館

Looking at Architecture 2025: A Mansion's Many Eras

蓮の花★

朝香宮鳩彦王妃允子 1910年頃
紙、水彩

Lotus Flower★

Princess Nobuko of Asaka c.1910
watercolor on paper

菖蒲★

富美宮允子内親王
紙、布、刺繍

Iris★

Princess Nobuko of FUMI
paper, cloth, embroidery

小鳥★

富美宮允子内親王 1906年
紙、鉛筆

Birds★

Princess Nobuko of FUMI 1906
pencil on paper

ウサギ★

富美宮允子内親王 1906年
紙、鉛筆

Rabbit★

Princess Nobuko of FUMI 1906
pencil on paper

スケッチブック★

富美宮允子内親王
紙、水彩

Sketchbook★

Princess Nobuko of FUMI
watercolor on paper

受領證綴★

1921-25年

紙、紐、インク

Bound receipts ★

1921-25

paper, string, ink

権藤要吉の世界旅行をめぐる絵葉書

Postcards from Yōkichi Gondō's World Travels

妃殿下寝室家具(クローゼット)★

1933年頃

木材、金属、鏡

Closet (Princess's Bedroom)★

c.1933

wood, metal, mirror

喫煙室家具(小椅子、長椅子)★

設計：宮内省内匠寮工務課(水谷正雄)、製作：寺尾侘
1933年

木材(サクラ)、布

Chair and Sofa (Smoking Room) ★

Designed by Construction Bureau of the Imperial

Household Ministry (Masao Mizutani),

Made by Kan Terao 1933

cherry tree, cloth

フロア・ランプ

スタンド：エドガー・ブランド、傘：シュナイダー兄弟
1925年頃

鍛鉄、ガラス

Floor lamp

Ironwork by Edgar Brandt, Glasswork by Schneider

c.1925

wrought iron, glass

デイ・ドレス

ポール・ポワレ 1910年頃

ピンク色の絹サテンにイスラム風の花柄模様をチェーンズ

テッチ刺繍

Day Dress

Paul Poiret c.1910

pink silk satin chain-stitched with Islamic flower

motif

第一応接室壁紙 テッコーA5-217★

ザルブラ社

紙

Wallpaper of Official Waiting Room Salubra's TEKKO

A5-217★

Salubra & Co.

paper

若宮寝室壁紙 テッコー737-50★

ザルブラ社

紙

Wallpaper for the Young Prince's Bedroom

Salubra's TEKKO 737-50★

Salubra & Co.

paper

若宮居間壁紙 テッコーRA27D★

ザルブラ社

紙

Wallpaper for the Young Prince's Sitting Room

Salubra's TEKKO RA27D★

Salubra & Co.

paper

殿下寝室壁紙 テッコー757-9★

ザルブラ社

紙

Wallpaper of Prince's Bedroom Salubra's TEKKO

757-9★

Salubra & Co.

paper

妃殿下寝室壁紙 テッコーRA35B★

ザルブラ社

紙

Wallpaper for the Princess's Bedroom Salubra's

TEKKO RA35B

Salubra & Co.

paper

妃殿下居間壁紙 テッコー31380★

ザルブラ社

紙

Wallpaper for the Princess's Sitting Room

Salubra's TEKKO 31380

Salubra & Co.

paper

テッコー・ザルブラ壁紙見本帳

編：ザルブラ社 1930年

紙、プリント

Wallpaper Sample Book: Tekko & Salubra Series

Edit by Salubra 1930

print on paper

テッコー・ザルブラ壁紙見本帳

編：ザルブラ社 1938年頃

紙、プリント

Wallpaper Sample Book: Tekko & Salubra Series

Edit by Salubra c.1938

print on paper

総理大臣時代アルバム

1940-50年代

アルバム、写真

大磯町郷土資料館所蔵

Shigeru Yoshida's Prime Minister Years Album

1940-50s

album, photograph

Courtesy of Oiso Municipal Museum

東京都の鍵

1950-70年代

金属ほか

松本徽章工業株式会社所蔵

Key to the City of Tokyo

1950-70s

Courtesy of MATSUMOTO KISHO IND.CO., LTD

metal, and others

南薫緯約★

郷原古統 1927年

絹本着色

個人蔵

Southern Fragrance ★

Kotō Gōbara 1927

Color on silk, triptych of hanging scrolls

Private Collection

装飾パネル(朝香宮邸正面玄関)

ルネ・ラリック 1932年

プレス成型、パチネ

A part of glass-relief doors (front entrance of

Prince Asaka Residence)

René Lalique 1932

glass, pressed, patinated

鏡

オットー・クンツリ 2014-15年

備長炭、漆(室瀬和美による)、銀、絹

Otto KÜNZLI 2014-15

charcoal (bincho-tan), lacquer by Kazumi Murose,

silver, silk

コマイヌVII

オットー・クンツリ 2015年

真鍮、金メッキ、初音ミクの髪

Komainu VII

Otto KÜNZLI 2015

brass, gold plated, Hatsune Miku's hair

鳥たちが見た夢

佐々木愛 2020年

漆喰(塗るタイルX-1)

Dream of the birds

Ai Sasaki 2020

stucco

Door

佐々木愛 2020年

木材に彩色

Door

Ai Sasaki 2020

paint on wood

香水塔の全体模型

製作：東京藝術大学総合芸術アーカイブセンター 2011年
合成樹脂

Model of the Perfume Tower

Made by The Tokyo University of the Arts Archive Center

2011

synthetic resin

香水塔の照明部模型

製作：山田修(奈良県立大学)、協力：アーツカウンシル東京
2024年

合成樹脂

Model of the upper lighted portion of the Perfume Tower

Made by Osamu Yamada(Nara Prefectural University),

In cooperation with Arts Council Tokyo 2024

synthetic resin

植物文様のレリーフ(復元品)

原型：齋藤名穂(UNI DESIGN)、協力：有限会社 湯田工業
2023年

コンクリート

Botanical Relief for Great Dining Hall(replica)

Modeler:Nao Saito(UNI DESIGN), In cooperation

with Yuda Kogyo Co., Ltd. 2023

concrete

魚のラジエーターカバー模型

製作：一般社団法人路上博物館 2025年

樹脂

Model of a radiator cover designed with fish and

seashells

Made by The Museum on the Street Association

2025

resin

2 正門横スペース(旧門衛所)コラボレーション展示

正門横ミュージアムショップ内のカフェスペースにおいて、本館・新館の展覧会とは一味違った幅広い展示活動を、ショップの受託者である株式会社フェルミエと美術館のコラボレーション展示として実施した。

旧朝香宮邸のタイル

旧朝香宮邸本館内には、室内・屋外共に色彩豊かなタイルが使用されている。それらのタイルは、当時美術タイルとして有名だった泰山製陶所や山茶窯製陶所が製作したもので、朝香宮邸竣工時の仕様書にはタイルの種類や貼り付け場所が詳細に記載されている。本展では、近年行った妃殿下居間バルコニー、姫宮バルコニーで行ったタイルの復原、また北の間タイルの修理について、実物やパネル・映像を通して紹介した。



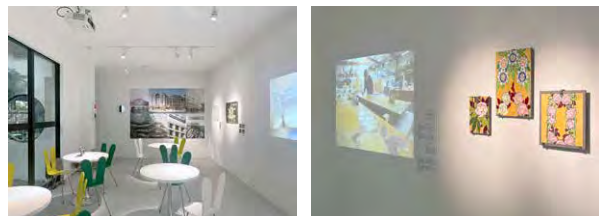
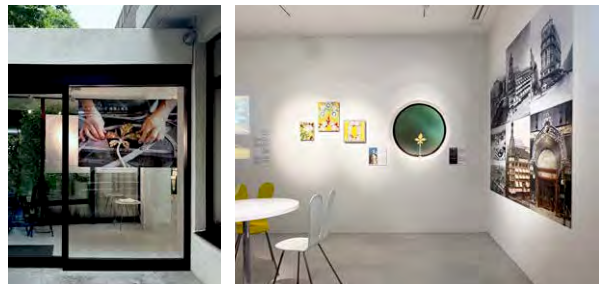
期間 2025年4月8日(火)～5月11日(日)[30日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 観覧料 無料
 来場者数 2,635人



ランドスケープをつくる ラ・サマリテーヌ 修復と再生

「ラ・サマリテーヌ (La Samaritaine)」は、パリのセーヌ川にかかるポン・ヌフの右岸に位置する、老舗の百貨店。1890年に当時の最先端の建築工法を用いてアール・ヌーヴォー様式の建物が造られ、1926年には新たにアール・デコ様式の建物が増築され、パリ市民に長年愛されてきた。2005年に安全上の理由から閉鎖を余儀なくされたが、その後10年以上におよぶ設計・工事期間を経て、2019年にホテルやオフィスなども含めた複合施設として再生された。本展では、ラ・サマリテーヌの修復と再生の物語に焦点をあて、パリの街で歴史が現代へと引き継がれ、未来へむけて新しい「ランドスケープ」が作り出されていく様子を紹介した。

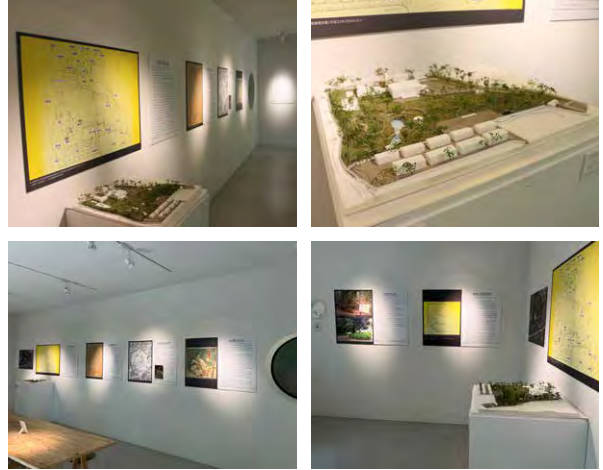
期間 2025年5月20日(火)～7月13日(日)[48日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 監修 妹島和世(東京都庭園美術館館長)
 観覧料 無料
 来場者数 3,738人



ランドスケープをつくる 土地の変遷

現在は東京都庭園美術館となっている旧朝香宮邸一帯は、いにしえより人々が暮らしの場としてきた。時代を遡れば、この地は御料地や海陸軍の弾薬庫、大名家の下屋敷、中世豪族の館…と、その時々でこの地を往来したさまざまな人々が歴史を紡いできた。美術館となった今日でもその足跡は各所に残され、往時を偲ぶことができる。本展では「土地の変遷」と題し、歴史資料や各種文献、考古学的知見などから得られた情報を元に、美術館が所在する白金台周辺の歴史について紹介した。

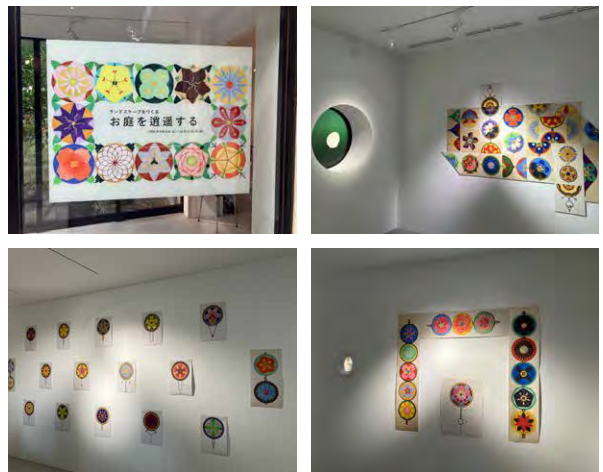
期間 2025年7月23日(水)～8月31日(日)[35日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 観覧料 無料
 来場者数 3,135人



ランドスケープをつくる お庭を逍遙する

東京都庭園美術館を構成する一要素ともいえる「花」に注目し、華道家・道念邦子(どうねん くにこ、1944-)によるインスタレーションを行った。道念は、正門横スペースをひとつの「器」と見立て、いけばなの仕事のかたわらで描いてきた「花」を壁面にコラージュすることにより、そこから広がる宇宙を「ランドスケープ」として構築することを試みた。テーマに掲げられた「逍遙(しょうよう)」とは、特定の目的を持たずに気ままに歩き、偶発的な出会いを楽しむこと。花との一期一会を味わいながら、正門横スペースから美術館、庭園、そして心の内なる庭園へと巡るひとときを楽しんでもらうことを意図した展示とした。

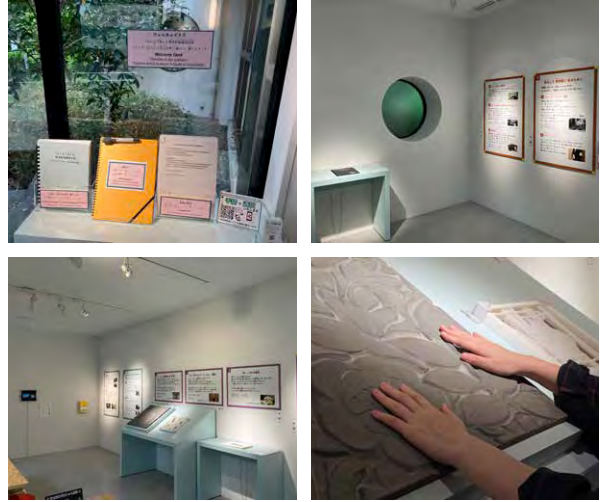
期間 2025年9月9日(火)～10月13日(月・祝)[31日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 監修 妹島和世(東京都庭園美術館館長)
 観覧料: 無料
 来場者数 3,012人



みんなで楽しむ東京都庭園美術館—アクセシビリティ向上の取り組み—

東京都庭園美術館では、年齢や障害の有無、言葉や文化の違いにかかわらず、誰もが安心して訪れ、楽しめる美術館を目指し、アクセシビリティの向上に取り組んでいる。本展では、その具体的な取り組みや、来館者の皆さまにご利用いただけるツールを紹介した。館内での活動を紹介するパネルに加え、触知案内図や絵本、模型など、実際に触れて体験できるツール、手話による美術館の紹介動画やプログラム紹介動画を展示した。また展示の解説文はすべて「やさしい日本語」を使用するほか、大きな文字と点字による冊子や、音声コード「Uni-Voice」も用意し、多様な方法で鑑賞を楽しめるように配慮した。当館のアクセシビリティへの取り組みを紹介し、鑑賞者にとって美術館での新しい体験のきっかけとなることを意図した展示とした。

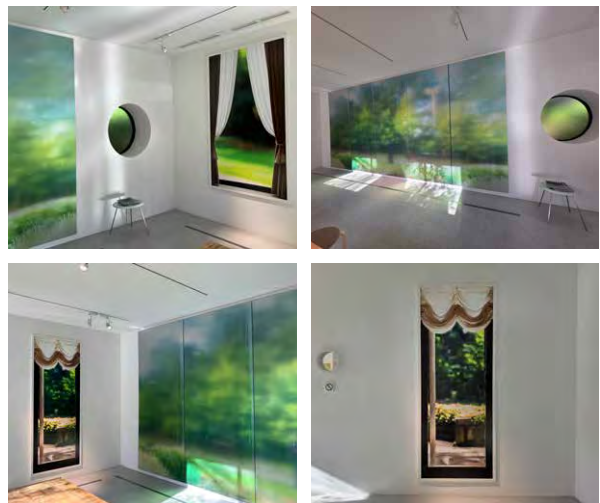
期間 2025年10月21日(火)～12月7日(日)[42日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 観覧料 無料
 来場者数 4,534人



ランドスケープをつくる みる意識をみつめる

写真を表現技法として「ランドスケープ」を重要なテーマの一つとして作品を制作しているアーティスト、石山和広(いしやま かずひろ、1981-)による展示を行った。夏の東京都庭園美術館や、初夏のルーヴル美術館ランス別館を写した石山の作品は、複数の写真を合成することで構成されているため、まるで実際の風景を目の前にしているような感覚を生み出しながらも、現実には存在しないほど緻密で情報量の多い描写となっている。眼前に存在するが実在し得ない風景と向き合い、風景をみつめるこちらの眼差しそのものをみつめることで、作品の向こう側に広がる「ランドスケープ」を楽しんでもらうことを意図した展示とした。

期間 2025年12月16日(火)～2026年1月25日(日)
 [29日間]
 主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ
 監修 妹島和世(東京都庭園美術館館長)
 観覧料 無料
 来場者数 2,383人



チーズ、Cheese、Fromage、Formaggio、Queso、Käse!!

～ヨーロッパの大地と酪農とチーズ屋とフェルミエ～

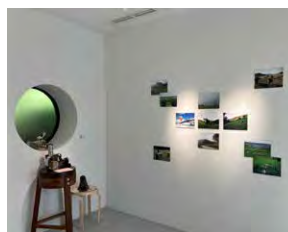
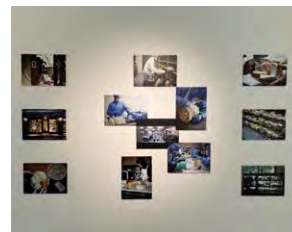
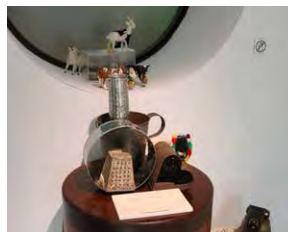
株式会社フェルミエとの共同企画による展示。ヨーロッパの文化や風景の中で生まれる、素朴でどこか懐かしい味わいのナチュラルチーズは、牛・羊・ヤギの営みから作り出され、自然の力で発酵・熟成するチーズは、ひとつとして同じものがない。本展では、ヨーロッパ各地のチーズ生産の現場や、フランスの日常生活の中に溶け込むチーズ屋の光景、そして日本のチーズ屋「フェルミエ」の日常を、写真家・合田昌弘(ごうだ まさひろ、1965-)が撮影した写真によって紹介した。チーズの奥深い世界やチーズ屋という仕事の魅力、その背景にある文化を、写真を通して感じ取ってもらうことを意図した展示とした。

期間 2026年2月10日(火)～4月19日(日)[60日間]

主催 東京都庭園美術館、株式会社フェルミエ

観覧料 無料

来場者数 2025年度 2,414人



3 庭園公開

植栽の管理に力を入れ、丁寧に庭園を視察し健全な状態を維持した。敷地内のソメイヨシノのうち朝香宮邸建設当時からあったと推定される老木について、今後の開花のため樹勢回復業務を実施した。これら敷地内の樹木について剪定等の業務を行い安全性の向上を図った。

また、本年度も「庭園パスポート」を販売し、芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいただいた。

庭園公開日数	306日
庭園のみ入場者数	92,913人
庭園パスポート入場者数	2,877人



茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

茶会等事業

茶会体験

「こども茶会ーおもいやりの心」

本事業は5回目の実施となる。対象は小学3年生～6年生とその保護者。2時間のプログラムで、前半はこどもと保護者は別々になり、こどもたちには模擬茶会を通して、茶会のこと、道具の名前や使い方、お菓子の食べ方、抹茶の飲み方のレクチャーを受けた後、茶笥で抹茶を点てるという実技を行った。その間、保護者には別室で茶会や茶室に関するレクチャーを行った。その後、こどもたちと合流し、こどもが掛軸や花、道具のこと、お菓子の食べ方を保護者に説明し、抹茶を点て、飲み方を伝えて保護者に振舞うという内容とした。

日時	2025年11月30日(日) ①午前の部 10:30～12:30 ②午後の部 13:30～15:30
会場	茶室「光華」広間
講師	目黒とうりあん茶道教室 船越宗英、河田宗愛(ともに裏千家)
参加者数	一般公募 ①9組18人 ②8組16人 計17組34人
参加費	1組2,000円(入場料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



トークイベント「近代茶室「光華」の魅力ー数寄屋大工の眼、建築史家の眼」

こちらは5回目の実施となる。建築史家と数寄屋建築のプロの眼と担当学芸員も加わって、茶室「光華」の建築的な魅力を掘り起こそうという趣旨で実施している。茶室立礼席で「光華」の歴史や立礼席の展開について事前説明をしたあと、今回も数寄屋大工棟梁に鉋掛けとハツリの実演、説明をしてもらい、その後広間、小間に移動して解説や質疑応答を行った。

日時	2025年11月15日(土) ①午前の部 10:30～12:30 ②午後の部 13:30～15:30
会場	茶室「光華」立礼席、広間、小間
講師	小沢朝江(東海大学建築都市学部建築学科教授) 芹澤毅(せりざわたけし工務店、数寄屋大工棟梁)
参加者数	一般公募 ①9人 ②10人 計19人
参加費	無料(入場料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



呈茶会

2018年度以来、地元港区華道茶道連盟を亭主とし、「春の呈茶」「秋の呈茶」を実施している。主菓子と抹茶を提供するオーソドックスな茶会で、初心者でも気軽に参加できるよう平易な茶会としている。呈茶のあとは、参加者を小間に案内し、学芸員による「光華」の解説を行った。

①春の呈茶

日時 2025年4月19日(土)
第1席10:30～ 第2席11:45～
第3席13:30～ 第4席14:45～ 第5席 16:00～

会場 茶室「光華」広間

亭主 港区華道茶道連盟 飯泉宗成(表千家)

参加者数 一般公募 67人

参加費 700円(入場料別途)

申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



②秋の呈茶

日時 2025年10月25日(土)
第1席10:30～ 第2席11:45～
第3席13:30～ 第4席14:45～ 第5席 16:00～

会場 茶室「光華」広間

亭主 港区華道茶道連盟 頼野千糸嘉
(石州流茶道 嘉尹会)

参加者数 一般公募 57人

参加費 700円(入場料別途)

申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



特別茶会

エアコンのない茶室は夏と冬環境が厳しく、行事は春秋に行うことが通例であるが、季節感を強く感じる事がむしろ難しい都心において、その風情を十分に感じていただくため、夏と冬に特別茶会を行った。

①夏の特別茶会「輝きと、切なさ」と

4回目の実施となる夏の特別茶会は、テーマを「輝きと、切なさ」とし、より情緒感を強調した。ガラス作家青木美歌氏制作の茶器、花入れ、水指のほか茶碗、茶杓、蓋置、菓子皿等もガラス製とした。またルネ・ラリックのサラダボウルを茶碗に見立てて使用した。菓子は、特注の錦玉仕立てとした。広間の軒にはすだれ、ガラスの風鈴を掛けるなど、涼感と日本の夏の風情を味わえる室礼とし、抹茶は冷茶仕立てとした。

日時 2025年8月2日(土)
 第1席10:30～ 第2席12:30～
 第3席14:00～ 第4席15:30～
 会場 茶室「光華」広間
 亭主 鈴木宗雪(テーブル茶道協会 雪月花 主宰、裏千家)
 参加者数 一般公募 44人
 参加費 1,500円(入場料別途)



②冬の特別茶会「静けさと、温もりと」

冬の特別茶会も4回目となるが、今年度は夏の特別茶会に呼応するようなタイトルとした。師走の忙しい時期に「無事」の掛軸、禅語をテーマとし、自分の心に向き合えれば何事も動じることはないという趣旨の茶会とした。また、第2席は昨年度と同様手話通訳を付け、またフリップを使うなど聴覚に障害のある方への配慮を行い、楽しんでいただくことができた。

日時 2025年12月6日(土)
 第1席10:30～ 第2席12:30～
 第3席14:30～ 第4席16:00～
 会場 茶室「光華」広間・小間
 亭主 鈴木宗雪
 (テーブル茶道協会 雪月花 主宰、裏千家)
 手話通訳 瀬戸口裕子
 参加者数 一般公募 34人
 参加費 1,500円(入場料別途)



光華茶会

当館の日本庭園の原設計者である木津宗泉、「光華」の設計者である中川砂村とともに武者小路千家の茶人であり、また当館の敷地は江戸時代、讃岐松平家の下屋敷であったが、その茶頭は武者小路千家であった。この縁から、耐震補強工事後の茶室開きのご亭主を武者小路千家家元後嗣千宗屋氏にお勤めいただき、以来、武者小路千家との茶会を「光華茶会」と名付け、その歴史性を継承している。2023年度からは、他分野とのコラボ茶会を「光華茶会スペシャル」と称して実施しており、茶会参加者の裾野を広げることを目指している。

光華茶会スペシャル「花も茶も」

今年度は「なげいれ」という花の流儀の横川志歩氏を招き、「なげいれ」のワークショップと茶会を組み合わせた。「なげいれ」では横川氏が用意した草や花を、はじめは参加者に自由に入れてもらい、それを横川氏が手直しするという進行であった。単に入れるだけのことではあるが、やはり講師が手を入れると全く別物になり、花の奥深さを知ることができた。続いての茶席は武者小路千家の傳田妙京氏が亭主となったが、傳田氏はすべて自身がコレクションした茶碗を使い、陰出しをしないで一人一人に丁寧に茶を点て説明するなど、心遣いにあふれた茶席であった。

日時	2025年5月31日(土) ①午前の部 10:30~12:30 ②午後の部 13:30~15:30
会場	茶室「光華」立礼席、広間
講師	なげいれワークショップ 横川志歩 茶席 傳田妙京(武者小路千家教授)
参加者数	一般公募 ①10人 ②8人 計18人
参加費	2,000円(入場料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



一般公開、特別公開

一般公開

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

入室者数 105,202人(茶会、茶会体験等参加者を除く)

特別公開

夏の特別公開

夏の特別茶会の趣向である日本の夏の風情を感じていただくため、ガラスの茶道具等の室礼による特別公開を行った。

日時 2025年8月3日(日)～17日(日)
10:00～16:30
会場 茶室「光華」広間
入室者数 7,364人



光華倶楽部 交流茶会と大使館訪問

「光華倶楽部」とは、高校茶道部と各国大使館やその下部組織を対象とし、高校茶道部が大使館員等を招いて「光華」で茶会を催し、その後大使館が高校茶道部の訪問を受け入れるという事業である。2025年は大阪・関西万博の開催等により各大使館とも多忙とのことで実施できなかったが、2026年の年明けからいくつか大使館からの問い合わせがあり、交流茶会は計画通り2回実施できた。ただし、大使館訪問は日程が折り合わず年度内の実施を見送った。

①フィンランド大使館&朋優学院高等学校

茶会 2026年3月7日(土)14:00~15:00

参加者数 大使館職員とフィンランド学生11人、朋優学院高等学校茶道部10人



②ポルトガル大使館&東京都立深川高等学校

茶会 2026年3月27日(金)

参加者数 大使館職員5人、東京都立深川高等学校茶道部8人



企画展示事業

1 戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見

Back to Modern: Graphic Design from West Germany

会期	2025年3月8日(土)～5月18日(日)[62日間] 2025年度:2025年4月1日(火)～5月18日(日)[42日間]
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
特別協力	A5コレクション デュッセルドルフ
後援	ドイツ連邦共和国大使館、 ゲーテ・インスティトゥート
企画協力	株式会社キュレイターズ
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグ、Van Cleef & Arpels
担当	西美弥子、鶴三慧
観覧料	一般1,400円/ 大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円/ 中学生・高校生700円/65歳以上700円/ 小学生以下無料
出品点数	376点
広報印刷物	ポスター(B1,B2)チラシ(A4)
デザイン	クリ・ラボ 栗原幸治
来館者数	55,356人(1日平均893人) 2024年度 16,379人(1日平均819人) 2025年度 38,977人(1日平均928人)



第二次世界大戦後の1945年に東西に分断され、1990年に再統一されるまで、ドイツ民主共和国(東ドイツ)とドイツ連邦共和国(西ドイツ)という二つの国が存在した。本展では、このうち西ドイツにおいて制作されたグラフィックデザインについて注目し、その様相を探った。

本展の導入部は、再びドイツが国際社会に復帰するため、威信をかけて開催された文化・スポーツなどのイベントにおいてグラフィックデザインが果たした役割について紹介した。また、商業と密接な関係にあるグラフィックデザインによるコーポレート・イメージの構築など、西ドイツの経済発展への寄与にも注目した。その後、幾何学的抽象、イラストレーション、写真、タイポグラフィという、グラフィックデザインを構成する4つの要素を軸に、ポスターや書籍、冊子、レコードジャケットなど多様な資料を分類して展示した。展示は、旧朝香宮邸の特性を活かしてじっくりと作品を向き合える空間とした本館に対し、新館ではアシンメトリーな形の壁にリズムカルに作品を展示し、緩急のある展示空間とした。当時の最新技術を用いながら、戦時中に否定されたモダニズムを再復活させた西ドイツのグラフィックデザインからは、戦後の新時代を切り開くデザイナーたちの若い感性の発露が感じられた。それは、戦禍の残る西ドイツを活気づけ、再び世界市場へと押し上げたデザインの力を、現代に伝えてくれるものであった。 ※詳細は、2024年度年報を参照

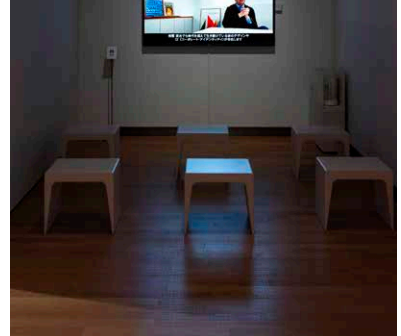
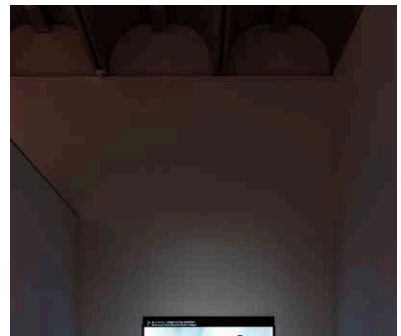
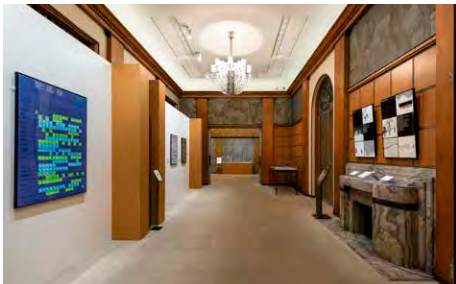
After World War II ended in 1945, Germany was divided into separate states, east and west: the German Democratic Republic (East Germany) and the Federal Republic of Germany (West Germany). They were reunified in 1990. This exhibition focused on exploring the nature of graphic design created in West Germany during those years.

The introduction presents the role of graphic design in cultural and sporting events held with great national pride as part of efforts to reintegrate Germany into the international community. Attention is also given to how graphic design, with its close ties to commerce, contributed to West Germany's economic growth by, for example, helping build corporate identities. The exhibition went on to classify and display a wide range of materials, including posters, books, brochures, and record jackets, in terms of four fundamental elements of graphic design: geometric abstraction, illustration, photography, and typography.

Our Main Building, making effective use of the characteristics of the Former Residence of Prince Asaka, offers a setting in which visitors could closely engage with each work. The Annex featured a dynamic installation, displaying pieces rhythmically along asymmetrical walls, to create a sense of movement and contrast. Using the latest technologies, West German graphic designers revived modernism, which had been rejected during the war, and expressed the fresh sensibilities of the generation that was shaping the new postwar era. Their designs not only energized war-torn West Germany but also propelled it back onto the world stage, reminding us today of the enduring power of design.

戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見
 Back to Modern: Graphic Design from West Germany

会場風景



撮影：大倉英揮（黒目写真館）

戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見
Back to Modern: Graphic Design from West Germany

関連事業

講演会「映画から見る戦後ドイツのポスターグラフィック」

西ドイツで上映された映画について、特にアート系映画配給会社の紹介と、そこからデザインを依頼されたデザイナーと彼らのポスターデザインについて紹介した。中でもアート系の映画ポスターを数多く手がけたことで知られるハンス・ヒルマンの作品については、豊富な作例とともに、そのデザインの魅力と妙技について解説した。

日時 2025年4月20日(日)14:00～15:15
場所 新館ギャラリー2
講師 岡田秀則(国立映画アーカイブ 主任研究員)
参加者数 75人
参加費 無料(入館料別途)
申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

講演会「ドイツのポスター：ザッハプラカート(Sachplakat)を中心に」

1890年から1933年までのドイツのポスターについて、様々な作例を紹介しながらその様相について解説した。本講演会で語られた内容は、本展で扱われた時代の前史にあたり、本展内では作品を展示することのできなかつた時代について紹介することで、包括的にドイツのグラフィックデザインについて理解していただく機会となった。

日時 2025年5月10日(土)14:00～15:30
場所 新館ギャラリー2
講師 池田祐子(三菱一号館美術館 館長)
参加者数 78人
参加費 無料(入館料別途)
申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

ワークショップ「かさねて!くみあわせて!ポスターづくり」

オリジナルのポスターをつくるワークショップ。ブレインストーミング用のワークシートを用意し、製作前にどのようなポスターを作るか参加者に考えてもらった。スタンプ、ステンシル、切り紙、色鉛筆などの材料や道具を用意し、それらを自由に選択し、組み合わせて製作をした。子供から大人まで幅広い年齢層が参加した。

日時 2025年4月12日(土)10:00～16:00(最終受付15:00)
場所 新館ギャラリー2
対象 どなたでも
参加者数 151人
参加費 無料(入館料別途)
申込方法 当日受付(材料がなくなり次第終了)

2 永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ

Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

会期	2025年9月27日(土)~2026年1月18日(日)[91日間]
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、 日本経済新聞社
特別協力	Van Cleef & Arpels
後援	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグ、 Van Cleef & Arpels
会場構成	西澤徹夫建築事務所
会場構成協力	成定由香沙、佐藤熊弥(tandem)
グラフィックデザイン	林 琢真、矢尾板日向子、 蒲原早奈美(林琢真デザイン事務所)
担当	方波見瑠璃子、鶴三慧
観覧料	一般1,400円/ 大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円/ 高校生・65歳以上700円/中学生以下無料
出品点数	329点
広報印刷物	ポスター(B1, B2)チラシ(A4)
デザイン	林琢真デザイン事務所
来館者数	127,024人(1日平均 1,396人)



本展は、当館の活動において重要な位置を占める「現代装飾美術・産業美術国際博覧会(通称 アール・デコ博覧会)」の開催から100周年という節目を記念した企画である。1895年に創立されたハイジュエリー メゾンであるヴァン クリーフ&アーペルが、同博覧会の宝飾部門でグランプリを受賞した事実を起点に、アール・デコ期のジュエリーを通して装飾美術の本質を紐解くことを目的とした。

出品作品は、歴史的価値が認められた作品からなるヴァン クリーフ&アーペルの「パトリモニー コレクション」を中心とする約250点のジュエリー、時計、工芸品に加え、デザイン画や模型など制作背景を示す資料約60点で構成した。

建築家の西澤徹夫氏に会場構成を依頼し、本館では、旧朝香宮邸と作品との有機的な結びつきを重視し、展示空間全体が高い調和を保った、没入感のある展示を目指した。各室の意匠や本来の用途との関係性を踏まえた作品配置や自然光を生かした展示を行い、当館ならではの鑑賞体験を創出した。さらに当時のドレスや朝香宮夫妻のパリ滞在に焦点を当てた特集展示を加えることで、時代背景を含めた総合的な理解を一層深める成果へとつながった。

新館では「庭園」をコンセプトに、動植物をモチーフとした幅広い制作年代の作品を展示し、素材や制作技術に着目した構成とした。本館と新館とで異なる視点から鑑賞できる機会を提供し、多角的な理解と新たな発見を促す展覧会となった。

This exhibition commemorates the 100th anniversary of the International Exhibition of Modern Decorative and Industrial Arts (commonly known as the Art Deco Exhibition), which has a significant place in our museum's activities. Making its starting point that Van Cleef & Arpels—a High Jewelry Maison founded in 1895—won the Grand Prize at that exhibition, the show aims to explore the essence of the decorative arts through jewelry from the Art Deco period.

The works on exhibit are focused on approximately 250 creations from the Van Cleef & Arpels patrimonial Collection and private collections—jewelry, timepieces, and precious objects recognized for their historical value—supplemented by around 60 items such as design drawings and models that reveal the creative process.

Design of the venue was entrusted to architect Nishizawa Tezzo. In the Main Building, we have focused on an organic connection between the Former Residence of Prince Asaka and the exhibits, aiming for an immersive display in which the entire space achieves a high degree of harmony. By arranging pieces in relation to each room's decorative details and original functions and utilizing natural light, we created a unique viewing experience possible only at our museum. Adding a special exhibition of Art Deco period dresses and materials concerning the Paris stay of Prince and Princess Asaka further deepened comprehensive understanding of the historic context.

In the Annex, the theme was Teien (Garden). We displayed works with plant and animal motifs with a wide range of dates of production, structured with a focus on materials and craftsmanship. By offering the opportunity to appreciate the collection from differing perspectives in the Main Building and Annex, the exhibition encouraged multifaceted understanding and new discoveries.

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

展示構成:

第1章	アール・デコの萌芽
第2章	独自のスタイルへの発展
第3章	モダニズムと機能性
第4章	サヴォアフェールが紡ぐ庭
特集展示1	アール・デコ期の装い
特集展示2	朝香宮とパリ

Exhibition composition:

Chapter 1	Emergence of an Art Deco Aesthetic
Chapter 2	Evolution towards a Singular Style
Chapter 3	Modernism and Functionality
Chapter 4	Garden of Savoir-faire
Highlight 1	Dresses from the Art Deco Period
Highlight 2	Prince and Princess Asaka in Paris

展覧会カタログ

執筆

カトリーヌ・レニエ(ヴァン クリーフ&アーペル プレジデント兼CEO)「実り多き創造の対話を称えて」
方波見瑠璃子「永遠なる瞬間——アール・デコをめぐる装飾美術の諸相」
アレクサンドリン・マヴィエル＝ソネ(ヴァン クリーフ&アーペル パトリモニー&エキシビション ディレクター)
「ヴァン クリーフ&アーペル パトリモニー コレクション」
牟田行秀「アール・デコとの邂逅がもたらした奇跡の建築」
鶴三慧「允子妃のジュエリーが語ること——朝香宮夫妻が愛したパリ」

編集

東京都庭園美術館、日本経済新聞社文化事業部

アートディレクション

林 琢真(林琢真デザイン事務所)

デザイン

矢尾板日向子、蒲原早奈美(林琢真デザイン事務所)

制作

コギト

発行

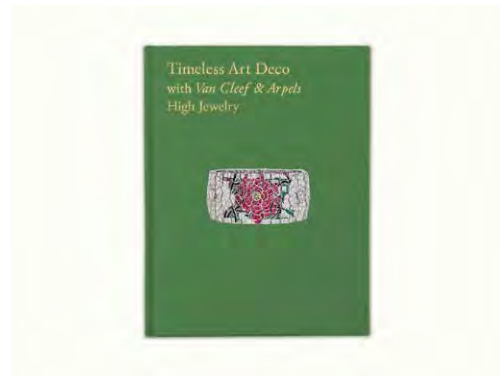
日本経済新聞社

発行日

2025年9月27日

販売価格

3,850円(税込)

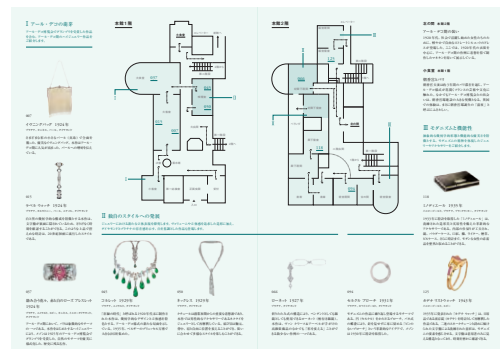


その他印刷物等

展覧会マップ

判型・ページ数 両面A3 2つ折、4ページ

デザイン 林琢真デザイン事務所



永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

展覧会特設サイト

本展のハイライトや章立て、公式図録、展覧会限定グッズ等に関する情報を発信した。

2025年6月19日～2026年1月31日稼働



展覧会公式X

本展の見どころや混雑状況等に関する情報を発信した。

2025年7月8日～2026年1月31日稼働



主要関連記事

「『永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル』展 一瞬のきらめき、永遠の記憶へ」『日本経済新聞』2025年9月15日

「ヴァン クリーフ&アーペル 空間に咲く実用の美」『朝日新聞』2025年10月2日

「BOOK IN BOOK——ヴァン クリーフ&アーペルが紡ぐ ハイジュエリーとアール・デコの世界」『美術手帖』2025年10月号

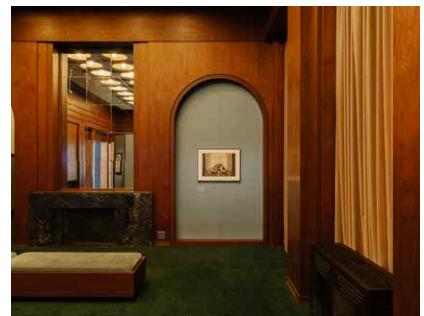
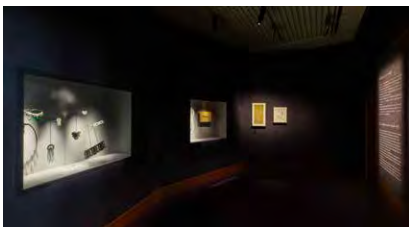
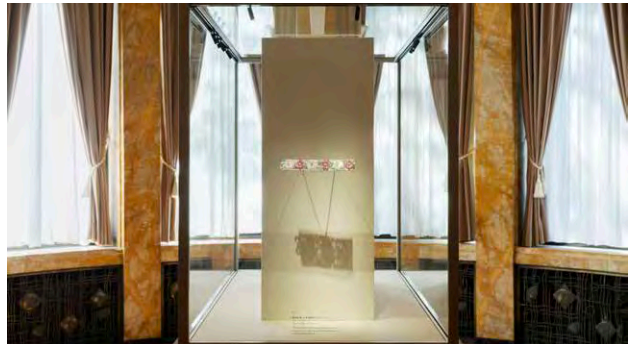
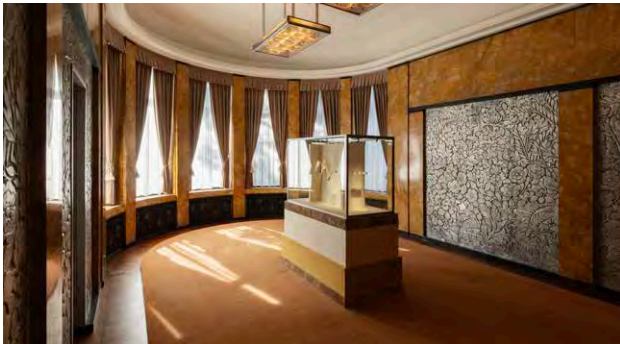
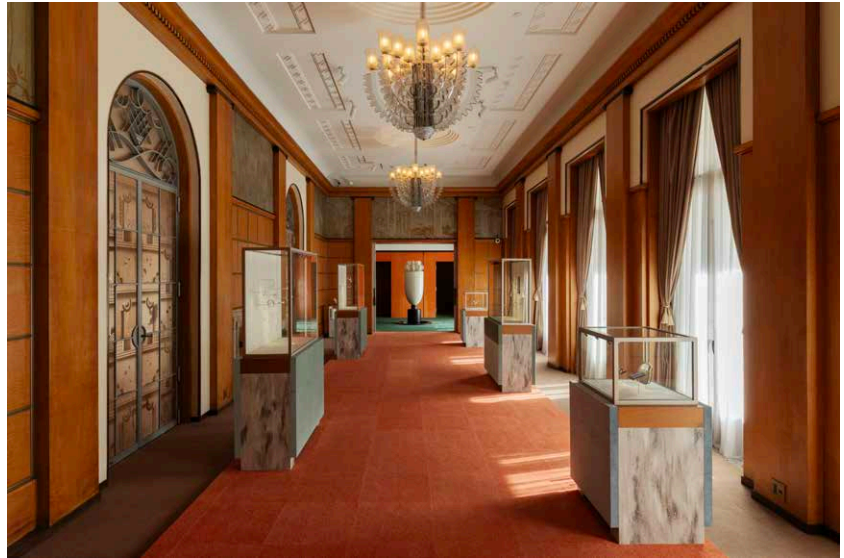
BSテレビ東京『アール・デコ100年の時を超えて～ヴァン クリーフ&アーペルが紡ぐ美の物語～』2025年11月22日

「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ 会場構成」『新建築』2026年1月号

「坂東玉三郎さんが出会うヴァン クリーフ&アーペル——フランスと日本「美の対話」」『和楽』2026年2・3月号

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

会場風景



撮影：永禮 賢

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry



永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

関連事業

展覧会関連トークプログラム 第1回「アール・デコの世界」

<レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校>の講師を招聘し、アール・デコ博覧会の概要や、アール・デコ期のジュエリーの特徴、またその着想源など制作背景について紹介した。

日時	2025年11月9日(日)14:00~15:30
会場	新館ギャラリー2
講師	パトリシア・ジルカ(歴史学者、宝石学者、レコール講師)、 ソムン・チョ(美術史家、レコール講師)
参加者数	51人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
企画協力	レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校
情報保障	日英同時通訳、手話通訳、文字表示

展覧会関連トークプログラム 第2回「アール・デコにおける素材の探求」

<レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校>の講師を招聘し、アール・デコ期のジュエリーに用いられた素材や技法について、また当時の時代背景について紹介した。

日時	2025年12月7日(日)14:00~15:30
会場	新館ギャラリー2
講師	パトリシア・ジルカ(歴史学者、宝石学者、レコール講師)、 マチルド・ベルジェ-ロンドゥアン(美術史家、レコール講師)
参加者数	37人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
企画協力	レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校
情報保障	日英同時通訳、手話通訳、文字表示

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

*ジュエリー以外の出品作品については、ヴァン クリーフ&アーペル 提供の資料にはA、それ以外にはMを出品番号の冒頭に付した。

作品リスト

001 リング 1930年頃 プラチナ、ジェイド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	014 リストウォッチ 1925年 プラチナ、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	026 ブレスレット 1924年 プラチナ、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
002 ループ ブローチ 1919年 プラチナ、エメラルド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	015 ラベル ウォッチ 1924年 プラチナ、カルセドニオ、パール、エナメル、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	027 ブレスレット 1926年 プラチナ、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
003 ロータス バヨネット ブローチ 1922年 プラチナ、エメラルド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	016 ラベル ウォッチ 1920年 プラチナ、ホワイゴールド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	028 ブレスレット 1921年 プラチナ、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
004 エンペロープ パウダーケース 1922年 イエローゴールド、エナメル ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	017 ブレスレット 1923年 プラチナ、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	029 ヴァニティケース 1926年 イエローゴールド、プラチナ、エナメル、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
005 エンペロープ パウダーケース 1922年 イエローゴールド、エナメル ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	018 ハットピン 1918年 プラチナ、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	030 イヴニングバッグ 1926年 イエローゴールド、ラピスラズリ、エナメル、シルク、 ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
006 エンペロープ パウダーケース 1922年頃 イエローゴールド、エナメル ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	019 ブローチ 1921年 プラチナ、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	031 ヴァニティケース 1928年 ホワイゴールド、イエローゴールド、ラピスラズリ、 エナメル、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
007 イヴニングバッグ 1924年 プラチナ、オニキス、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	020 ブレスレット 1921年 プラチナ、ホワイゴールド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	032 ローズ ヴァニティケース 1926年 プラチナ、イエローゴールド、エメラルド、ルビー、 イエローサファイア、ジェイド、エナメル、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
008 ヴァニティケース 1925年頃 プラチナ、イエローゴールド、パール、エナメル、 ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	021 ラベル ウォッチ 1921年 プラチナ、ホワイゴールド、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	033 イヴニングバッグ 1927年 プラチナ、ルビー、サファイア、ジェイド、ムーンストーン、 シルク、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
009 ネックレス 1918年 プラチナ、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	A05 リストウォッチのデザイン画 1925年 グレーのカードボードに鉛筆とグワッシュ ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス	034 ローズ ブローチ 1925年 プラチナ、エメラルド、ルビー、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
010 バンビュー イヤリング 1924年 プラチナ、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	022 ポウ ブローチ 1922年 プラチナ、ホワイゴールド、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	035 ブレスレット 1925年 プラチナ、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
011 ブレスレット 1919年 プラチナ、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	023 リストウォッチ 1923年 プラチナ、サファイア、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	036 ロングネックレス 1924年 プラチナ、エメラルド、ルビー、サファイア、オニキス、 エナメル、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
012 ラベル ウォッチ 1922年 プラチナ、オニキス、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	024 イヤリング 1922年 プラチナ、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	037 絡み合う花々、赤と白のローズ ブレスレット 1924年 プラチナ、エメラルド、ルビー、オニキス、 イエローダイヤモンド、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション
013 ラベル ウォッチ 1922年 プラチナ、オニキス、パール、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	025 ブレスレット 1920年 プラチナ、サファイア、ダイヤモンド ヴァン クリーフ&アーペル コレクション	

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

A06
ジャン・デュバがデザインしたヴァン クリーフ&アーペルの
カタログ表紙
1925年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A07
現代装飾美術・産業美術国際博覧会(1925年)で
展示されたジュエリーを宣伝するヴァン クリーフ&アーペル
の広告(複製)
1926年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A08
ローズ ブローチとフラワー ブローチを紹介する、
ジャン・デュバがデザインしたヴァン クリーフ&アーペルの
カタログページ
1925年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A09
ヴァン クリーフ&アーペルの広告
1927年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

038
テーブルクロック
1928年
ブラチナ、ラピスラズリ、オニキス、ロッククリスタル、
エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

039
シガレットケース
1928年
ホワイゴールド、ジェイド、オニキス、ロッククリスタル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

040
クリップ
1927年
ブラチナ、ホワイゴールド、ロッククリスタル、エナメル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

041
懐中時計
1930年
ブラチナ、サファイア、ロッククリスタル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

042, 043
ハットピン
1925年
ブラチナ、ロッククリスタル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

044
ブローチ
1924年
ブラチナ、サファイア、ロッククリスタル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

アール・デコ博覧会の記録映像
1925年
映像(約3分)
GP Archives

A03
1925年パリ現代装飾美術・産業美術国際博覧会の入場券
1925年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A04
現代装飾美術・産業美術国際博覧会で
ヴァン クリーフ&アーペルに贈られたグランプリの賞状
1925年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

M01
ビエール・トゥラン
メダル(現代装飾美術・産業美術国際博覧会)
1925年
鍍金(銅合金)
東京都庭園美術館

M02
シャルル・ルーボ
ポスター(現代装飾美術・産業美術国際博覧会)
1925年
紙、リトグラフ
東京都庭園美術館

045
コルレット
1929年
ブラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

046
ブローチ
1928年
ブラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

047
ブレスレット
1921年
ブラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

048
クリップ
1927年
ブラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

049
ブレスレット
1925年
ブラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

050
ネックレス
1929年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A10
ブレスレットのデザイン画
1925年
グレーのカードボードに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A11
ロングネックレスのデザイン画
1925年頃
トレーシングペーパーに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A12
ブローチのデザイン画
1930年頃
トレーシングペーパーに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A13
ヴァン クリーフ&アーペルの広告
1927年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A14-A17
ブローチのデザイン画
1925年頃
カードボードに貼り付けた厚紙に鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A18
ネックレスのデザイン画
1929年
トレーシングペーパーに鉛筆とホワイグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A19
コルレットのデザイン画
1929年
トレーシングペーパーに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

051
コルスコピア クリップ
1929年
ブラチナ、ホワイゴールド、エメラルド、ルビー、
サファイア、パール、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

052
バッグ クリップ
1929年頃
ホワイゴールド、ブラチナ、エメラルド、ルビー、
サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

053
バッグ クリップ
1930年
ブラチナ、エメラルド、ルビー、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

054
ウォッチ クリップ
1930年
ブラチナ、ホワイゴールド、エメラルド、ルビー、
サファイア、イエローダイヤモンド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

055
フルーツ ベース ブローチ
1925年
ブラチナ、イエローゴールド、エメラルド、ルビー、
サファイア、オニキス、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

056
フラワーバスケット ラベル ウォッチ
1926年
ブラチナ、エメラルド、ルビー、サファイア、オニキス、ダイ
ヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

057
ブレスレット
1925年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

058
ブレスレット
1925年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

059
ブローチ
1925年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

060
ロングネックレス
1927年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

061
リストウォッチ
1926年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

062
ブローチ
1927年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

063
ブレスレット
1923年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

064
ブレスレット
1922年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

065
ピラミッド クリップ
1932年頃
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

066
ローネット
1927年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

067
クリップ
1932年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

068
コルレット
1928年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

069
ブレスレット
1928年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

070
リストウォッチ
1926年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

071
ブレスレット
1927年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

072
ブレスレット
1925年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

073
バッグ クラスプ クリップ
1930年
ブラチナ、ホワイゴールド、カルセドニー、ラピスラズリ、
ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

074
バッグ クラスプ クリップ
1930年
ブラチナ、ホワイゴールド、サファイア、ターコイズ
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

075
バッグ クラスプ クリップ
1931年
ブラチナ、ホワイゴールド、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

076
バッグ クラスプ クリップ
1931年
ブラチナ、イエローゴールド、ローズゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

077
バッグ クラスプ クリップ
1930年
ブラチナ、イエローゴールド、ローズゴールド、
オスミオール、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

078
ローラー バッグ クラスプ クリップ
1933年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

079
バッグ クラスプ クリップ
1933年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

080
スパイラル ブローチ
1935年
イエローゴールド、サファイア
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

081
ブレスレット
1925年
イエローゴールド、ホワイゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

082
ディスク ブローチ
1932年
イエローゴールド、ホワイゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

083
ブレスレット
1936年
イエローゴールド、ローズゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

084
バナシュ クリップ
1931年
イエローゴールド、ブラチナ、ジャスパー、エナメル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

085
ブローチ
1930年
イエローゴールド、ローズゴールド、ルビー、オニキス
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

086
ブローチ
1930年
イエローゴールド、ルビー、ラピスラズリ
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A20-A28
バナシュ クリップの作品カード(複製)
1931年
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

087
トリンケットボウル
1930年頃
イエローゴールド、ルビー、アゲート、ジェイド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

088
テーブルクロック
1930年頃
イエローゴールド、アゲート、ジェイド、オニキス、コーラル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

089
アッシュトレイ
1929年
イエローゴールド、アゲート、ジェイド、コーラル、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

090
モンキー テーブルクロック
1926年
ブラチナ、イエローゴールド、アメシスト、オニキス、
アンバー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A29
トリンケットボウルのデザイン画
1930年頃
グレーブラウンのカードボードに鉛筆、
ブラウンウォッシュ、グワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A46
テーブルクロックのデザイン画
1928年
グレーブラウンのカードボードに鉛筆、
ブラックウォッシュ、グワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A31
アッシュトレイのデザイン画
1929年
グレーブラウンのカードボードに鉛筆、
ブラウンウォッシュ、グワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A32
モンキー テーブルクロックのデザイン画
1926年
ブラウンのカードボードに鉛筆、ブラックウォッシュ、
グワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

091
イヴニングバッグとセルクル ブローチ
1931年
ブラチナ、ヴェルヴェット、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

092
セルクル ブローチ
1931年
ブラチナ、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

093
セルクル ブローチ
1930年
イエローゴールド、ローズゴールド、オスミオール、
ラピスラズリ
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

094
セルクル ブローチ
1931年
ブラチナ、ホワイゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

095
セルクル ブローチ
1931年
ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

096
チャーカー
1930年
イエローゴールド、マラカイト、コーラル、エナメル、レザー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

097
チャーカー
1930年
オスミオール、サファイア、ロッククリスタル、エナメル、レザー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

098
イヴニングバッグ
1927年頃
ブラチナ、イエローゴールド、エナメル、シルク、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

099

イヴニングバッグ

1927年

ブラチナ、イエローゴールド、ロッククリスタル、エナメル、
レザー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

100

イヴニングバッグ

1929年

ブラチナ、ホワイトゴールド、ルビー、オニキス、サテン、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A33

チョーカーのヴァリエーションを示したデザイン画

1930年頃

グレーブラウンのカードボードに鉛筆、ホワイトペンシル、
カラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A34

チョーカーのデザイン画

1930年頃

グレーブラウンのカードボードに鉛筆、ホワイトペンシル、
カラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A35

ルネ・ビュイサン(旧姓 ヴァン クリーフ)と**《セルクル クリップ》付の帽子を着用した友人(複製)**

1931年

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A36

ヴァン クリーフ&アーペルのカタログ

1933年

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

101

常夜灯

1930年

イエローゴールド、ルビー、ローズクォーツ、オニキス、
グリーンラッカー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

102

喫煙者のためのセット

1930年頃

イエローゴールド、サファイア、ローズクォーツ、ラピスラズリ
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

103

ハンドミラー

1930年

イエローゴールド、ルビー、アゲート、ブラックラッカー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

104

ハンドミラー

1930年

イエローゴールド、ルビー、ジェイド、ローズクォーツ、
オニキス、グリーンラッカー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

105

パウダーケース

1927年

イエローゴールド、ホワイトゴールド、サファイア、
エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

106

パウダーケース

1927年

イエローゴールド、ホワイトゴールド、サファイア、
エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

107

シガレットケース

1933年

イエローゴールド、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

108

シガレットケース

1926年

イエローゴールド、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

109

シガレットケース

1926年

イエローゴールド、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

110

カメラ ミノディエール

1938年

イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A37

ヴァン クリーフ&アーペルのカタログ

1933年頃

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A38, A39

ミノディエールのアトリエカード

1934年頃

カードボードペーパーに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A40, A41

クリップへと形を変えるミノディエールのクラスプのアトリエカード

1934年頃

カードボードペーパーに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

111

シークレット ウォッチ付シガレットケース

1930年

ホワイトゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

112

シガレットケース

1930年

ブラチナ、オスミオール、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

113

ランドスケープ パウダーケース

1930年

ホワイトゴールド、オスミオール、ルビー、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

114

シガレットケース

1930年

イエローゴールド、オスミオール
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

115

シャッター付懐中時計

1930年頃

ブラチナ、イエローゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

116

シークレットウォッチ付パウダーケース

1930年

イエローゴールド、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

117

シガレットケース

1933年

イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A42-A45

ランドスケープ パウダーケースのアトリエカード

1930年頃

カードボードに貼り付けたペーパーに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A30

テーブルクロックのデザイン画

1930年頃

グレーブラウンのカードボードに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

118

ミノディエール

1935年

イエローゴールド、ブラチナ、ブラックラッカー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

119

ミノディエール

1935年頃

イエローゴールド、ローズゴールド、ブラックラッカー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

120

テーブル シガレットケース

1937年

イエローゴールド、ブラックラッカー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

121

ミノディエール

1936年頃

ローズゴールド、ブラックラッカー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A47-A49

ミノディエールのデザイン画

1930年頃

カードボードに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A50

ヴァン クリーフ&アーペルのカタログ

1933年頃

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

122

リストウォッチ

1930年

ウッド、レザー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

123

リストウォッチ

1932年頃

ウッド、コード、レザー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

124

リストウォッチ

1932年

ウッド、コード、レザー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

125

カデナ リストウォッチ

1943年

イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

126

スケール シークレットウォッチ

1937年

イエローゴールド、ブラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

127

シークレットウォッチ

1937年

イエローゴールド、ローズゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

128

ライター テーブルクロック

1936年

イエローゴールド、スティプトール
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

129
スライディング ウォッチ
1935年
イエローゴールド、スティプトール、サファイア
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

130
スライディング ウォッチ クリップ
1933年
ローズゴールド、ステンレススティール、サファイア
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

131
シガーボックス
1930年頃
イエローゴールド、シルバー、カルセドニー、コーラル、
エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

132
テーブルクロック
1934年
ステンレススティール、ロッククリスタル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

M04
イヴニング・ドレス
1920年代
共立女子大学博物館
2025年9月27日～10月19日まで展示

M06
イヴニング・ドレス
1920年代後半
共立女子大学博物館
2025年9月27日～10月19日まで展示

M09
コート
1920年代半ば
共立女子大学博物館
2025年9月27日～10月19日まで展示

M05
イヴニング・ドレス
1920年代
共立女子大学博物館
2025年10月21日～11月30日まで展示

M07
イヴニング・ドレス
1920年代
共立女子大学博物館
2025年10月21日～11月30日まで展示

M10
マリア・モナチ・ガレンガ
コート
1920年代
共立女子大学博物館
2025年10月21日～11月30日まで展示

M03
ボール・ボワレ
デイ・ドレス
1910年代
絹
東京都庭園美術館
2025年12月2日～2026年1月18日まで展示

M08
イヴニング・ドレス
1920年代半ば
共立女子大学博物館
2025年12月2日～2026年1月18日まで展示

M11
伝マリア・モナチ・ガレンガ
コート
1920年代
共立女子大学博物館
2025年12月2日～2026年1月18日まで展示

M12
マレ・フレール
指輪
1910年頃
ゴールド、ダイヤモンド
東京都庭園美術館

M13
バンズラン
ブレスレット
1924年
プラチナ、ダイヤモンド
東京都庭園美術館

M14
イヴァン＝レオン＝アレクサンドル・ブランシヨ
朝香宮鳩彦王妃允子像
1925年
ブロンズ
東京都庭園美術館

M15
朝香宮鳩彦王、允子妃肖像
1925年頃
写真
東京都庭園美術館

M16
エッフェル塔前の允子妃(複製)
1925年頃
写真
東京都庭園美術館

M17
南仏カッパ・マルタンのアルペール・カーン別邸を訪れる
朝香宮夫妻(複製)
1925年頃
写真
東京都庭園美術館

M18
自動車旅行中の朝香宮夫妻(複製)
1925年頃
写真
東京都庭園美術館

M19
テオドル・マドセン／ロイヤル・コペンハーゲン(製造)
ペンギン
1902年頃
陶磁器
東京都庭園美術館

M20
朝香宮鳩彦王妃允子
グラジオラス
1923-1925年
紙、水彩
東京都庭園美術館

M21-M23
朝香宮夫妻が日本に宛てた絵葉書
1925年頃
個人蔵

133
シルエット クリップ
1937年
イエローゴールド、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

134
37 クリップ
1938年
イエローゴールド、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

135
シルエット クリップ
1937年
イエローゴールド、ルビー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

136
タートル クリップ
1965年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ローズゴールド、
ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

137
デイズー イヤリング
1953年
プラチナ、イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

138
デイズー リング
1951年
プラチナ、イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

139
デイズー クリップ
1953年
プラチナ、イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

140
サンフラワー ネックレス
1955年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

141
サンフラワー リストウォッチ
1955年頃
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

142
バード クリップ
1966年
イエローゴールド、エメラルド、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

143
タートル クリップ
1981年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

144
アネモネ クリップ
1938年
イエローゴールド、ローズゴールド、サファイア
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

145
アネモネ クリップ
1938年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

146
フラワー イヤクリップ
1952年
イエローゴールド、ローズゴールド、ルビー、サファイア、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

147
ブローチ
1940年頃
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

148
ミノディエール
1939年
イエローゴールド、シルバー、ルビー、ラッカー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

149
フラワー クリップ
1962年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

150
ビー クリップ
1964年
イエローゴールド、プラチナ、ルビー、サファイア、ダイヤモンド
個人蔵

151
フロッグ クリップ
1967年
イエローゴールド、エメラルド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

152
ディアナ イヤリング
1991年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

153
ディアナ クリップ
1990年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ダイヤモンド
個人蔵

154
クローバー ネックレス
1964年
イエローゴールド、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

155
クローバー イヤリング
1966年
イエローゴールド、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

156
トゥー クローバー イヤリング
1964年
イエローゴールド、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

157
メルキューール クリップ
1969年頃
イエローゴールド、ホワイトゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

158
四つ葉のクローバー イヤリング
1958年
イエローゴールド、プラチナ、ホワイトゴールド、ローズゴールド、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

159
四つ葉のクローバー クリップ
1958年
イエローゴールド、プラチナ、ホワイトゴールド、ローズゴールド、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

160
クリップ
1959年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

161
ローズ クリップ
1961年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

162
デュール ネックレス
1999年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

163
デュール リング
1999年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

164
バード クリップ
1969年
イエローゴールド、プラチナ、ローズゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

165
クローバー フラワー クリップ
1965年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

166
二輪のスノーボール クリップ
1958年
イエローゴールド、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

167
ビー クリップ
1969年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

168
オークツリー リーフ イヤリング
1959年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

169
オークツリー リーフ ネックレス
1957年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

170
オークツリー リーフ ブレスレット
1958年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

171
カール ブーケ クリップ
1958年
イエローゴールド、プラチナ、エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

172
ミモザ イヤリング
1960年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

173
ミモザ クリップ
1960年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

174
ディシェヴェルド フラワー イヤリング
1962年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

175
ディシェヴェルド フラワー クリップ
1960年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

176
パス パルトゥー ジュエリー
1939年
イエローゴールド、ルビー、イエローサファイア、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

177
パス パルトゥー シークレット ウォッチ
1939年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ルビー、イエローサファイア、サファイア
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

178
ハワイ イヤリング
1939年
イエローゴールド、ルビー、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

179
ハワイ パス パルトゥー ジュエリー
1939年
イエローゴールド、ルビー、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

180
ハワイ シークレットウォッチ リング
1944年
イエローゴールド、プラチナ、ルビー、サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

181
フラワー ダブル クリップ
1942年
イエローゴールド、ルビー
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

182
二枚の葉のシャンティイ クリップ
1952年
イエローゴールド、ローズゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

183
シャンティイ ジップ ネックレス
1952年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

184
シャンティイ クリップ
1953年
イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

185
シャンティイ リーフ クリップ
1963年
イエローゴールド、プラチナ、サファイア、ターコイズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

186
1900 フラワー イヤリング
1950年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

187
1900 フラワー ネックレス
1949年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

188
1900 フラワー クリップ
1951年
イエローゴールド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

189

フラワー クリップ

1937年

イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション**ブレスレットへと形を変えるジップ ネックレスについての**

映像

2025年

映像(約4分)

ヴァン クリーフ&アーペル

190

クリサンセマム クリップ

1937年

プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

191

ボビー クリップ

1952年

プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

192

カディ クリップ

2019年

ローズゴールド、ホワイトゴールド、プラチナ、
ミステリーセット ルビー、ダイヤモンド
個人蔵

193

スパンコール イヤリング

1951年

プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、ダ
イヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

194

5つの花のクリップ

1951年

プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

195

ハミングバード ボックス

1938年

イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、
ミステリーセット サファイア、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

196

カリマ バビヨン リング

2023年

ホワイトゴールド、ローズゴールド、ミステリーセット サ
ファイア、ピンクダイヤモンド、ダイヤモンド
個人蔵

197

フラワー ブローチ

1938年

プラチナ、イエローゴールド、オスミオール、
ミステリーセット エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

198

リーフ イヤリング

1950年

イエローゴールド、プラチナ、ミステリーセット ルビー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

199

2枚の葉のクリップ

1936年

イエローゴールド、プラチナ、ミステリーセット ルビー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

200

ブラタナスの葉のクリップ

1960年

プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット サファイア、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

201

エソール ミステリユー イヤリング

2020年

ホワイトゴールド、ローズゴールド、
ミステリーセット サファイア、サファイア、ダイヤモンド
個人蔵

202

ブラタナスの葉のクリップ

1951年

プラチナ、イエローゴールド、
ミステリーセット エメラルド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

A51, A52

**ヴァン クリーフ&アーペルが1933年12月2日に申請した
ミステリーセットの特許(第764966号)(複製)**
1933年
フランス産業財産庁(INPI)アーカイブス

A55

《ミステリーセット ボックス》のアトリエカード
1935年
カードボードに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A56

ミステリーセット技法の模型

樹脂

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A57

宝石職人のノート

1960年頃

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A58

ミステリーセット デイジー クリップのデザイン画

1960年頃

トレーシングペーパーに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A60

ミステリーセット《ブラタナスの葉のクリップ》のアトリエカード

1951年

カードボードに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A61

《クリサンセマム クリップ》のアトリエカード

1937年

カードボードに鉛筆とカラーグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス**ミステリーセットについての映像**

2025年

映像(約5分)

ヴァン クリーフ&アーペル

※以下の4点は都合により出品中止。

A53

**ヴァン クリーフ&アーペルが1933年2月24日に申請したミステリーセットの
特許(第802367号)**
1933年
フランス産業財産庁(INPI)アーカイブス

A54

**ヴァン クリーフ&アーペルが1936年2月13日に申請したミステリーセットの
特許(第801863号)**
1936年
フランス産業財産庁(INPI)アーカイブス

A59

フラワー クリップの石膏模型

1960年頃

ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

A62

ミステリーセット(フラワー ヘッドオーナメント)のデザイン画

1950年頃

カードボードに鉛筆とグワッシュ
ヴァン クリーフ&アーペル アーカイブス

203

てんとう虫のクリップ

1966年

イエローゴールド、ホワイトゴールド、エナメル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

204

ブーケ クリップ

1939年

イエローゴールド、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

205

睡蓮のクリップ

1967年

イエローゴールド、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

206

ブーケ クリップ

1939年

イエローゴールド、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

207

スモール ブーケ クリップ

1938年

イエローゴールド、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

208

カクタス イヤリング

1968年

イエローゴールド、ローズゴールド、プラチナ、エナメル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

209

シダのクリップ

1966年

イエローゴールド、ホワイトゴールド、ローズゴールド、
エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

210

フラワー クリップ

1968年

イエローゴールド、エナメル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

211

バビヨン ニュイ クリップ

1966年

イエローゴールド、ホワイトゴールド、エナメル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

212

コーンフラワー ブーケ クリップ

1938年

イエローゴールド、ルビー、カルセドニー、エナメル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

213

バビヨン クリップ

1971年

イエローゴールド、ウッド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

214

四つ葉のペンダント クリップ

1972年

イエローゴールド、ウッド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

215

アルハンブラ ロングネックレス

2018年

ローズゴールド、レターウッド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ
Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

216
オレステ ブレスレットと四つ葉のクローバー チャーム
1979年(ブレスレット)、1987年(チャーム)
イエローゴールド、ウッド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

217
ナーヴァル クリップ
1999年
イエローゴールド、ウッド、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

218
四つ葉のクローバー クリップ
1973年
イエローゴールド、クリソプレーズ、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

219
シャンド マルス ペンダント クリップ
1973年
イエローゴールド、グリーンアゲート、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

220
アルハンブラ ロングネックレス
1973年
イエローゴールド、マラカイト
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

221
アルハンブラ ロングネックレス
1980年
イエローゴールド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

222
パピヨン クリップ
1971年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ローズクォーツ、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

223
パピヨン クリップ
1971年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、マラカイト、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

224
ジューヴル ネックレス
2003年
ホワイトゴールド、カルセドニー、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

225
ブルー ガーデニア イヤリング
2010年
ブラチナ、イエローゴールド、サファイア、カルセドニー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

226
ブルー ガーデニア クリップ
2010年
ブラチナ、イエローゴールド、サファイア、カルセドニー、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

227
ローズド ノエル イヤリング
1971年
イエローゴールド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

228
ローズド ノエル クリップ
1970年
イエローゴールド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

229
ローズド ノエル クリップ
1999年
イエローゴールド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

230
ベラミ クリップ
1971年
イエローゴールド、エメラルド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

231
ローズド ノエル クリップ
1978年
イエローゴールド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

232
ヴァイオレット イヤリング
1938年
イエローゴールド、アメシスト、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

233
ヴァイオレット ネックレス
1953年
イエローゴールド、アメシスト、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

234
ヴァイオレット イヤリング
1938年
イエローゴールド、アメシスト、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

235
ヴァイオレット ブーケ クリップ
1938年
イエローゴールド、アメシスト、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

236
ヴァイオレット ブーケ ブレスレット
1947年
イエローゴールド、ブラチナ、アメシスト、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

237
ローズ イヤリング
1958年
イエローゴールド、ローズゴールド、トルマリン、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

238
ローズ ブローチ
1958年
イエローゴールド、ローズゴールド、トルマリン、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

239
ローズ ブローチ
1959年
イエローゴールド、ブラチナ、トルマリン、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

240
タートル クリップ
1977年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、エメラルド、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

241
てんとう虫のクリップ
1973年
イエローゴールド、オニキス、コーラル
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

242
サン ルイ クリップ
1974年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、グリーンアゲート、
コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

243
サン ルイ クリップ
1974年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、オニキス、コーラル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

244
ネックレス
1952年 イエローゴールド、エメラルド、ルビー、
ダイヤモンド
個人蔵

245
タートル クリップ
1977年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ラピスラズリ、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

246
てんとう虫のクリップ
1957年
ブラチナ、イエローゴールド、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

247
かたつむりのクリップ
1967年
イエローゴールド、ブラチナ、サファイア、コーラル、
ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

248
睡蓮のイヤリング
1991-1992年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ブルーアゲート、
カルセドニー、クリソプレーズ、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

249
睡蓮のイヤリング
1991-1992年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ブルーアゲート、
カルセドニー、クリソプレーズ、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

250
睡蓮のクリップ
1991-1992年
イエローゴールド、ホワイトゴールド、ブルーアゲート、
カルセドニー、クリソプレーズ、コーラル、ダイヤモンド
ヴァン クリーフ&アーペル コレクション

ラーニングプログラム

1 普及事業

美術館講座2025

1925年にパリで「現代装飾美術・工業美術国際博覧会(通称:アール・デコ博)」が開催されてから100年を迎える本年度は、「アール・デコ」をテーマとした全3回の美術館講座を開催した。アール・デコがどのように誕生し、世界へ展開したのか、建築史及び美術史の観点から、時代背景や社会的状況にも触れながら学ぶ構成とした。

情報保障(手話通訳、文字表示、ヒアリンググループ)を全ての回で提供し、より多くの人々が参加しやすい環境の整備に努めた。また、開催後にはウェブページに「講演要約」を公開した。

第1回「アール・デコの誕生」

日時 2025年6月14日(土)14:00～15:30
 会場 新館ギャラリー2
 講師 三田村哲哉(兵庫県立大学環境人間学部教授)
 参加者数 72人
 参加費 無料(入館料別途)
 申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
 情報保障 手話通訳、文字表示、ヒアリンググループ



第2回 「アメリカにおけるアール・デコの展開」

日時 2025年7月19日(土)14:00～15:30
 会場 新館ギャラリー2
 講師 江崎聡子(聖学院大学人文学部准教授)
 参加者数 69人
 参加費 無料(入場料別途)
 申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
 情報保障 手話通訳、文字表示、ヒアリンググループ



第3回「日本におけるアール・デコの受容」

日時 2025年10月12日(日)14:00～16:00
 会場 新館ギャラリー2
 講師 米山勇(建築史家・東京都江戸東京博物館研究員)、
 牟田行秀(東京都庭園美術館副館長)
 参加者数 59人
 参加費 無料(入場料別途)
 申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
 情報保障 手話通訳、文字表示、ヒアリンググループ



2 学校連携事業（スクールプログラム）

児童・生徒の芸術文化に親しむ機会を充実させることを目指して行うスクールプログラムでは、学校教育の多様な目的に応えるため、児童・生徒のためのプログラムと、教員を対象としたプログラムを設けている。

児童・生徒のためのプログラム

開館日（平日のみ実施）に学校団体の来館を受け入れた。教員と協議を行い、各校の要望や授業の目的に応じた鑑賞プログラムを企画・実施した。

2025年6月13日（金）	港区立筭小学校（出張授業） 63人（+教員6人）
2025年6月17日（火）	港区立筭小学校 64人（+教員8人）
2025年8月5日（火）	普連土学園中学校・高等学校 10人（+教員1人）
2025年8月6日（水）	品川区立品川学園中学校 16人（+教員3人）
2025年10月24日（金）	山脇美術専門学校 5人（+教員2人）
2025年10月28日（火）	水野学園 14人（+教員1人）
2025年10月29日（水）	学習院大学 10人（+教員1人）
2025年10月30日（木）	水野学園 21人（+教員1人）
2025年10月31日（金）	山脇美術専門学校 27人（+教員4人） 女子美術大学 17人（+教員1人）
2025年11月11日（火）	水野学園 26人（+教員1人）
2025年11月18日（火）	水野学園 27人（+教員1人）
2025年11月19日（水）	水野学園 26人（+教員1人）
2025年11月26日（水）	青山国際教育学院 16人（+教員1人） 水野学園 21人（+教員1人）
2025年11月28日（金）	ドレスメーカー学院 12人（+教員2人）
2025年12月24日（水）	水野学園 22人（+教員1人）



先生のためのプログラム

ティーチャーズウィーク

都内の小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、展覧会を無料で観覧できる機会を設けた。授業づくりをはじめとする教育活動の充実につなげるとともに、美術館での鑑賞授業や校外学習に向けた研修の一環として活用できるよう実施した。

期間 ①2025年6月10日(火)～6月19日(木)
②2025年9月30日(火)～10月9日(木)
参加人数 32人

研修・勉強会の受け入れ

教員による研修会・勉強会の開催を受け入れている。2025年度は申し込みがなく、実施しなかった。

先生のための特別研修会

学校と美術館の連携を深め、双方にとって学びと情報交換の場とすることを目的として、研修会を実施した。研修では、当館の建物や鑑賞ポイントに関するレクチャー、展覧会「建物公開2025 時を紡ぐ館」の鑑賞と対話、スクールプログラムの事例及びツールの紹介、プログラムづくりのワークを実施した。

日時 2025年8月22日(金)18:00～20:00
会場 新館ギャラリー2、展示室
対象 都内の小・中・高等・特別支援学校の先生
参加者数 9人
参加費 無料
申込方法 メールにて事前申込



東京都庭園美術館ジュニアガイド

当館の建物や環境を題材とするジュニアガイドを、スクールプログラム等で配布した。内容は全てイラストで構成し、学年や言語を問わず使用することができる。本館の特徴や庭をはじめとする当館のユニークな環境を楽しむための視点を、感覚的に伝えることを目指し制作したガイドである。



3 旧朝香宮邸資料公開室(ウェルカムルーム)の運営

「ウェルカムルーム」は、来館者一人ひとりが能動的に美術館体験を楽しむためのラーニング・プログラムの拠点であり、展示室に入る前の心の準備や、鑑賞後に気持ちを整理しのんびり過ごしたり、感想を共有したりするための場である。

室内には、発見や感じたことを対話するためのツールであるカンパセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」や、美術館・展覧会に関連する書籍を紹介する本棚、建物を紹介する公式アプリが利用できる端末を設置し、ワークシート等を配布している。また、視覚を支援する機器の貸出しを行うほか、今年度より朝香宮邸の意匠を紹介する「さわる絵本」を新たに設置した。

開室日数 198日
利用者数 17,118人



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

4 アクセスプログラム

フラットデー

—障害のある方も赤ちゃんがいる方も、
だれもが気兼ねなく来館できるプログラム

あらゆる方が気兼ねなく来館できる美術館となることを目指し、2023年度に開始したプログラム。障害のある方が来館しやすい「ゆったり鑑賞日」と、赤ちゃんを連れた方も鑑賞しやすい「ベビーアワー」の2種類の日を設けている。ゆとりある環境で鑑賞できるよう、通常よりも入館者数を制限するほか、ベビーアワーでは、開催時間中に限り本館内で通常は使用できないベビーカーの使用を可能としている。より多くの方に安心して来館いただく環境を整備するため、今年度は新たにカームダウンスペース及びセンサーキットを設置した。フラットデー開催日には、NPO団体と連携してアート・コミュニケータによる鑑賞ツアーも開催し、会話を生み出したいお客様のニーズに応えた。



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

ゆったり鑑賞日

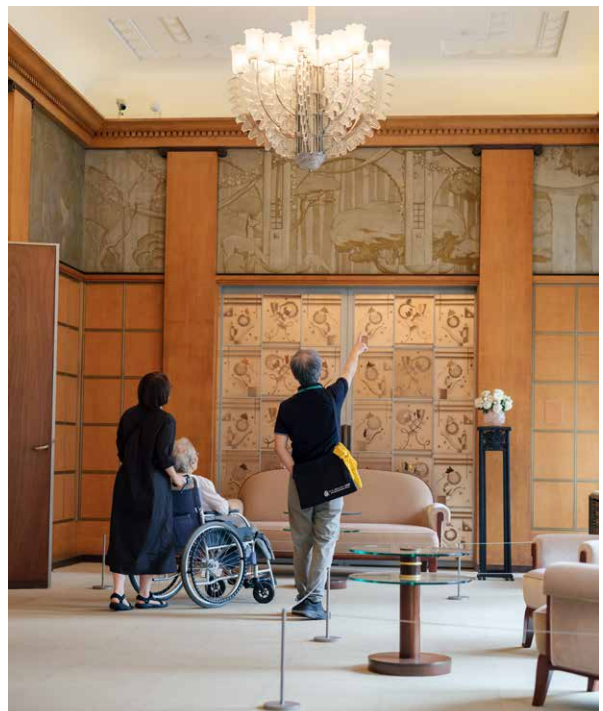
実施日	①2025年4月23日(水)「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」 ②2025年6月25日(水)「建物公開2025 時を紡ぐ館」 ③2025年10月22日(水)「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」
時間	10:00～18:00
対象	すべての方
申込方法	オンラインにてチケットを事前予約・購入(※)
参加者数	①333人 ②301人 ③441人

※各種割引が適用される方、無料対象者 [小学生以下、都内在住・在学の中中学生及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、招待券・年間パスポートをお持ちの方など]は事前予約不要。

ゆったりツアー

ゆったり鑑賞日に実施する、アート・コミュニケーターと一緒に会話を楽しみながら展覧会をめぐるツアー。参加者一組ごとにアート・コミュニケーターが付き添い、各参加者のペースや状況に合わせて移動や鑑賞をサポートした。参加者の要望に応じて、手話通訳の手配や、車椅子利用者の目線から鑑賞しづらい作品についてはタブレット端末で撮影した画像を提示するなど、個別に対応を行った。

実施日	①2024年4月23日(水) ②2025年6月25日(水) ③2025年10月22日(水) *ゆったり鑑賞日の開催日
時間	10:30～、13:00～、15:30～の3回 各回最長90分
会場	展示室
対象	すべての方
参加者数	①19組26人 ②18組27人 ③18組38人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトより事前申込
運営委託	特定非営利活動法人アート・コミュニケーション 推進機構
運営協力	アート・コミュニケーター東京



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

ベビーアワー

実施日	①2025年4月30日(水)「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」 ②2025年7月2日(水)「建物公開2025 時を紡ぐ館」 ③2025年11月5日(水)「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」
時間	10:00～15:00(本館内でベビーカーを使用できる時間)
対象	すべての方
入館方法	オンラインにて展覧会チケットを事前予約・購入(※)
参加者数	①543人 ②444人 ③497人

※各種割引が適用される方、無料対象者 [小学生以下、都内在住・在学の中学生及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、招待券・年間パスポートをお持ちの方など]は事前予約不要。

ベビーといっしょにミュージアムツアー

ベビーアワーの開催に併せて実施するアート・コミュニケーターと一緒に会話を楽しみながら展覧会をめぐるツアー。「ゆったりツアー」同様に、参加者一組ごとにアート・コミュニケーターが付き添い、赤ちゃんや家族のペース・状況に合わせて鑑賞をサポートした。

実施日	①2025年4月30日(水) ②2025年7月2日(水) ③2025年11月5日(水) *ベビーアワーの開催日
時間	10:30～、11:30～、12:30～の3回 各回最長60分
会場	展示室
対象	ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんとその保護者
参加者数	①12組26人 ②15組34人 ③15組36人
参加費	無料(入館料別途)
申込方法	館ウェブサイトより事前申込
運営委託	特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構
運営協力	アート・コミュニケーター東京 ベビーといっしょにミュージアム



撮影：大倉英揮(黒目写真館)

やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「であう、みる、つくる」

やさしい日本語プログラムは、さまざまな文化的背景をもつ人々が美術館に集い、互いの文化や言葉の違いを越えて理解を深めることを目的として実施している。

本年度は、アーティストである講師とともに庭園を鑑賞し、庭園で出会ったものや感じたことを版画作品として表現する創作活動を行った。作品完成後は、参加者全員で作品を鑑賞し、作品についての感想を発表した。

参加者に情報を分かりやすく伝えるため、やさしい日本語を用いるとともに、講師の実演を交えながら制作手順を説明した。また、イラストや写真を多用した手順書やフリップを用意した。

- 日時 2026年3月22日(日)
 ①午前の回 10:30～12:30
 ②午後の回 14:00～16:00
- 会場 新館ギャラリー2、庭園
 講師 蟹江杏(画家・版画家)
 対象 小学3年生～中学生
 (外国にルーツがある子供、日本の子供)
- 参加者数 ①7人 ②7人
 参加費 無料(入場料別途)
 申込方法 メールにて事前申込



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

さわ会一さわっておしゃべり鑑賞会

建物に触れながら対話を楽しむプログラム。2024年度に引き続き、さわる鑑賞の研究者を監修者として迎え、障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめる場を目指して実施した。

展覧会「建物公開2025 時を紡ぐ館」の関連プログラムとして、本館(旧朝香宮邸)の素材や意匠に触れ、建物が刻んできた時を体感することを目的とした。当日は、建物に用いられている素材のパーツに触れながら自己紹介を行った後、本館の「ベランダ」と「北の間」において、壁や床、窓などに触れながら鑑賞を行った。最後に体験を共有し、対話を深めた。

2024年度は1回開催であったが、申込者数の多さを踏まえ、2025年度より1日2回開催とした。また、当日は動画撮影を行い、プログラム紹介動画を制作した。

- 日時 2025年6月28日(土)
 ①午前の回 10:30～12:30
 ②午後の回 14:30～16:30
- 会場 新館ギャラリー2、本館
 企画 半田こづえ(明治学院大学 非常勤講師)
 進行 増田万里奈
 対象 中学生以上(視覚に障害がある方もない方も参加可能)
- 参加者数 ①10人 ②5人
 参加費 無料(入館料別途)
 申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制
 電話での申し込みも可能



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

5 建物&庭園プログラム2025

東京都庭園美術館の本館「旧朝香宮邸」や庭園の魅力を学芸員等が解説するプログラム。すべてのプログラムに手話通訳を付け、「建物トーク」では、文字表示支援も行った。

建物トーク

旧朝香宮邸の歴史や建築、保存修理等についての解説で、本館の建物について詳しく知りたい方向けに実施した。

時間 11:00～11:40
会場 新館ギャラリー2
料金 無料(入館料別途)
情報保障 手話通訳、文字表示支援
申込方法 開始時間15分前より受付、先着順



第1回「テッコーの壁紙」

日時 2025年4月9日(水)
講師 高橋さおり
参加者数 8人

第2回「小客室の変遷と壁画の修理」

日時 2025年7月9日(水)
講師 板谷敏弘
参加者数 30人

第3回「朝香宮邸の庭園」

日時 2025年10月8日(水)
講師 板谷敏弘
参加者数 40人

建物ツアー&庭園ツアー

建物や庭園内を歩きながら見どころを紹介。当館に初めて来た方向けに実施した。

時間 11:00～11:40
料金 無料(入館料別途)
情報保障 手話通訳
申込方法 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

①建物ツアー

第1回

日時 2025年5月14日(水)
会場 本館
講師 高橋さおり
参加者数 7人

第2回

日時 2025年6月11日(水)
会場 本館
講師 高橋さおり
参加者数 11人



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

②庭園ツアー

第1回「変わるもの、変わらないもの」

日時 2025年12月10日(水)
講師 板谷敏弘
参加者数 19人

第2回「変わるもの、変わらないもの」

日時 2026年3月11日(水)
講師 増田万里奈
参加者数 16人



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

アクセシビリティ向上への取り組み

当館では、誰もが安心して訪れ、楽しめる美術館を目指し、アクセシビリティ向上に取り組んでいる。多様な来館者が美術館を利用しやすい環境づくりを進めるとともに、さまざまな取り組みを通して鑑賞機会の充実に努めている。

情報保障

各イベントの内容に応じて、手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループを導入している。2025年度はグラフィックレコーディングを実施するとともに、日英同時通訳のあるプログラムにも手話通訳及び文字表示支援を導入した。

また、本館受付では遠隔手話通訳サービスを継続するとともに、指差しコミュニケーションシートとリアルタイム字幕を表示する透明ディスプレイを設置した。

情報保障付きプログラム一覧

日時	イベント名	サポート内容
2025年4月9日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 建物トーク第1回「テッコーの壁紙」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年4月20日(日) 14:00～15:15	展覧会「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」 講演会「映画から見る戦後ドイツのポスターグラフィック」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年4月23日(水)	フラットデー ゆったり鑑賞日「ゆったりリツアー」	手話通訳 (利用者の希望により実施)
2025年5月10日(土) 14:00～15:30	展覧会「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」 講演会「ドイツのポスター：ザッハプラカート(Sachplakat)を中心に」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年5月14日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 建物ツアー①	手話通訳
2025年6月11日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 建物ツアー②	手話通訳
2025年6月14日(土) 14:00～15:30	美術館講座2025 第1回「アール・デコの誕生」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年7月9日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 建物トーク第2回「小客室の変遷と壁画の修理」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年7月19日(土) 14:00～15:30	美術館講座2025 第2回「アメリカにおけるアール・デコの展開」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年7月21日(月・祝) 14:00-16:00	展覧会「建物公開2025 時を紡ぐ館」 シンポジウム「歴史的建造物をまもる・つなぐ・いかすー3D Digital Archive Project」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ、グラフィックレコーディング
2025年10月8日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 建物トーク第3回「朝香宮邸の庭園の記憶」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年10月12日(日) 14:00～16:00	美術館講座2025 第3回「日本におけるアール・デコの受容」	手話通訳、文字表示支援、ヒアリングループ
2025年11月9日(日) 14:00～15:30	展覧会「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」 トークプログラム第1回「アール・デコの世界」	手話通訳、文字表示支援、日英同時通訳
2025年12月6日(土) 第2席:12:30～13:40	冬の特別茶会「静けさと、温もりと」	手話通訳
2025年12月7日(日) 14:00～15:30	展覧会「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」 トークプログラム第2回「アール・デコにおける素材の探求」	手話通訳、文字表示支援、日英同時通訳
2025年12月10日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 庭園ツアー①	手話通訳
2025年12月24日(水) 第3回:13:00～13:30 第4回:13:30～14:00	庭園マルシェ ワークショップ	手話通訳 ※第4回は参加者が少なかったため手話通訳は実施せず
2026年3月11日(水) 11:00～11:40	建物&庭園プログラム2025 庭園ツアー②	手話通訳



美術館講座

建物ツアー
撮影:大倉英揮(黒目写真館)

冬の特別茶会

指差しコミュニケーションシート
撮影:大倉英揮(黒目写真館)

鑑賞サポート

スタッフ

2023年度より、施設の利用や鑑賞に不安のある方をサポートするスタッフを配置している。

車椅子利用者向け案内パネル

ウインターガーデンなど、車椅子では入室ができない展示室を紹介するパネルと画像を用意し、必要に応じて監視スタッフが案内時に提示している。

触察ツール

本館(旧朝香宮邸)の意匠を紹介する触察ツールを、展覧会やイベント等で展示し、来館者が触れて鑑賞できる機会を設けた。

さわる絵本

本館の装飾と空間の特徴を表現した、触って楽しめる絵本。2025年度は、展覧会「建物公開2025 時を紡ぐ館」において二階広間で閲覧できるようにしたほか、ウェルカムルームに常設した。

活用機会

- ①展覧会「建物公開2025 時を紡ぐ館」サテライト展示「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」(2025年6月13日(金)～8月20日(水))
- ②正門横スペースにおける特別展示「みんなで楽しむ東京都庭園美術館 ―アクセシビリティ向上の取り組み―」(2025年10月21日(火)～12月7日(日))
- ③庭園マルシェ(2025年12月24日(水))

タブレット

車椅子利用者が見づらい位置にある作品や展示ケース内の展示物を鑑賞しやすいよう、展示室内にタブレットを用意。監視スタッフが展示物の画像を提示するなど、状況に応じた案内を行っている。

視覚支援機器

ウェルカムルームでの図書資料閲覧及び展示室での作品鑑賞のため、視覚支援機器(レティッサオンハンド)の貸出を行っている。



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

魚のラジエータカバーの模型

大食堂などに設置されている魚のラジエータ(暖房器具)のカバーの模型。魚の部分を原寸大で新たに制作した。

制作 一般社団法人路上博物館

活用機会 ①、②、③



撮影:大倉英揮(黒目写真館)

香水塔の全体模型

本館にある香水塔を立体的に再現した模型。

活用機会 ①、③

植物文様のレリーフ(復元品)

大食堂の植物文様の壁面をコンクリートで再現した復元品。

活用機会 ①、②

環境の整備

2025年度より感覚特性のある方向けにイベント時にカームダウンスペースを設置し、イヤーマフやセンサリートイを用意した。

[設置日]

- ・フラットデー(2025年6月25日(水)、7月2日(水)、10月22日(水)、11月5日(水))
- ・庭園マルシェ(2025年12月24日(水))



カームダウンスペース



イヤーマフとセンサリートイ

ウェブアクセシビリティ

公式ウェブサイトの「フラットデー」ページの改修と「バリアフリー」ページの更新を行った。

ウェブサイト及びSNSの画像には、代替テキストを追加し、スクリーンリーダーユーザーにも配慮している。

音声コードUni-Voiceの活用

2025年度より、専用アプリなどで読み取ることによって印刷物の内容を音声で聞くことができる音声コードUni-Voiceを印刷物や展示パネル等に導入した。

[掲載物]

- ・正門横スペースにおける特別展示「みんなで楽しむ東京都庭園美術館 —アクセシビリティ向上の取り組み—」のパネル
- ・庭園マルシェのチラシ
- ・アクセシビリティ情報の案内チラシ

イベント・展示等

正門横スペースにおける特別展示「みんなで楽しむ東京都庭園美術館 —アクセシビリティ向上の取り組み—」

アクセシビリティへの取り組みを紹介するパネル解説には「やさしい日本語」を使用したほか、点字と大きな文字による冊子や音声コード「Uni-Voice」を用意した。実際に触れて体験できるツールを展示するとともに、手話による美術館紹介動画やアクセスプログラム紹介動画を上映し、多様な方法で鑑賞できる環境を整えた。

※詳細はp.19参照

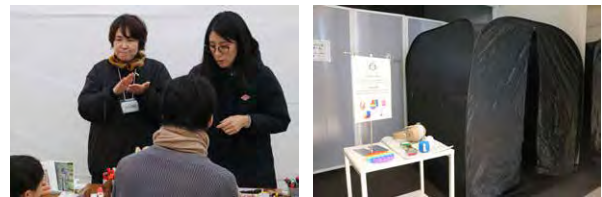


撮影:大倉英揮(黒目写真館)

庭園マルシェ

会場内に「さわるコーナー」を設置し、触察ツールや触知案内図を紹介した。ワークショップでは手話通訳付きの回を設けたほか、カームダウンスペースとセンサーキットを設置した。広報用チラシには音声コードUni-Voiceを掲載し、より多くの人々が参加しやすい環境づくりを行った。

※詳細はp.64参照



アクセスプログラム

誰もが一緒に楽しむことができるプログラムを開催している。

※詳細はp.48参照

解説・印刷物等

アクセシビリティ情報の案内チラシ

当館のアクセシビリティ向上の取り組みを紹介するチラシを作成。イラストや写真を交えて内容を紹介し、バリアフリーページや手話動画、情報保障及びアクセスプログラム等の関連情報にアクセスできるようにした。また、音声コードUni-Voiceを導入した。

デザイン 松尾由佳(Nica)



点字・大きな文字の茶室ガイド

点字と大きな文字による茶室「光華」の案内を作成し、茶室に設置した。

制作 社会福祉法人日本点字図書館



正門横スペースにおける特別展示 「みんなで楽しむ東京都庭園美術館 —アクセシビリティ向上の取り組み—」 の点字・大きな文字のパネルガイド

パネルの内容を記載した点字と大きな文字によるガイドを作成し、展示スペース入口に設置した。

制作 社会福祉法人日本点字図書館



撮影：大倉英揮(黒目写真館)

展覧会 「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」 の大きな文字のガイド

章解説を大きな文字で印刷したガイドを作成し、ウェルカムルームにて貸出を行った。



触知案内図

美術館の全体図や建物の構造を点字と大きな文字、凹凸のある線で示した冊子型の触知案内図。色覚特性のある方にも配慮した配色にしている。

2025年度より視覚障害のある方や見えにくさのある方への配布を開始した。



やさしい日本語ガイドブック

美術館の見どころや利用案内をまとめた外国にルーツのある方など、多くの人にわかりやすい「やさしい日本語」によるガイドブック。2025年度より本館入口等で配布を開始したほか、公式ウェブサイト上でもPDFを公開した。



動画

当館の施設や建物を手話で紹介する動画及びアクセスポログラムの紹介動画を制作し、公式YouTubeで公開している。2025年度は、「手話による旧朝香宮邸紹介」、「茶室『光華』紹介」、「フラットデー紹介(英語字幕版)」、「『さわ会—さわっておしゃべり鑑賞会』紹介」動画を制作した。

これらの動画は、正門横スペースにおける特別展示「みんなで楽しむ東京都庭園美術館 —アクセシビリティ向上の取り組み—」においても上映した。

手話動画

・手話による施設紹介(音声ガイド・日本語字幕付き)



・手話による旧朝香宮邸紹介(音声ガイド・日本語字幕付き)



・茶室「光華」紹介(日本手話・日本語字幕付き)

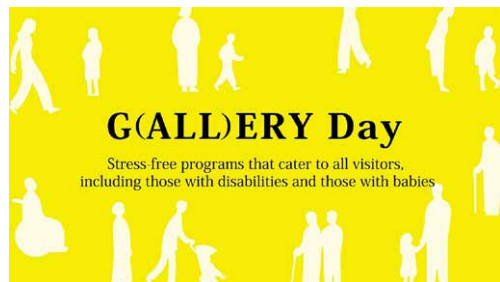


プログラム紹介動画

・「フラットデー」紹介|ロングムービー
・「フラットデー」紹介|ショートムービー



・Introducing “G(ALL)ERY Day”



・「さわ会—さわっておしゃべり鑑賞会」紹介
(音声ガイド・日本語字幕付き)



制作:らくだスタジオ

防災訓練・館内研修

やさしい日本語勉強会

館内スタッフを対象に、「やさしい日本語」に関する基礎知識や活用のポイントについて学ぶ勉強会を実施した。やさしい日本語の基本を確認することで、日常業務における実践的な活用につなげることを目的とした。

日時 2025年6月6日(金)10:00～11:00
 会場 新館ギャラリー2
 講師 大谷郁
 対象 当館職員、受付・監視等スタッフ
 参加者数 52人



盲ろう者の視点から学ぶ勉強会

盲ろう者である研究員を講師に招き、視聴覚に障害のある立場からの情報アクセスや芸術鑑賞に関する知見を共有いただく勉強会を実施した。多様な来館者への理解を深めるとともに、支援のあり方について学ぶ機会とした。

日時 2025年8月19日(火)16:00～17:00
 会場 新館ギャラリー2
 講師 森敦史(筑波技術大学・研究員)
 対象 当館職員
 参加者数 20人



避難訓練、AED取り扱い訓練/防災介助講習

災害時や緊急時の対応力向上を目的に、AED取り扱い訓練では、AEDの使用方法や心肺蘇生法、防災時の介助について、防災介助講習では、避難補助を中心に災害時対応の基礎知識を学び、避難行動要支援者への具体的な支援方法について理解を深めた。

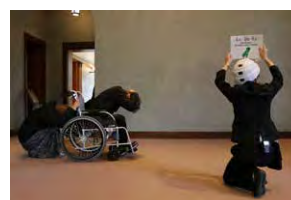
日時 2025年10月14日(火)10:00～12:00
 会場 新館ギャラリー2
 講師 高輪消防署三光出張所(AED取り扱い訓練)
 公益財団法人日本ケアフィット教育機構
 (防災介助講習)
 対象 当館職員、受付・監視等スタッフ、委託事業者
 参加者数 54人



避難訓練、火災受信機・発信機及び消防設備取扱講習

避難時のアナウンスをやさしい日本語で行い、ピクトグラムを用いたフリップボードやコミュニケーションカードによる誘導を実施した。イヤーマフを着用した来館者役や車椅子使用者役を設定し、さまざまな状況を想定した避難訓練を行った。また、発信機(火災警報器)を操作した際の作動状況や警報音の音量、停止方法等について、実演を交えながら確認した。

日時 2026年2月24日(火)10:00～11:30
 会場 本館、新館、庭園
 講師 衣斐和美、株式会社東京ダイケンビルサービス
 対象 当館職員、受付・監視等スタッフ、委託事業者
 参加者数 49人



地域連携

1 ホテル雅叙園東京との提携割引

両施設の会場内に設置する割引パネルを撮影し、両施設チケット売場でチケット購入の際に画像を提示すると展覧会観覧料の割引が適用される。

対象展覧会

ホテル雅叙園東京「時を旅する福ねこ at 百段百景～平安、江戸、大正、昭和、そして現代へ～」
当館「戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見」

対象期間 2025年3月20日(木・祝)～5月18日(日)
割引金額 ホテル雅叙園東京 一般 ¥1,600→¥1,400 大学生/高校生 ¥1,000→¥900 中学生/小学生 ¥800→¥700
当館 展覧会観覧料が通常価格より2割引

ホテル雅叙園東京から当館への来館者数 132人

当館からホテル雅叙園東京への来場者数 151人

※オンラインチケットは割引対象外

2 独立行政法人国立科学博物館附属自然教育園との相互割引

両施設のチケット売場付近に設置する割引パネルを撮影し、両施設のチケット売場にて来場者が画像を提示すると相互割引が適用される。

対象期間 2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)
割引金額 国立科学博物館附属自然教育園入園料 一般・大学生 320円→270円
当館 展覧会観覧料・庭園入場料が通常価格より2割引

国立科学博物館附属自然教育園から当館への来館者数 439人

当館から国立科学博物館附属自然教育園への来園者数 830人

※展覧会の開催がない期間は庭園入場料のみ割引。オンラインチケットは割引対象外

3 ミナコレ(MINATO COLLECTION)2025

港区内の美術館・博物館及び大使館等と港区が連携するスタンプラリー「ミナコレ2025」に参加した。

当館のチケット売場に設置した参加用紙へのスタンプ押印またはデジタルスタンプ台へのタッチによりデジタルスタンプを集めると、参加者は大使館訪問または景品に応募できる。

期間 2025年10月15日(水)～12月20日(土)

当館から港区への提供展覧会招待はがき(5組10名分)

デジタルスタンプラリー当館参加者数 66人

4 ガーデンコンサート 音楽のさんぽ道 ～東京藝術大学学生によるコンサート～

公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団(Kissポート財団)と共催し、同財団の運営するコンサート「音楽のさんぽ道」を当館芝庭で開催した。

日時 2025年10月1日(水)
①第1回 13:30～14:00
②第2回 15:00～15:30

場所 芝庭

演奏 東京藝術大学学生(金管五重奏)
朝日愛理(トランペット)
後潟花菜(トランペット)
三苫清楓(ホルン)
牛渡丈瑠(トロンボーン)
北島花音(チューバ)

主催者 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団
(Kissポート財団)

料金 無料(入場料別途)

実施回数 2回

参加者数 ①396人 ②338人 計734人



5 アール・デコ博覧会開催100周年記念 夜会 ～ART DECO NIGHT GARDEN PARTY～

アール・デコ博覧会の開催100周年を記念し、当館がアール・デコの館であることの認知度をさらに高めるとともに、人が集まる場であった朝香宮邸の機能を受け継ぎ交流の場を創出するため、夏の夜間開館時に庭園を活用したイベントを開催した。西洋庭園に装飾を施し、西洋庭園及びガーデンテラスにフотスポットを設置。アール・デコ時代の理解を深めるべく当時演奏されていたジャズのミニコンサートやダンスレッスンを実施した。また、本館内の意匠を探すクイズを実施することで館内鑑賞の機会も設けた。ファッションを通じてアール・デコを体験する機会として設定したモダンボーイ・モダンガールのドレスコードは反響が大きく、新規来館者の拡大につながり、庭園美術館の雰囲気にも即した演出となり好評を博した。

- ・蓄音器でのレコード鑑賞 2回
日本モダンガール協会代表・浅井カヨ、音楽史研究家・郡修彦による蓄音器でのレコード再生
- ・ミニコンサート 2回
サマーナイトミュージアム2025特別企画“Museum × Music!”
(東京芸術劇場とのコラボレーション)
演奏：芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド(GOA) + 登録アーティスト
中山京(トランペット)、佐藤文香(ホルン)、代田将也(トロンボーン)
- ・ミニダンスレッスン
インストラクター：東京リンディーホップアカデミー主宰・戸山雄介
演奏：宮崎佳彦(クラリネット)、松田義彬(スネアドラム)
- ・プレミアムキッチンカーによるフード・ドリンク提供
ウェスティン東京、ヒルトン東京お台場、
ティースイーツラボ・コンテナート ロンネフェルト東京、
Bar Blue、HUIT、RUBBER TRAMP
- ・レストランcomodoによるガーデンテラスでのオリジナルドリンク提供
- ・庭美アプリQRコード付き限定ポストカードを建物公開展2025鑑賞者に配布
- ・限定ポストカードのQRコードから庭美アプリをダウンロードし、
展覧会会場にあるクイズに答えた正解者に
オリジナルグッズ(魚のアクリルクリップ)を配布

日時 2025年8月22日(金)17:00～20:00
会場 西洋庭園
利用者数 3,380人
入場料 無料(入場料別途)
協力 株式会社hibino

記録動画

タイトル 「東京都庭園美術館2025年8月22日
「夜会」イベント編集ムービー」
企画 東京都庭園美術館
編集・制作 黒目写真館
URL https://www.youtube.com/watch?v=H0I0YdWN_Os
公開期間 2025年11月29日(土)～当面の間



写真：富田了平

6 庭園マルシェ

庭園を活かした地域連携事業として西洋庭園で庭園マルシェを開催した。今年は港区とのコラボレーションによりまちなかコンサートを企画したが、雨天の為中止となった。また、手話通訳つきワークショップや「さわるコーナー」、「カームダウンスペース」などを設置し、アクセシビリティ向上の取組を行った。

- ・まちなかコンサート at 庭園マルシェ(雨天の為中止)
- ・近隣のレストランやショップなど、キッチンカーを含む11店舗が出店
- ・JR東日本 東京建設プロジェクトマネジメントオフィスによる鉄道林を利用したワークショップ
4回開催(内2回は手話通訳付き、参加者数が少なかったため4回目は未実施)
- ・「さわるコーナー」でラジエーター(暖房器具)カバーなどの模型や「さわる絵本」等を展示
- ・イヤーマフやセンサリトイなどを用意し、カームダウンスペースを設置(新館ギャラリー2)



日時	2025年12月24日(水)11:00 ~ 16:00
会場	西洋庭園
参加店舗	pedibus jambus(飲食) Quilão(シリアル) 白金台珈琲 Kuromimi Lapin(コーヒー、くじ引き) 雑穀甘酒カフェ「美環」(甘酒) おさつ本舗(スイーツ) Sunfarm M+(飲食) HUIT(飲食) Tender's(飲食) SERVE(スイーツ) きょんkitchen(飲食) STOVE SANDWICHES(飲食)
利用者数	約300人(ワークショップ参加者数:19人)
入場料	無料(庭園入場料・入館料別途)
共催	hibino



7 オリジナルコーヒーの企画と監修(Kuromimi Lapin)」

近隣のコーヒーショップ「白金台珈琲 Kuromimi Lapin」店主の伊藤喜章氏に依頼し、オリジナルコーヒーを開発、監修した。

2025年に発売した、アール・デコ建築の旧朝香宮邸をイメージした第一弾「アール・デコブレンド」に続き、第二弾は季節がうつろう庭園をイメージした「庭園ブレンド」を開発。花や草木が芽吹き、さまざまな動物が集う春から夏にかけての爽やかな庭園の様子を「ジャルダン・ヴェール(Jardin Vert・緑の庭)」と名付け、2026年4月に販売した。



東京都庭園美術館コンサート

広いジャンルのお客様に朝香宮邸の魅力を実感いただく場としてクラシックのサロンコンサートを実施している。2025年度は22回目の開催となり、3公演を実施した。

実施日	2026年3月28日(土)、3月29日(日)
会場	本館大広間
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、 株式会社ジャパン・アーツ
料金	5,500円(全席自由)
広報印刷物	チラシ(A4)
デザイン	株式会社光栄社
企画	朝香誠彦
協賛	株式会社ニッピコラーゲン化粧品 レクサス小石川販売株式会社
協力	株式会社ショコラティエ・エリカ
実施回数	3回
参加者数	249人

第1回

松本蘭 ヴァイオリン・リサイタル

日時	2026年3月28日(土)14時開演
参加者数	90人

第3回

山根一仁 ヴァイオリン・コンサート

日時	2026年3月29日(日)14時開演
参加者数	79人

第4回

伊藤悠貴 チェロ・コンサート

日時	2026年3月29日(日)18時開演
参加者数	80人

※3月28日(土)18時に開催予定の第2回公演は演奏者都合により中止



庭園能

目黒駅近くにある喜多能楽堂を拠点とする公益財団法人十四世六平太記念財団と共催し、当館の芝庭で能の公演を行った。本年度は鑑賞者の利便性向上のため、全席指定席を導入した。

日時	①2025年11月28日(金) 能「黒塚白頭」開場14:30／開演15:00 ②2025年11月29日(土) 能「殺生石女体」開場11:00／開演11:30 ③2025年11月29日(土) 能「通小町」開場14:30／開演15:00
会場	芝庭(雨天時会場は喜多能楽堂)
料金	各回S席7,000円 A席5,000円
参加者	①228人 ②226人 ③238人
主催者	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 公益財団法人十四世六平太記念財団
協賛	積水化学工業株式会社
舞台制作	株式会社能楽プロ



能「黒塚白頭」	
仕舞「経政キリ」	香川靖嗣
解説	佐藤寛泰
シテ	友枝雄人
ワキ	大日方寛
アイ	野村裕基
ワキツレ	野口能弘
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	澤田晃良



能「殺生石女体」	
仕舞「松風」	友枝昭世
解説	佐藤寛泰
シテ	香川靖嗣
ワキ	大日方寛
アイ	野村裕基
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	澤田晃良



能「通小町」	
仕舞「草紙洗小町」	友枝昭世
解説	佐藤陽
シテ	友枝雄人
ツレ	佐藤寛泰
ワキ	大日方寛
笛	一噌隆之
小鼓	成田達志
大鼓	大倉慶乃助

美術資料の活用

1 美術資料の収集

「東京都庭園美術館美術資料収集方針」における「収集の基本的な考え方」に基づき収集を行う。

収集の基本的な考え方

館は、歴史的な価値を有する建造物である旧朝香宮邸を保存、公開するとともに、その建物及び庭園を活かして美術作品等を展示することにより、もって都民の教養ならびに学術及び文化の発展に寄与するため設置されている。

この設置目的を果たすため必要な美術作品等を収集する。

2025年度までの収集件数

	収集分野	2025年度 新規収集数	総件数
ア	絵画	1	7
イ	彫刻	0	16
ウ	工芸	47	82
エ	デザイン	0	4
オ	家具	0	14
カ	服飾・装身具	0	4
キ	映像写真等による造形表現	0	1
ク	資料(旧朝香宮邸又はアール・デコに関する書籍・資料、 装飾物・建材等)	1	131
ケ	その他	0	0
	合計	49	259

2 新規収集

東京都庭園美術館の収集の基本方針に沿う質の高い作品及び資料49件76点を、購入・寄贈・寄託により幅広い分野から収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待される。

画像撮影：上野則宏

購入

1

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《バックスの巫女》
 制作年 1927年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ、
 ブロンズ製照明台
 寸法 H24.3×D22.0cm



2

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《フランスの水源
 カリプソ》
 制作年 1924年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ、木製台
 寸法 H69.5×W14.0×D11.0cm



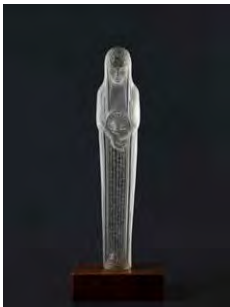
3

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《フランスの水源
 ダフネ》
 制作年 1924年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ、木製台
 寸法 H76.0×W13.5×D18.0cm



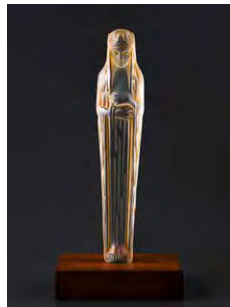
4

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《フランスの水源
 ガラテ》
 制作年 1924年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ、木製台
 寸法 H50.5×W9.5×D8.5cm



5

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《フランスの水源
 テルフェーズ》
 制作年 1924年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ、木製台
 寸法 H46.5×W9.5×D8.0cm



6

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 常夜灯《二羽の孔雀》
 制作年 1920年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 装飾板はプレス成形、サチネ、
 ベークライト製照明台
 寸法 H44.0×W33.0×D17.0cm



寄贈

1
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 香水瓶
 《アンブル・アンティーク》
 コティ社
 制作年 1910年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 サチネ、パチネ、栓はプレス成形
 寸法 H15.3×D4.0cm



2
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 デカンタ《シレーヌと蛙》
 制作年 1911年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 サチネ、パチネ、栓はプレス成形
 寸法 H40.0×D16.8cm



3
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 グラス《六人の人物》
 制作年 1911年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 パチネ
 寸法 H10.0×D4.2cm
 数量 6点



4
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 円形蓋物《菊》
 制作年 1911年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ
 寸法 H6.2×D8.6cm



5
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 インク壺《三匹の蝶》
 制作年 1912年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 パチネ
 寸法 H5.5×D9.8cm



6
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 インク壺《三匹の蝶》
 制作年 1912年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 パチネ
 寸法 H5.5×D9.8cm



7
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《六人の人物》
 制作年 1912年
 素材・技法 濃褐色のスモーク・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H19.0×D13.9cm



8
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 平形デカンタ
 《二人の踊り子》
 制作年 1912年
 素材・技法 透明ガラス、
 型吹きプレス同時成形、サチネ
 寸法 H34.5×W20.0×D8.0cm



9
 作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 三角形クリーム・ケース
 《女性の顔》コティ社
 制作年 1912年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ
 寸法 H9.5×D6.2cm



10

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《大きな裸婦、
 つた模様の台付》
 制作年 1919年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、木製台
 寸法 H41.0×W12.1×D12.1cm



11

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《シレーヌ、小像のある栓》
 制作年 1920年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ、
 栓はプレス成形
 寸法 H35.8×W23.0×D8.0cm



12

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 三足鉢《シレーヌ》
 制作年 1920年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形
 寸法 H5.8×D36.7cm



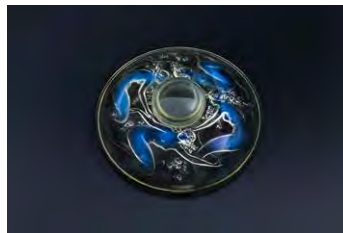
13

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《貝殻》
 制作年 1920年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ
 寸法 H18.6×D10.4cm



14

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 円形インク壺
 《四人のシレーヌ》
 制作年 1920年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H5.3×D16.0cm



15

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 香水瓶《アンフィトリート》
 制作年 1920年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 サチネ、パチネ、
 栓はプレス成形
 寸法 H9.6×W6.5×D3.8cm



16

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《茨》
 制作年 1921年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ
 寸法 H23.0×D11.0cm



17

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《茨》
 制作年 1921年
 素材・技法 赤色ガラス、型吹き成形、
 パチネ
 寸法 H23.2×D11.7cm



18

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《茨》
 制作年 1921年
 素材・技法 黄色ガラス、型吹き成形、
 パチネ
 寸法 H23.2×D12.0cm



19

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 円形大型蓋物
 《二人のシレーヌ》
 制作年 1921年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形
 寸法 H6.3×D25.8cm



20

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《射手》
 制作年 1921年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ
 寸法 H26.6×D23.0cm



21

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 円形蓋物《ドガ》
 制作年 1921年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ
 寸法 H7.0×D8.1cm



22

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《蛇》
 制作年 1924年
 素材・技法 濃赤色のガラス、型吹き成形、
 パチネ
 寸法 H24.0×D26.8cm



23

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 電動式置時計《雀》
 制作年 1924年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ、木製台
 寸法 H15.5×W22.0×D9.0cm



24

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《セイロン》
 制作年 1924年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H24.2×D13.3cm



25

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 円筒形香水スプレー
 《人物像 No.2》
 マルカ・エ・バルデル社
 制作年 1924年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 パチネ、スプレー金具
 寸法 H15.8×D5.0cm



26

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《スザンヌ》
 制作年 1925年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形
 寸法 H22.8×W18.0×D5.3cm



27

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 立像《タイス》
 制作年 1925年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ
 寸法 H21.3×W18.7×D5.7cm



28

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《アルペール》
 制作年 1925年
 素材・技法 スモーク・ガラス、プレス成形
 寸法 H17.4×W22.4×D15.8cm



29

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《パリッシー》
 制作年 1926年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ
 寸法 H16.7×D19.8cm



30

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《白鷺》
 制作年 1926年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H25.0×D20.0cm



31

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《ダナイード》
 制作年 1926年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形
 寸法 H18.2×D13.4cm



32

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《バックスの巫女》
 制作年 1927年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、
 サチネ、パチネ
 寸法 H24.5×D22.0cm



33

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《ポロメ》
 制作年 1928年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 型吹き成形、パチネ
 寸法 H23.3×D17.0cm



34

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《パンティエーヴル》
 制作年 1928年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 パチネ
 寸法 H26.0cm



35

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 カーマスコット《猪》
 制作年 1929年
 素材・技法 グレーのスモーク・ガラス、
 プレス成形、金具付き木製台
 寸法 H14.2×W13.2×D12.0cm



36

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 香水瓶《カランダール》
 モリナール社
 制作年 1929年
 素材・技法 透明ガラス、型吹き成形、
 サチネ、パチネ、栓はプレス成形
 寸法 H11.6×W7.2×D5.1cm



37

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《プラム》
 制作年 1930年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H17.6×D22.1cm



38

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 花瓶《牧神》カット装飾
 制作年 1931年
 素材・技法 透明クリスタル・ガラス、
 プレス成形、サチネ、パチネ、
 カット加工
 寸法 H31.7×D19.0cm



39

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 マントルピース用ランプ
 《牧神》
 制作年 1931年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形、サチネ、
 ランプシェードは型吹き成形、サチネ、
 金属台と金具にクロムメッキ
 寸法 H34.9×W27.2×D9.6cm



40

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 鉢《インコ》
 制作年 1931年
 素材・技法 オパールセント・ガラス、
 プレス成形、パチネ
 寸法 H10.5×D26.5cm



41

作者名 ルネ・ラリック
 作品・資料名 ブックエンド《燕》
 制作年 1942年
 素材・技法 透明ガラス、プレス成形
 寸法 H16.0×W11.0×D9.5cm



42

作者名 松井写真館
 作品・資料名 朝香宮邸竣工写真
 制作年 1933年
 素材・技法 写真
 寸法 H11.3×D15.5cm
 数量 23点



寄託

1

作者名 郷原古統
 作品・資料名 南薫綽約
 制作年 1927年
 素材・技法 絹本着色
 寸法 H244.3×W365.4×D4.7cm



3 美術資料の保存・修復

2025年度は以下の4点の状態調査及び修復・補修作業を実施した。

劣化・腐朽部分の修復、欠損部分の製作、クリーニング、細かな調整等を慎重に調査を行った上で、オリジナル部分を最大限に残して活かしながら耐久性を担保する方向性で作業を実施した。修復を行った佐々木愛《鳥たちが見た夢》は、「建物公開2025時を紡ぐ館」にて展示した。今後も建物公開展をはじめ各展覧会にて活用予定である。

No.	作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	佐々木愛	鳥たちが見た夢	2020年	漆喰(塗るタイルX-1)	240×200
2	不詳	ライティングビューロー	1930年代	木材	141×87×35
3	宮内省内匠寮工務課(水谷正雄) /設計 寺尾備/製作	小椅子(第一応接室)	1933年	木材(モミジ)、布	73.0×40.5×41.5
4	宮内省内匠寮工務課(水谷正雄) /設計 寺尾備/製作	長椅子(第一応接室)	1933年	木材(モミジ)、布	84.0×170.0×67.5

4 彫刻作品の再設置

ランドデザインに基づく庭園利用の活性化のため、園内整備及び作品修復により非公開だった彫刻作品2点を西洋庭園内に再設置した。

これにより、既設の作品とあわせて計5点の彫刻作品が庭園内に設置された。

撮影：上野則宏



菅原二郎《INSIDE OUT CBG-2》1991年



ボアズ・ヴァーディア《ピルタイとバシユフル》1992年

5 貸出

No.	作者名	作品名	会場	展覧会名	展覧会会期
1	ジャン・リュス	花瓶	三菱一号館美術館	アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団 (KCI)コレクションを中心に	2025年10月11日(土)～ 2026年1月25日(日)
2	松井写真館	朝香宮邸竣工写真	公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都写真美術館	恵比寿映像2026 あなたの音に「日花聲音」 Polyphonic Voices Bathed in Sunlight コミッション・プロジェクト& 東京都コレクション	2026年2月6日(金)～ 2月23日(月・祝) (3階展示室における特別展示 のみ3月22日(日)まで)
	さわひらき	pilgrim			

6 美術資料の情報公開

「東京都庭園美術館 コレクションサイト」

当館コレクションサイトURL

<https://www.teien-art-museum.ne.jp/museum/collection/>

Tokyo Museum Collection (ToMuCo) URL

<https://museumcollection.tokyo>

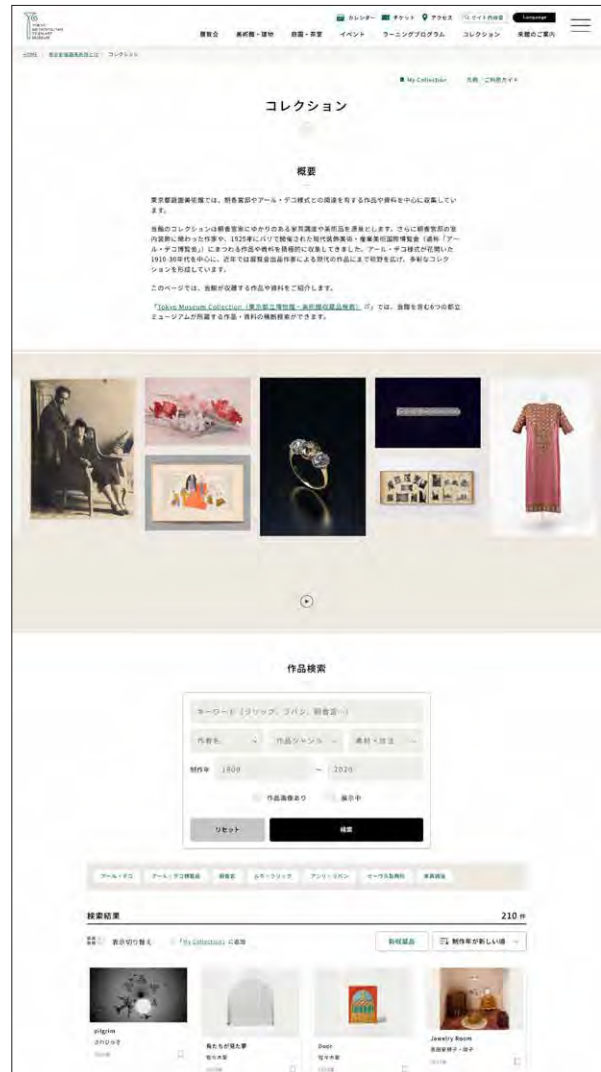
作品の情報公開

当館が所蔵する210件(2026年3月末現在)の作品について、継続的に情報公開を行っている。

作品画像が流れていく「ハイライト」では、各展覧会のテーマに応じて約20点の作品を選定し、定期的に更新している。

作品画像

著作権の保護期間が満了した作品、及び「美術の著作物等の展示に伴う複製等に関する著作権法第47条ガイドライン」(一般社団法人日本美術家連盟、一般社団法人日本美術著作権連合、一般社団法人日本写真著作権協会、公益財団法人日本博物館協会、全国美術館会議及び一般社団法人日本書籍出版協会)にもとづき、コレクションのサムネイル画像(32,400画素以下)を掲載。



7 図書資料の情報公開

1983(昭和58)年の開館以来、当館ではアール・デコを中心とした図書資料を収集してきた。これらの資料は、展覧会活動および調査研究を支える基礎的資源として位置づけられる。

従来、これらの蔵書情報は館内においてのみ参照可能であったが、新たにオンライン上で検索可能なシステム「蔵書検索(OPAC)」を構築し、2026年3月31日(火)より公開を開始した。本システムの公開により、来館の有無にかかわらず、誰でも当館の所蔵図書資料を検索・確認することが可能となった。

東京都庭園美術館 蔵書検索(OPAC) URL: https://jmapps.ne.jp/toteien_lib/index.html

本システムには、調査・研究を目的とする利用者の利便性向上を目的として、複数の検索機能を実装している。

キーワード検索

基本となる「キーワード検索」では、書名・著者名・出版社・美術作家名などを横断的に検索することができる。



絞り込み検索

絞り込み機能により、資料区別(図書・展覧会カタログ等)や資料種別(近代装飾美術関連図書・貴重書等)の条件で結果を精査することが可能である。



詳細検索

詳細検索機能では、複数の条件を組み合わせた検索にも対応している。また、他言語の選択、展覧会会場や展覧会カタログに記載された論文と著者の検索もできるようにした。



作家名および関連団体名からのAtoZ検索

本データベースの特徴として、アール・デコを中心とした資料群に対応し、当時活動した作家名および関連団体名からのAtoZ検索を実装している点が挙げられる。これにより、調査・研究を目的とする利用者にとって有用な検索環境を提供している。



本システムの公開は、当館資料へのアクセシビリティの向上のみならず、調査研究の促進にも寄与するものである。今後は、「貴重書」および「当館で開催した展覧会図録・刊行物」の書誌登録を進め、データ整備と機能改善を継続的に行い、より専門性の高い情報提供と閲覧環境の一層の充実を目指す。

図書登録件数(2026年3月末現在)

	図書	展覧会カタログ	雑誌
和書	280	181	6
洋書	175	99	

文化財の保護・活用

重要文化財の保護・活用を行うため、引き続き様々な維持修理やメンテナンスを行った。また、来館者の一層の理解を深めることを目的として、当館の歴史や修理、文化財保護等に関わる講座やギャラリートークを実施した。

1 工事・修理・メンテナンス

①小客室壁画の補修

小客室のアンリ・ラバンによる壁画4面について、2024年度に実施した調査を基に剥離留め等の補修を実施した。

②鉄製灯籠の補修

朝香宮邸時代からある観心寺写し鉄製灯籠の錆除去・錆止め塗装等を実施した。

③石の補修

経年劣化により剥離した旧朝香宮邸本館内の石の補修を実施した。

④東通用口照明の補修

経年劣化により破損した旧朝香宮邸東通用口照明の補修を実施した。

⑤大食堂等寄木床糊の除去

美観回復と文化財保護のため、過去に寄木床に塗布された糊の除去を実施した。

⑥香水塔の電球交換

本館次室に設置されている香水塔電球の交換を実施した(年4回)。

⑦蝶番調整

本館内及び正門各種扉の蝶番の調整を実施した。

⑧本館内クリーニング

本館展示室エリアの除塵防黴及びオリジナル照明、カーテン、絨毯等のクリーニングを実施した。



小客室壁画の補修作業の様子



大食堂寄木床糊の除去作業後の写真

2 トーク・ツアー等の実施

当館の建物や歴史、文化財保護の様子等を多くのお客様に知っていただくことを目的に、トークやツアーを実施した。

※詳細は茶室活用P.22～ ラーニングプログラム(建物&庭園プログラム2025)P.52～を参照

広報事業

2025年度は引き続きSNS発信を主軸とした広報を展開し、順調にSNSフォロワー数が増加したが、特に「建物公開展2025」においてテレビ媒体等の取材依頼が多かったことが功を奏し、建物に興味を持った来館者が全国から訪れた。

9月に開催した展覧会「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」では、6月にフランス大使館にてプレス発表会を実施し、展覧会特設サイトおよび公式Xを設置した。共催先等の協力により、長期にわたる広範囲な広報を行い、新たな来館者層の獲得につながった。

アール・デコ博覧会100周年を記念して開催したイベント「夜会」(P.62参照)は、参加者にドレスコードを設定したところ反響が大きく、情報解禁後の投稿ではSNSビューワー数が記録的に伸びた。事前の問い合わせも多く、当日の様子を来館者がSNSで投稿するなど注目の高さが裏付けられ、庭園美術館を知らなかった多くの人々が来館する一助となった。

1 取材実績(抜粋)

日本テレビ『ぶらり途中下車の旅』2025年7月12日

庭園および建物、建物公開展の紹介

「山田五郎氏が語る東京都庭園美術館の魅力」『出没!アド街ック天国 30周年メモリアルブック』

交通新聞社発行 2025年10月2日

テレビ東京「出没!アド街ック天国」2025年11月1日

旧朝香宮邸の紹介

林洋子(兵庫県立美術館館長)「1925年を訪ねて 十選」『日本経済新聞』2025年12月3日

館蔵品 イヴァン=レオン=アレクサンドル・ブランシヨ《朝香宮鳩彦王妃允子像》を紹介

「たてもの探訪」『読売新聞』2026年3月14日

茶室「光華」を紹介

※展覧会の取材実績は各展覧会の主要関連記事参照

2 掲載実績

テレビ・ラジオ 17件

新聞 61件

インターネット 431件

雑誌・書籍・パンフレット等 164件

公式ウェブサイト(2025年4月1日～2026年3月31日)

アクセス数 6,553,269PV (前年比+980,811)

新規ユーザー数 1,716,727(前年比+315,574)

3 公式SNSの運用

X(旧Twitter)	投稿数268回 フォロワー数181,000人(前年比+1,221人)
Facebook	投稿数224回 フォロワー数32,294人(前年比+2,970人)
Instagram	投稿数224回 フォロワー数116,092人(前年比+13,159人)
YouTube	投稿数7回 フォロワー数2,300人(前年比+292人)

4 展覧会プレス内覧会

「建物公開2025 時を紡ぐ館」

日時 2025年6月6日(金)15:00~17:00
参加者数 46人

「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —— ハイジュエリーが語るアール・デコ」

日時 2025年9月26日(金)14:00~16:00
参加者数 143人

5 その他広報対応

美術館正面看板、パナーの設置(美術館前1か所、目黒通り沿い15か所)展覧会ごと3回更新
JR目黒駅及び東京メトロ・都営線白金台駅周辺への地図掲示(各駅1か所)

紀要の発行

東京都庭園美術館 紀要2025

執筆

早川典子(東京都庭園美術館 学芸員)
「朝香宮邸の発見」

板谷敏弘(東京都庭園美術館 学芸員)
「朝香宮邸再考のための試論—朝香宮夫妻は
アール・デコに魅了されたのか—」

小沢朝江(東海大学 建築都市学部 建築学科 教授)
板谷敏弘(東京都庭園美術館 学芸員)
「茶室『光華』の建設経緯と朝香宮邸における存在意義」

齊藤音夢(東京都庭園美術館 学芸員)
「朝香宮邸における外観と内観の差異に関する一考察
宮内省内匠寮技師・権藤要吉の『渡航日記』からみる建築観の形成」



美術館維持管理

1 グランドデザイン推進のための検討委員会の開催

2024年3月に策定した「東京都庭園美術館グランドデザイン」に基づき、美術館の魅力向上に向けた取組に必要とされる施設整備の検討を行った。来年度の工事実施に向け、基本・実施設計の内容の精査を進め、着実な準備を行った。

・東京都庭園美術館ウエルカムゾーン及び東屋等整備に係る検討委員会の開催 3回
<委員>

藤生 智之	東京都歴史文化財団 総務部長(座長)
妹島 和世	東京都庭園美術館 館長
牟田 行秀	東京都庭園美術館 副館長
西沢 立衛	西沢立衛建築設計事務所 代表(建築家)
金田 充弘	オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
田村 順	東京都生活文化局 文化振興部 文化施設整備担当課長
徳田 哲吉	東京都教育庁 地域教育支援部 管理課長
<臨時委員>	
山崎 誠子	有限会社GAヤマザキ 取締役/日本大学短期大学部 建築・生活デザイン学科 准教授

2 施設・設備の維持管理と安全確保

来館者に安全で快適な鑑賞環境を提供するとともに、美術品及び重要文化財である建造物を適切に保存するため、施設・設備の補修、整備点検及び日常清掃を継続的に実施した。あわせて、警備・監視業務委託事業者と連携し、防犯・防災体制の強化を図り、美術館施設全体の安全性及び快適性の確保に努めた。

3 回遊性向上と利用環境の整備

グランドデザインに基づく取組の一環として、本館・新館・庭園の回遊性向上を目的に、新たなチケット管理システムの導入と舗装路の整備を実施した。これにより、庭園と各館を横断した利用が円滑になり、ショップやカフェへのアクセス性も向上した。回遊性向上に伴い、館内サイン計画を見直し、デジタルサイネージを導入することで、柔軟かつ視認性の高い案内機能の強化を図った。さらに、貸出用傘の導入やカフェテラス席の増設により、混雑の緩和とサービス向上にも取り組んだ。

4 防災訓練の実施

防災意識の向上及び緊急時対応力の強化を目的として、防災訓練を実施した。また、昨年度に引き続き、インクルーシブ防災(障害者や高齢者を含む、あらゆる人を取り残さない防災対策)の実現に向けた講習会を企画・実施した。

第1回:2025年10月14日(火)避難訓練、AED講習/防災介助講習
第2回:2026年2月24日(火)避難訓練、火災受信機・発信機及び消防設備取扱講習
(P.60参照)

収益事業

1 ミュージアムショップの運営

新館1階ロビーのミュージアムショップ「リュミエール(Lumière)」において、来館者等に庭園美術館オリジナルグッズや展覧会グッズのほか、図録や芸術関連書籍などを販売した。このショップはこれまで展覧会場内に位置付けられていたが、2025年6月からは庭園のみの入場者も利用できるようになった。

また、正門横ではナチュラルチーズ専門店「フェルミエ白金台店」において、フランス産ナチュラルチーズをメインにそれに合う食品などを販売するとともに、カフェスペースでワインやコーヒー、フードメニューなども提供した。なお、この正門横ショップでは、本館・新館の展覧会とは一味違った幅広い展示活動を、美術館とのコラボレーションにより実施している。

実績

新館ロビーショップ 「リュミエール(Lumière)」

購入客数	60,996人
営業日数	204日
営業時間	10:00～18:00(入館は17:30まで) ※美術館営業時間に準ずる
定休日	毎週月曜日、 美術館休館日(展覧会が開催されていない日) ※美術館休館日に準ずる
事業者	株式会社オークコーポレーション



正門横ショップ 「フェルミエ白金台店」

購入客数	13,320人
営業日数	306日
営業時間	10:00～18:00※美術館営業時間に準ずる
定休日	月曜日 ※美術館休館日に準ずる
事業者	株式会社フェルミエ ※展示活動の実績は、「正門横スペース(旧門衛所) コラボレーション展示」(P.17～)を参照



アール・デコ博覧会
百周年記念コラボプレート



【時を味わう、AOCチーズの旅】
コラボセット

2 カフェ・レストランの運営

新館のカフェと正門横のレストランがあり、同一の事業者が営業を行っている。

新館のカフェは、自然光が全面に差し込む開放的なガラス張り空間で、展覧会鑑賞後などに癒やしのひとときを過ごすことができる。正門横のレストランは西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、イタリアンとフレンチが融合した料理を、窓外に広がる四季折々の景色を眺めながら楽しめる。目黒通りに面しており、美術館のチケットがなくても利用できることが特長である。

実績

カフェ

「café TEIEN」(カフェ庭園)

利用者数	33,225人
営業日数	202日
営業時間	10:00～18:00(入館は17:30まで) ※美術館営業時間に準ずる
定休日	月曜日、 美術館休館日(展覧会が開催されていない日)
席数	36席(屋内24席/テラス12席)
事業者	株式会社フードワークス



建物公開2025時を紡ぐ館
企画展特別デザート

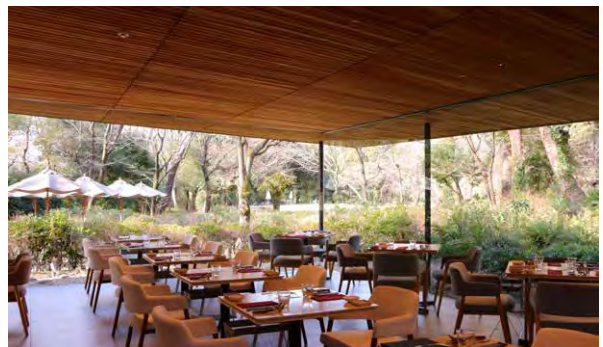


アール・デコ博覧会開催100周年記念
特別デザート

レストラン

「comodo(コモド)」

利用者数	28,428人
営業日数	314日
営業時間	ランチ 11:00～15:00(ラストオーダー14:00) カフェ 15:00～16:30(フードラストオーダー16:00) ディナー 17:30～21:00(ラストオーダー20:00)
定休日	月曜日 ※美術館休館日に準ずる
席数	52席(テーブル44席/カウンター8席)
事業者	株式会社フードワークス



建物公開2025 時を紡ぐ館
企画展特別ランチコース



アール・デコ博覧会開催100周年記念
特別ランチコース

3 ユニークベニュー事業

歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できるユニークベニュー事業を2017年より実施している。2025年度は、昨年度より整備・運用を開始したユニークベニュー事業制度に基づき、5件のユニークベニューを実施した。

特別鑑賞会(非公開)

招待客に向けて展覧会の特別鑑賞会を実施し、レストランにて軽食を提供した。

日時・参加者数

2025年10月20日(月)16:30~20:30/104名

2025年10月23日(木)19:00~20:30/26名

2025年11月4日(火)10:30~20:30/325名

2026年1月13日(火)16:30~20:30/122名

主催 非公開

場所 本館、新館、芝庭、西洋庭園、日本庭園、
レストラン(10月23日を除く)

Rakuten Fashion Week TOKYO 2026 AW / ENFÖLD FALL & WINTER 2026 Runway Show “Living Sculpture”

(ファッションショー)

ENFÖLDによるファッションショー

日時 2026年3月16日(月)16:45~18:30

主催 BAROQUE JAPAN LIMITED

企画運営担当事業者

VISIONS AND PARADOX LTD.

場所 本館前アプローチ

参加者数 約400人



4 その他の収益事業

施設商用撮影貸出(ロケーションボックス)100,000円(2件)

施設写真商用貸出(イメージライセンス)54,780円(6件)

自動販売機運営管理手数料 337,277円

駐車場6,501,500円(普通車:4,185台 バス:56台)

2025年度の実績

入館者数

事 項	事前 予約	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
戦後西ドイツの グラフィックデザイン	○	19,970	19,007											38,977
永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル	○						5,147	34,074	38,049	28,548	21,206			127,024
企画展観覧者 合計		19,970	19,007				5,147	34,074	38,049	28,548	21,206			166,001
建物公開 2025 時を紡ぐ館	○			16,347	20,912	30,482								67,741
建物公開展観覧者				16,347	20,912	30,482								67,741
庭園のみ入場者		7,684	8,096	4,022	1,859	3,276	9,694	7,577	16,008	6,225	5,590	8,510	14,372	92,913
その他 入館者	展覧会に伴う講演会	75	78		49									202
	展覧会ギャラリートツアー等													
	ワークショップ等	151			25	31								207
	美術館講座			72	69			59						200
	ミュージアム・コンサート												249	249
その他イベント	127	2,660	651	3,802	9,598		4,069	961	413	2,383		30	24,694	
その他入館者合計		353	2,738	723	3,945	9,629		4,128	961	413	2,383		279	25,552
入 館 者 総 合 計		28,007	29,841	21,092	26,716	43,387	14,841	45,779	55,018	35,186	29,179	8,510	14,651	352,207

外国人入館者	展覧会	1,320	937	1,052	1,200	986	124	1,626	1,258	1,260	495			10,258
	庭のみ	498	808	346	226	347	1,098	676	909	487	594	1,155	1,366	8,510
茶室公開		7,737	8,196	8,199	8,798	11,490	5,292	11,312	16,384	10,166	8,098	4,285	5,245	105,202

広報・宣伝

事 項	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マスコミ	TV・ラジオ 放送件数	1		2	6	1	1	1	2	2	1			17
	新聞掲出件数	2		2	3			16	20	12	3	1	2	61
	雑誌等掲出 件数	22	23	113	42	26	67	117	49	33	47	18	38	595
ホーム ページ	アクセス件数 (PV)	466,090	492,175	486,703	647,211	759,854	591,222	803,539	707,324	470,122	472,861	305,545	350,623	6,553,269
X (旧ツイッター)	フォロワー数	179,088	178,324	179,349	180,358	181,774	182,211	182,687	179,166	179,104	179,850	180,492	181,000	181,000

収益事業収入

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
管理手数料 及び 売上高													
ミュージアムショップ 管理手数料	2,030,034	2,231,010	822,143	1,038,209	1,401,518	842,900	3,965,059	3,898,870	3,269,611	2,743,624	440,000	513,232	23,196,210
飲食施設管理手数料	2,374,608	2,210,648	2,114,825	2,232,604	2,453,513	1,547,604	2,846,110	2,995,155	2,665,016	1,772,254	1,261,700	2,105,747	26,579,784
駐車場売上高	534,000	640,500	401,000	625,000	967,000	257,500	778,000	842,000	573,000	553,000	126,000	204,500	6,501,500
自販機管理手数料	22,954	29,721	27,895	28,051	35,683	40,904	24,322	28,181	22,517	25,728	24,998	26,323	337,277
計	4,961,596	5,111,879	3,365,863	3,923,864	4,857,714	2,688,908	7,613,491	7,764,206	6,530,144	5,094,606	1,852,698	2,849,802	56,614,771

年間開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26	27	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	306

資料 / 組織図

館長	妹島 和世
副館長(学芸)	牟田 行秀
調整担当課長(学芸)	岡本 純子

管理係

管理係長(派)	奈良部 浩武
ユニークベニュー担当係長	中島 三保子
調整担当係長(技術)	長谷川 修
プロモーション担当係長	平木 絵里
主任	衣斐 和美
主事	矢島 恵理子
主事	清水 麻子
主事	丸山 文江

事業係

事業係長(学芸)	森 千花
事業担当係長(学芸)	早川 典子
事業担当係長(学芸)	板谷 敏弘
主任(学芸)	神保 京子
主任	藤野 英樹
主任(学芸)	高橋 さおり
主任	増田 万里奈
主任(学芸)	西 美弥子
主任(学芸)	勝田 琴絵
主事(学芸)	斉藤 音夢
主事(学芸)	大谷 郁
主事(学芸)	鶴 三慧
主事(学芸)	方波見 瑠璃子
主事(図書館司書)	三澤 庸子
主事(学芸)	西願 麻以

展覧会実績一覧

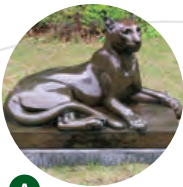
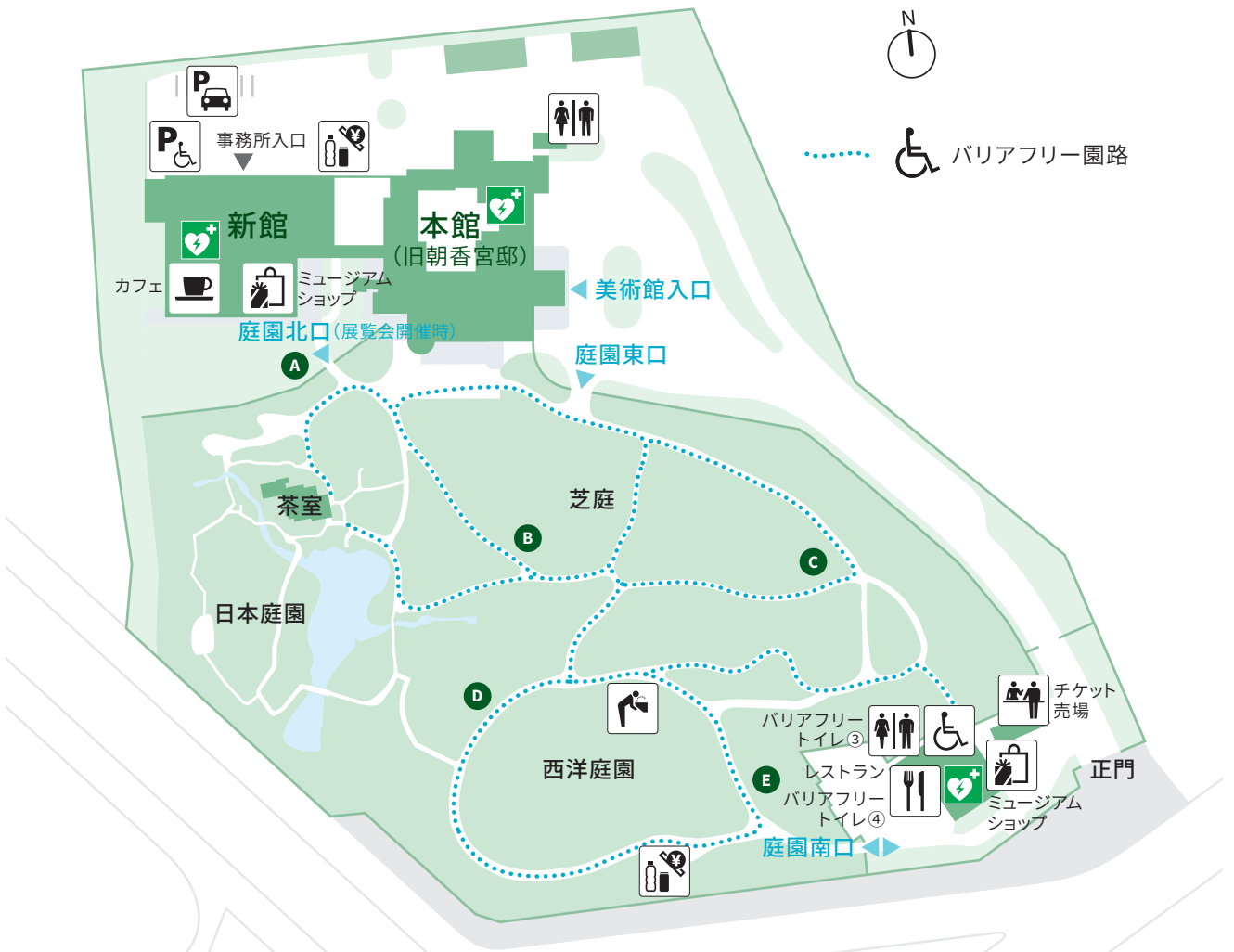
展覧会名	会期	入館者数	1日平均
1983 昭和58年			
ピカソからジャスパー・ジョーンズまで グッゲンハイム美術館展	1983年10月1日～12月25日(81日)	122,072人	1,507人
1984 昭和59年			
早春展	1984年2月23日～4月9日(45日)	9,925人	220人
陽春展	1984年4月14日～4月23日(10日)	2,968人	296人
コプト美術展 ナイル河畔の文明遺産	1984年4月28日～6月3日(35日)	12,400人	354人
'84 初夏-美とのであい	1984年6月16日～7月8日(22日)	3,987人	181人
東京・バリ友好都市提携記念 ルオー展	1984年9月14日～11月4日(48日)	38,647人	805人
晩秋展 東京都美術館所蔵作品より	1984年11月17日～12月23日(35日)	10,433人	298人
1985 昭和60年			
日本画による初春展	1985年1月12日～2月11日(30日)	7,413人	247人
アレックス・コルヴィル展 カナダの自然と美術	1985年2月20日～3月21日(28日)	13,662人	487人
フランス・コルベール展	1985年4月1日～5月12日(39日)	53,945人	1,383人
日本の美 ジャポネズリーのルーツ	1985年5月19日～6月23日(31日)	21,880人	705人
ナンダラー・ボース生誕100年記念 アジア近代絵画の夜明け展 天心・タゴール以後の日本とインド	1985年7月20日～9月1日(44日)	18,782人	426人
庭園美術館への誘い 東京都美術館収蔵作品より	1985年9月12日～24日(13日)	4,166人	320人
"20世紀オーストラリア美術名作展 ニューサウスウェールズ州立美術館収蔵品とフレッド・ウィリアムズ"ビルバラ"シリーズ"	1985年10月4日～11月6日(32日)	13,086人	408人
東京・ニューヨーク姉妹都市提携25周年記念 写真展 NEW YORK・ニューヨーク	1985年11月17日～12月22日(34日)	19,713人	579人
1986 昭和61年			
回想の江戸・東京展	1986年1月11日～2月23日(42日)	17,150人	408人
庭園美術館へのいざない 12人の現代彫刻家	1986年3月2日～4月16日(43日)	14,321人	333人
ピカソに捧げる詩—スペイン現代美術の巨匠 アントニー・クラーク展	1986年4月27日～6月30日(61日)	30,374人	497人
生誕120年記念 黒田清輝展	1986年7月11日～8月10日(30日)	58,130人	1,938人
日本の子どもの本歴史展 17世紀より19世紀までの絵入り本を中心に	1986年8月17日～9月23日(36日)	21,963人	610人
太田道灌記念美術展 室町美術と戦国画壇	1986年10月5日～11月9日(34日)	20,319人	597人
東京都美術館収蔵品を中心に 庭園美術館へのいざない パートIII アール・デコと1920・30年代のART	1986年11月20日～12月21日(30日)	12,970人	432人
1987 昭和62年			
日本のガラス造形—昭和	1987年1月10日～3月22日(67日)	34,910人	521人
アンデスの染織と工芸 チャピン文化期からインカ帝国まで	1987年4月4日～5月12日(37日)	31,535人	852人
東京・バリ友好都市提携記念写真展 美しき日本	1987年5月23日～6月30日(36日)	23,921人	664人
小磯良平展	1987年7月11日～8月30日(48日)	54,555人	1,136人
ブールデル/デュフェ 二人の先駆者:彫刻とアール・デコ家具	1987年9月12日～11月23日(69日)	42,508人	616人
「新東京百景」展	1987年11月29日～12月22日(23日)	10,573人	459人
1988 昭和63年			
回想の江戸・東京II	1988年1月10日～2月14日(33日)	20,614人	624人
文人精神に生きた油絵画家 牧野虎雄・曾宮一念展	1988年2月25日～3月27日(30日)	13,302人	443人
アール・デコ ガラスの巨匠 ルネ・ラリック展	1988年4月5日～5月29日(51日)	105,901人	2,076人
東京・バリ友好都市提携記念 写真展 パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン	1988年6月4日～7月24日(48日)	52,791人	1,099人
親子で楽しむ 西洋美術の名作展	1988年7月31日～9月4日(34日)	41,101人	1,208人
世紀末に異彩を放つオランダの画家 ヤン・トロープ展	1988年9月20日～11月6日(45日)	36,407人	809人
東京・バリ友好都市提携記念 レオナルド・フジタ展	1988年11月12日～1989年2月21日(90日)	86,549人	961人
1989 昭和64年 平成元年			
平成4年度開館予定 東京都江戸東京博物館所蔵品展	1989年3月1日～3月28日(26日)	18,679人	718人
写真展 ヘルムート・ニュートン ポートレート	1989年4月5日～5月14日(37日)	43,902人	1,186人
楽園からのメッセージ フンデルトワッサー展	1989年5月21日～7月11日(49日)	34,299人	699人
日本近代洋画の巨匠 藤島武二展	1989年7月19日～9月3日(47日)	29,623人	630人
江戸東京400年記念展覧会 江戸美術の祝祭	1989年9月14日～10月24日(39日)	31,338人	803人
生誕100年記念 国吉康雄展 ニューヨークの憂愁	1989年11月1日～12月24日(51日)	45,985人	901人
1990 平成2年			
旧朝香宮邸のアール・デコ	1990年1月11日～2月4日(24日)	32,843人	1,368人
ドイツ・ロマン派の時代展 ナザレ派・フリードリヒ・ベックリン	1990年2月18日～3月25日(34日)	27,612人	812人
銅版画の巨匠 浜口陽三展	1990年4月3日～6月3日(58日)	40,048人	690人
光と香りの芸術 ルネ・ラリックの香水瓶展	1990年6月16日～8月5日(48日)	54,006人	1,125人
古代ギリシャ美術展	1990年8月18日～9月23日(35日)	39,368人	1,124人
東京・ニューヨーク姉妹都市提携30周年記念 エドワード・ホッパー展 ホイットニー美術館所蔵作品より	1990年10月6日～12月16日(67日)	56,579人	844人
1991 平成3年			
アール・ヌーヴォー ガラス芸術の華 ルイス・C・ティファニー展	1991年1月12日～3月17日(61日)	108,803人	1,784人

旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1991年3月24日～3月31日(7日)	4,895人	699人
子どもの本・1920年代展	1991年4月6日～5月26日(47日)	43,152人	918人
ポスター-英雄時代の巨匠 カッサンドル展 松本瑠樹:ART DECOコレクションより	1991年6月2日～7月14日(40日)	25,620人	640人
小磯良平遺作展	1991年7月20日～8月27日(37日)	54,069人	1,461人
贈答の美 秋紗展	1991年9月14日～10月13日(28日)	20,969人	748人
企業コレクションによる 世界の名作展	1991年11月2日～12月20日(46日)	45,134人	981人
1992 平成4年			
ベルリン東洋美術館名品展	1992年1月12日～2月17日(35日)	29,424人	840人
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1992年2月29日～3月24日(24日)	23,971人	998人
巴里・モダン1910-30年代 ポスター・挿絵・絵画・写真・映像にみる視覚メディアの新時代	1992年4月4日～5月24日(48日)	39,494人	822人
ロバート・メイブルソープ展	1992年6月2日～7月2日(29日)	48,537人	1,673人
現代日本洋画家と日本画家との対話 日本洋画再考展	1992年7月10日～8月5日(26日)	16,334人	628人
洋画の動乱 昭和10年 帝展改組と洋画壇-日本・韓国・台湾	1992年8月14日～10月6日(51日)	23,949人	469人
"東京・パリ友好都市提携10周年記念 卓上の芸術 フランスのテーブル・アート200年 ボンパドゥール夫人のテーブルからピカソの絵皿まで"	1992年10月17日～12月10日(51日)	58,226人	1,141人
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1992年12月18日～1993年1月21日(25日)	9,689人	387人
1993 平成5年			
自然の抒情詩 ドーム・ガラス展 フランス ナンシー市立美術館所蔵品を中心に	1993年1月31日～3月15日(41日)	51,505人	1,256人
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開	1993年4月3日～4月13日(11日)	10,550人	959人
パリに生きた銅版画の巨匠 長谷川潔展 版画・油彩・デッサンを中心に	1993年4月29日～7月7日(66日)	39,790人	602人
デ・キリコ展 1920-1950	1993年7月16日～8月15日(29日)	40,297人	1,389人
大正日本画の若き俊英たち 今村紫紅と赤曜会	1993年8月21日～9月23日(31日)	21,348人	688人
東京都庭園美術館開館10周年記念 20世紀のエレガンス アール・デコ様式のセーブル磁器展	1993年10月2日～12月19日(74日)	51,140人	691人
1994 平成6年			
旧朝香宮邸の建築と歴史 東京都庭園美術館建物公開	1994年1月15日～2月13日(38日)	15,529人	408人
近代絵画にみる西洋と日本 全国美術館コレクション名品展	1994年3月3日～3月31日(27日)	39,565人	1,465人
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開	1994年4月5日～4月17日(12日)	13,026人	1,085人
スウェーデンの国民画家 カール・ラーション展	1994年4月23日～5月31日(36日)	72,228人	2,006人
ヨーロッパ工芸新世紀展	1994年6月11日～7月31日(48日)	47,946人	998人
1995 平成7年			
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1995年3月10日～3月19日(10日)	7,960人	796人
カルティエ・コレクション 絢爛のジュエリー フランス宝飾芸術の世界展	1995年4月8日～5月28日(47日)	107,556人	2,288人
エリザベス二世女王陛下コレクション ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ 人体解剖図	1995年6月10日～7月30日(47日)	55,239人	1,175人
アメリカに生きた日系人画家たち 希望と苦悩の半世紀 1896-1945	1995年8月12日～10月1日(48日)	26,223人	546人
ジャズを愛し、ニューヨークを生きた スチュアート・デイヴィス展	1995年10月10日～11月26日(44日)	22,015人	500人
動物たちのシンフォニー エドゥアール・サンド彫刻展	1995年12月7日～1996年2月13日(57日)	20,091人	352人
1996 平成8年			
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1996年2月24日～3月24日(28日)	33,567人	1,198人
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1996年4月1日～5月26日(52日)	42,205人	811人
生誕100年記念 林武展	1996年6月15日～7月28日(41日)	33,584人	819人
日本工芸の青春期1920s-1945	1996年8月10日～9月17日(36日)	19,833人	550人
美食もてなしの芸術 北大路魯山人展	1996年10月5日～11月24日(48日)	83,449人	1,739人
遙かなる東洋紀行 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展	1996年12月7日～1997年2月11日(55日)	16,056人	291人
1997 平成9年			
ブーシキン美術館所蔵 イタリア・バロック絵画展	1997年2月20日～3月30日(36日)	25,790人	716人
アルザスとフランス近代美術の歩み ストラスブル近代美術館展	1997年4月5日～5月25日(48日)	29,266人	609人
パリ国立オペラ座衣裳展	1997年6月14日～8月17日(61日)	55,938人	917人
東南アジア近代美術の誕生	1997年9月6日～10月12日(34日)	14,281人	420人
フォンタネージと日本の近代美術 志士の美術家たち	1997年10月23日～12月14日(50日)	21,756人	435人
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	1997年12月21日～1998年1月27日(28日)	8,879人	317人
1998 平成10年			
工芸のジャポニスム展	1998年2月7日～3月24日(43日)	34,584人	804人
華麗なる馬たち 馬と人間の美術史・バロックから近代まで	1998年4月4日～5月26日(50日)	33,304人	666人
イタリアのガラス1930-1970	1998年6月6日～7月26日(47日)	38,446人	818人
パリ市立ザッキン美術館蔵 ザッキン 彫刻と素描展	1998年8月8日～9月27日(47日)	16,880人	359人
静かなる時の流れのなかで ジョルジョ・モランディ 花と風景	1998年10月10日～11月29日(47日)	35,660人	758人
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開 旧第一応接室、旧小食堂 新規公開	1998年12月12日～1999年3月21日(86日)	34,054人	395人
1999 平成11年			
東京都庭園美術館建物公開 イセ・コレクションによる 名画の花束 フランス近代絵画を中心に	1999年4月3日～5月30日(54日)	33,897人	628人
20世紀の創造 アール・ヌーヴォーとモダン・デザインの源流 リバティ・スタイル展	1999年6月12日～7月25日(42日)	29,380人	700人
没後25年 写実と幻想の巨匠 宮本三郎展	1999年8月7日～9月19日(41日)	17,846人	435人
パリ・モード1870-1960 華麗なる夜会の時代	1999年10月2日～12月19日(74日)	64,029人	865人

2000 平成12年				
アール・デコと東洋 1920-30年代・パリを夢みた時代	2000年1月8日～3月21日(69日)	28,283人	410人	
デベロの未来派芸術展 20世紀イタリア・デザインの源流	2000年4月4日～5月23日(47日)	29,053人	618人	
指輪 ちいさな記念碑の物語	2000年6月7日～8月6日(57日)	37,336人	655人	
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開	2000年8月19日～10月29日(67日)	28,725人	429人	
ルネ・ラリック1860-1945展	2000年11月11日～2001年1月31日(69日)	68,149人	988人	
2001 平成13年				
ポスター芸術の革命 ロシア・アヴァンギャルド展 ステンベルグ兄弟を中心に	2001年2月10日～4月1日(47日)	28,030人	596人	
ジョルジュ・ルース展 幾何学的形態の中の緊張	2001年4月7日～6月3日(54日)	34,124人	632人	
イタリア陶磁器の伝統と革新 ジノリ展	2001年6月16日～8月19日(61日)	54,747人	896人	
安田侃一彫刻展 東京都庭園美術館建物公開	2001年8月25日～9月16日(22日)	8,107人	369人	
安田侃一野外彫刻展	2001年4月12日～2002年3月17日併催			
カラヴァッジョ 光と影の巨匠―バロック絵画の先駆者たち	2001年9月29日～12月16日(76日)	185,597人	2,442人	
2002 平成14年				
旧朝香宮邸のアール・デコ展 東京都庭園美術館建物公開	2002年1月5日～3月17日(67日)	31,171人	465人	
イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵 マジョリカ陶展	2002年4月4日～6月23日(76日)	47,458人	624人	
ソニア・ドロエネ	2002年7月6日～9月8日(61日)	28,562人	468人	
フランス銀器の系譜 ビュイフォルカ展	2002年9月21日～12月1日(68日)	41,930人	616人	
2003 平成15年				
旧朝香宮邸のアール・デコ 東京都庭園美術館建物公開	2003年1月4日～4月6日(81日)	31,593人	390人	
東京都庭園美術館開館20周年記念 ヨーロッパ・ジュエリーの400年 ルネサンスからアール・デコまで	2003年4月24日～7月1日(65日)	79,812人	1,228人	
東京都庭園美術館開館20周年記念 生誕120年 マリー・ローランサン回顧展	2003年7月19日～9月15日(55日)	44,656人	812人	
東京都庭園美術館開館20周年記念 アール・デコ様式 朝香宮がみたパリ	2003年10月1日～2004年2月1日(105日)	66,320人	631人	
2004 平成16年				
パリ市立ブティ・パレ美術館所蔵 パリ1900 ベル・エポックの輝き	2004年2月21日～4月11日(48日)	55,076人	1,147人	
シルクロードの装い パリ・コレに花開いた遊牧の民の美	2004年4月24日～6月20日(54日)	35,585人	658人	
幻のロシア絵本 1920-30年代展	2004年7月3日～9月5日(61日)	43,247人	708人	
色彩と幻想の画家 エミール・ノルデ	2004年9月18日～11月7日(48日)	30,174人	628人	
田原桂一 光の彫刻	2004年11月20日～2005年1月23日(54日)	25,044人	463人	
2005 平成17年				
日本のジュエリー100年 私たちの装身具:1850-1950	2005年2月5日～4月10日(61日)	33,131人	543人	
ベルギーが生んだ異端の画家 ジェームズ・アンソール展	2005年4月23日～6月12日(47日)	26,116人	555人	
没後二十五年 八木一夫展 陶芸の冒険―オブジェと茶わん	2005年7月2日～8月21日(48日)	17,067人	356人	
庭園植物記	2005年9月3日～11月6日(61日)	31,381人	514人	
華麗なるマイセン磁器 シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで	2005年11月19日～2006年1月22日(55日)	40,750人	741人	
2006 平成18年				
宇治山哲平展 絵に遊び、絵に憩う	2006年2月4日～4月9日(61日)	21,262人	348人	
北欧のスタイリッシュ・デザイン フィンランドのアラビア窯	2006年4月22日～6月18日(54日)	52,312人	968人	
旧朝香宮邸のアール・デコ 小客室新規公開	2006年7月8日～10月1日(80日)	56,604人	707人	
アール・デコ・ジュエリー 宝飾デザインの鬼才シャルル・ジャコと輝ける時代	2006年10月14日～2007年1月14日(80日)	57,423人	717人	
2007 平成19年				
だれも知らなかった アルフレッド・ウォリス ある絵描きの物語	2007年2月3日～3月31日(53日)	25,168人	474人	
大正シック モダン日本の里帰り ホノルル美術館所蔵品より	2007年4月14日～7月1日(74日)	42,926人	580人	
舞台芸術の世界 ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン	2007年7月26日～9月17日(51日)	27,254人	534人	
世界を魅了したティファニー 1837-2007	2007年10月6日～12月16日(67日)	93,403人	1,394人	
アール・デコの館 アール・デコ&コンサート じっくり見よう!アール・デコ	2007年12月23・24日/ 2008年1月12日～14日(5日)	5,999人	1,199人	
2008 平成20年				
建築の記憶 写真と建築の近現代	2008年1月26日～3月31日(63日)	30,819人	489人	
世界に誇る和製テーブルウェア オールドノリタケと懐かしの洋食器	2008年4月17日～6月15日(56日)	37,528人	670人	
舟越桂 夏の邸宅 アール・デコ空間と彫刻、ドローイング、版画	2008年7月19日～9月23日(64日)	49,316人	770人	
庭園美術館建物公開 アール・デコの館	2008年10月1日～10月13日(13日)	12,079人	929人	
開館25周年記念 1930年代・東京 アール・デコの館(朝香宮邸)が生まれた時代	2008年10月25日～2009年1月12日(69日)	28,917人	419人	
2009 平成21年				
開館25周年記念 ボワレとフォルチュニ 20世紀モードを変えた男たち	2009年1月31日～3月31日(58日)	31,699人	546人	
国立エルミタージュ美術館所蔵 エカテリーナ2世の四大ディナーセット ヨーロッパ磁器に見る宮廷晩餐会	2009年4月16日～7月5日(76日)	52,027人	684人	
ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし	2009年7月18日～9月27日(68日)	44,441人	653人	
日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華	2009年10月10日～12月23日(70日)	65,489人	936人	
2010 平成22年				
イタリアの印象派 マッキアイオーリ 光が描いた近代画家たち	2010年1月16日～3月14日(54日)	43,172人	799人	
庭園美術館建物公開 アール・デコの館	2010年3月25日～4月11日(18日)	21,151人	1,175人	
ロトチェンコ+ステパーノフ ロシア構成主義のまなざし	2010年4月24日～6月20日(54日)	36,939人	684人	
没後25年 有元利夫展―天空の音楽	2010年7月3日～9月5日(61日)	44,713人	733人	
きらめく装いの美 香水瓶の世界	2010年9月18日～11月28日(67日)	60,831人	907人	
東京都庭園美術館建物公開 朝香宮のグランドツアー	2010年12月11日～2011年1月16日(28日)	12,208人	436人	

2011 平成23年			
20世紀のポスター[タイポグラフィ] デザインのちから、文字のちから	2011年1月29日～3月27日(50日)	30,948人	618人
森と芸術 私たちの中にひそむ森の記憶をたどってみよう	2011年4月16日～7月3日(74日)	44,209人	597人
国立エルミタージュ美術館所蔵 皇帝の愛したガラス	2011年7月14日～9月25日(70日)	51,422人	735人
アール・デコの館 東京都庭園美術館建物公開	2011年10月6日～10月31日(24日)	52,366人	2,182人
2014 平成26年			
アーキテツ/1933/Shirokane アール・デコ建築をみる	2014年11月22日～12月25日(32日)	40,511人	1,266人
内藤礼 信の感情			
2015 平成27年			
東京都庭園美術館開館30周年記念 幻想絶佳:アール・デコと古典主義	2015年1月17日～4月7日(76日)	60,450人	795人
フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵 マスク展	2015年4月25日～6月30日(63日)	55,789人	886人
アール・デコの邸宅美術館 建築をみる2015 + ART DECO COLLECTORS	2015年7月18日～9月23日(64日)	52,321人	818人
オットー・クンツ展	2015年10月10日～12月27日(73日)	34,492人	472人
2016 平成28年			
ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉	2016年1月16日～4月10日(81日)	66,121人	816人
日伊国交樹立150周年記念 メディチ家の至宝 ルネサンスのジュエリーと名画	2016年4月22日～7月5日(70日)	108,970人	1,556人
こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し	2016年7月16日～8月31日(44日)	22,669人	515人
アール・デコの花弁 旧朝香宮邸の室内空間			
クリスチャン・ボルタンスキー アニミタスーさざめく亡霊たち	2016年9月22日～12月25日(89日)	67,646人	760人
2017 平成29年			
並河靖之 七宝展 明治七宝の誘惑ー透明な黒の感性	2017年1月14日～4月9日(81日)	63,752人	787人
装飾は流転する「今」と向きあう7つの方法	2017年11月18日～2月25日(86日)	38,493人	447人
2018 平成30年			
アール・デコ・リヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語	2018年3月21日～6月12日(79日)	63,346人	801人
鹿島茂コレクション フランス絵本の世界			
ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力	2018年6月30日～9月17日(75日)	40,251人	536人
エキゾチック×モダン アール・デコと異境への眼差し	2018年10月6日～2019年1月14日(86日)	44,907人	522人
2019 平成31年			
岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟	2019年1月26日～4月7日(68日)	40,771人	599人
キスリング展 エコール・ド・パリの夢	2019年4月20日～7月7日(74日)	47,878人	647人
1933年の室内装飾 朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと	2019年7月20日～9月23日(62日)	41,555人	670人
アジアのイメージ 日本美術の「東洋憧憬」	2019年10月12日～2020年1月13日(80日)	34,072人	425人
2020 令和2年			
北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美	"2020年2月1日～2月28日(26日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月29日～4月7日は休止"	14,488人	557人
建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代	"2020年6月1日～9月27日(111日) ※4月18日～6月23日より会期変更 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月18日～5月31日は休止"	39,632人	357人
生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙	2020年10月17日～2021年1月12日(75日)	34,877人	465人
2021 令和3年			
20世紀のポスター[図像と文字の風景] ビジュアルコミュニケーションは可能か?	2021年1月30日～4月11日(67日)	34,614人	516人
建物公開2021 艶めくアール・デコの色彩	"2021年4月24日、6月1日～6月13日(13日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月25日～5月31日は休止"	6,895人	530人
ルネ・ラリック リミックス 時代のインスピレーションをもとめて	2022年6月26日～9月5日(65日)	25,957人	399人
キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	2021年9月18日～11月28日(62日)	48,532人	783人
2022 令和4年			
奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム	2022年1月15日～4月10日(74日)	43,763人	591人
建物公開2022 アール・デコの貴重書	2022年4月23日～6月12日(44日)	32,297人	734人
蟠川実花 瞬く光の庭	2022年6月25日～9月4日(62日)	49,432人	797人
旅と想像/創造 いつかあなたの旅になる	2022年9月23日～11月27日(57日)	29,422人	516人
交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	2022年12月17日～2023年3月5日(61日)	30,475人	500人
2023 令和5年			
建物公開2023 邸宅の記憶	2023年4月1日(土)～6月4日(日)(56日)	44,295人	791人
フィンランド・ガラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン	2023年6月24日(土)～9月3日(日)(62日)	47,896人	773人
装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術	2023年9月23日(土)～12月10日(日)(68日)	49,797人	732人
2024 令和6年			
開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z	2024年2月17日(土)～5月12日(日)(74日)	58,072人	784人
生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界	2024年6月1日(土)～8月25日(日)(74日)	59,448人	803人
建物公開2024 あかり、とるとき	2024年9月14日(土)～11月10日(日)(50日)	55,302人	1,106人
そこに光が降りてくる 青木野枝/三嶋りつ恵	2024年11月30日(土)～2025年2月16日(日)(61日)	54,186人	888人
2025 令和7年			
戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見	2025年3月8日(土)～5月18日(日)(62日)	55,356人	893人
建物公開2025 時を紡ぐ館	2025年6月7日(土)～8月24日(日)(68日)	67,741人	996人
永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル ―― ハイジュエリーが語るアール・デコ	2025年9月27日(土)～2026年1月18日(日)(91日)	127,024人	1,396人

施設配置図



A
《横たわる豹》
エドゥアール・サンド



C
《風》
安田侃



E
《ピルタイとパシュフル》
ボアズ・ヴァーディア

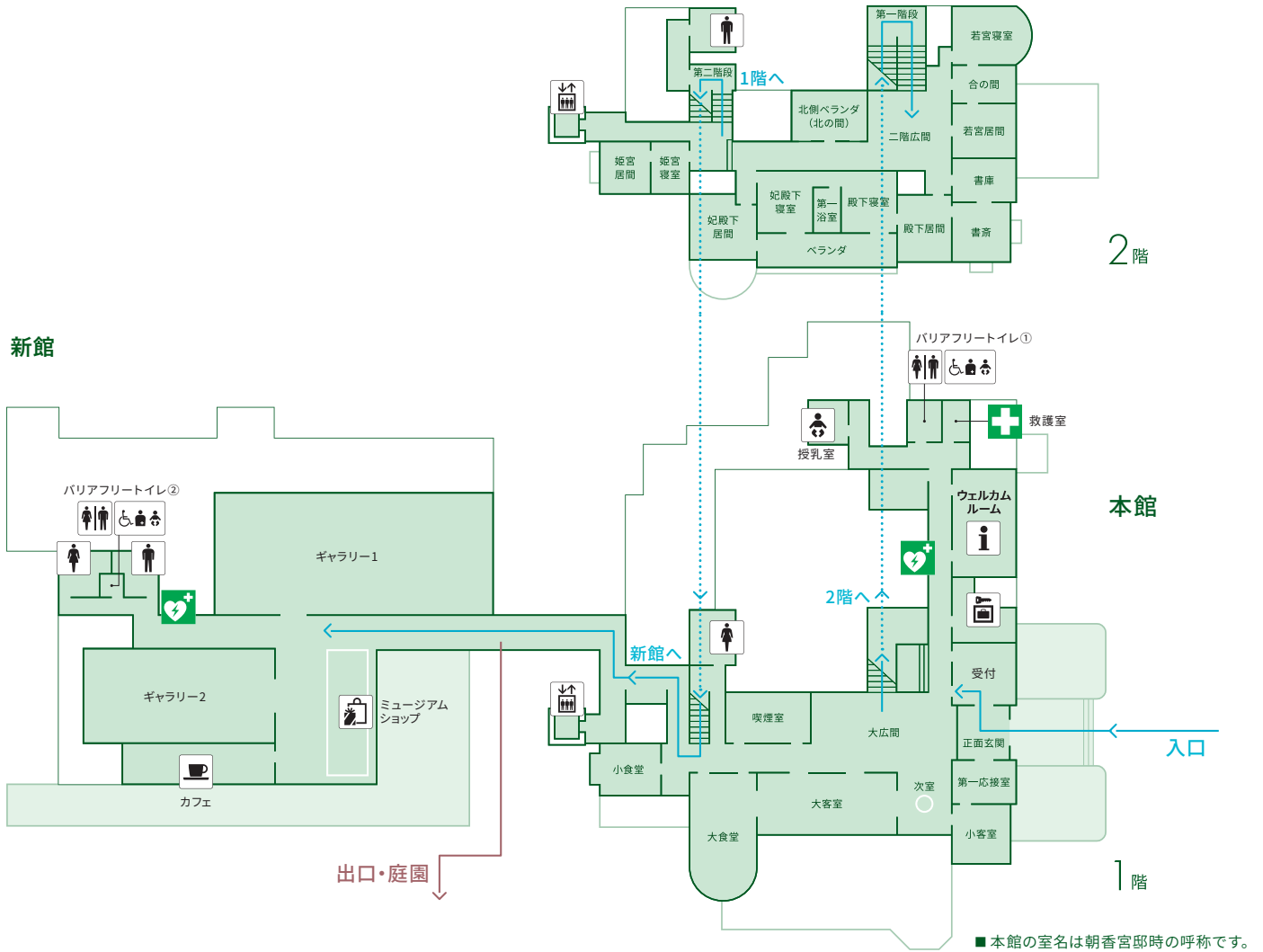


B
《住まい》
オシップ・ザッキン



D
《INSIDE OUT CBG-2》
菅原二郎

本館(旧朝香宮邸)新館



茶室

